

(平成 24 年 6 月実施)

第 39 回

市民アンケート調査報告書

—— あなたと市政を結ぶ ——



目次

I 調査概要

1	調査目的	1
2	調査事項	1
3	調査実施概要	1
4	回収状況	1
5	報告書内のデータ記述について	1
6	回答者の属性	2

II 調査結果

1	あなたご存じですか？	5
2	市民の地震への備えについて	14
3	環境に配慮したライフスタイル	22
4	新エネルギーの導入について	24
5	ユニバーサルデザインについて	29
6	「花と緑のまち・浜松」について	30
7	運動・スポーツについて	34
8	健康について	38
9	子育て支援について	44
10	「ひとりひとりにいい声掛けデー」について	49
11	市政の満足度評価について	54
12	市政への要望について	60

付録 調査票

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、昭和 45 年度から始まり、48 年度、50 年度と行った後、52 年度以降は毎年実施し、本年度で 39 回目になる。社会情勢の変化に伴う市民の生活意識や市政に対する関心やニーズなどを把握するため、毎年各部署から提出された希望調査項目を精査した後、調査項目を決定し、属性などにより集計した調査結果を詳細に分析し、今後の施策の方向性や事業展開など行政のさまざまな施策の基礎資料として活用しているものである。

2 調査事項

- あなたはご存じですか？
- 環境に配慮したライフスタイル
- ユニバーサルデザインについて
- 運動・スポーツについて
- 子育て支援について
- 市政の満足度評価について
- 市民の地震への備えについて
- 新エネルギーの導入について
- 「花と緑のまち・浜松」について
- 健康について
- 「ひとりひとりにいい声掛けデー」について
- 市政への要望について

3 調査実施概要

- (1) 調査地域 浜松市全域
- (2) 調査対象 満 20 歳以上の男女 3,000 人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 質問紙郵送法
- (5) 調査期間 平成 24 年 6 月 15 日～30 日
- (6) 調査機関 特定非営利活動法人 静岡県西部地域しんきん経済研究所

4 回収状況

発送数	有効回収数	有効回収率
3,000 件	1,484 件	49.5%

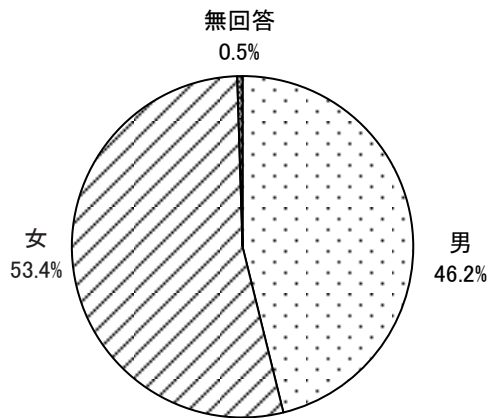
5 報告書内のデータ記述について

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、比率の合計が 100%にならないことがある。
- (2) 基数とすべき実数は、図表中に「N」として記載した。比率はこの基数を 100%として算出している。
- (3) 質問の選択肢から複数回答を認めている場合、比率の合計は通常 100%を超える。
- (4) 図表中の回答選択肢が長文の場合、コンピューターの処理の都合上、省略している箇所がある。

6 回答者の属性

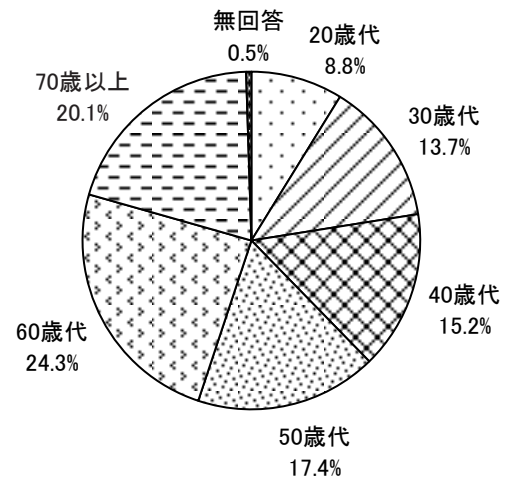
(1) 性別

N=1,484



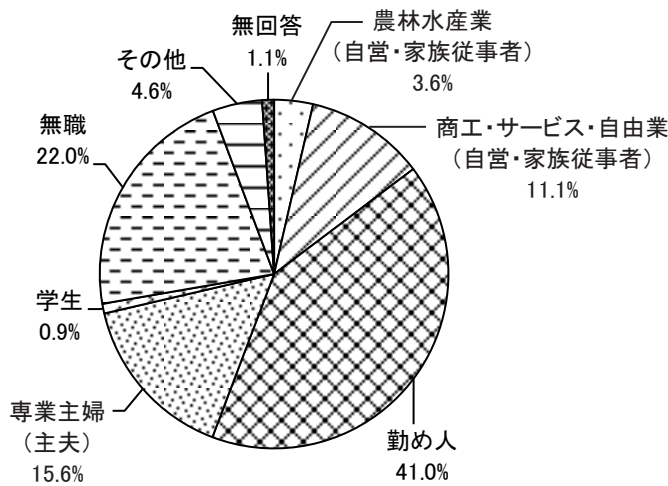
(2) 年代

N=1,484



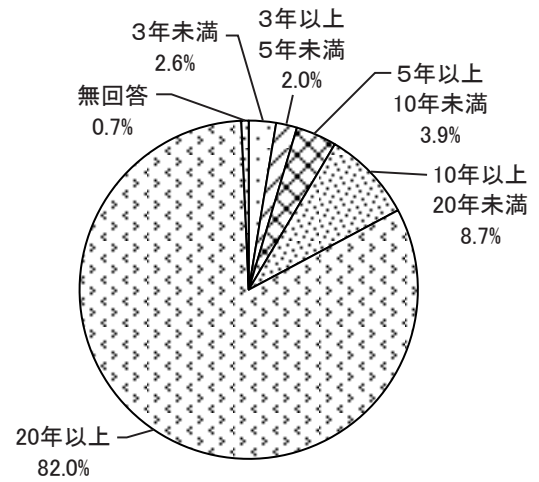
(3) 職業

N=1,484



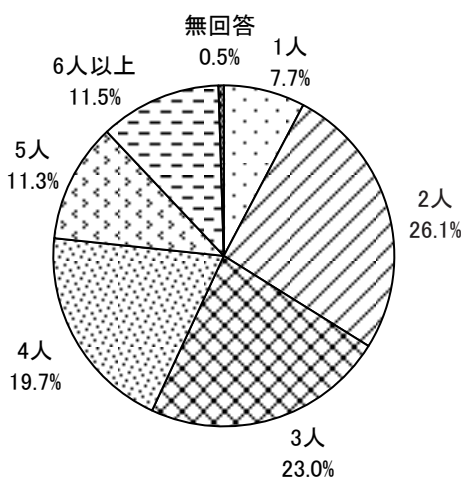
(4) 居住年数

N=1,484



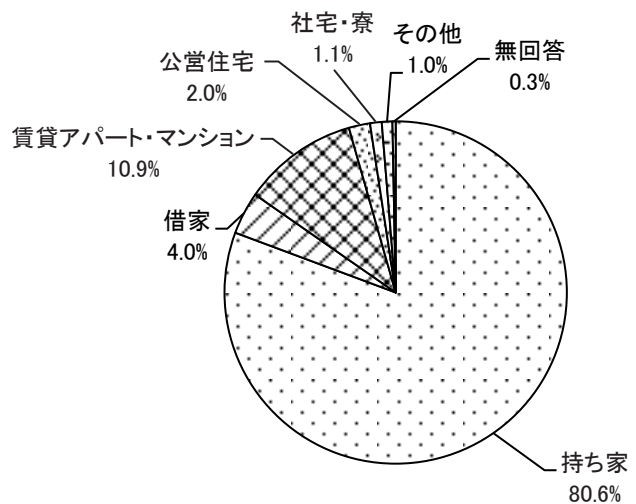
(5) 家族数

N=1,484



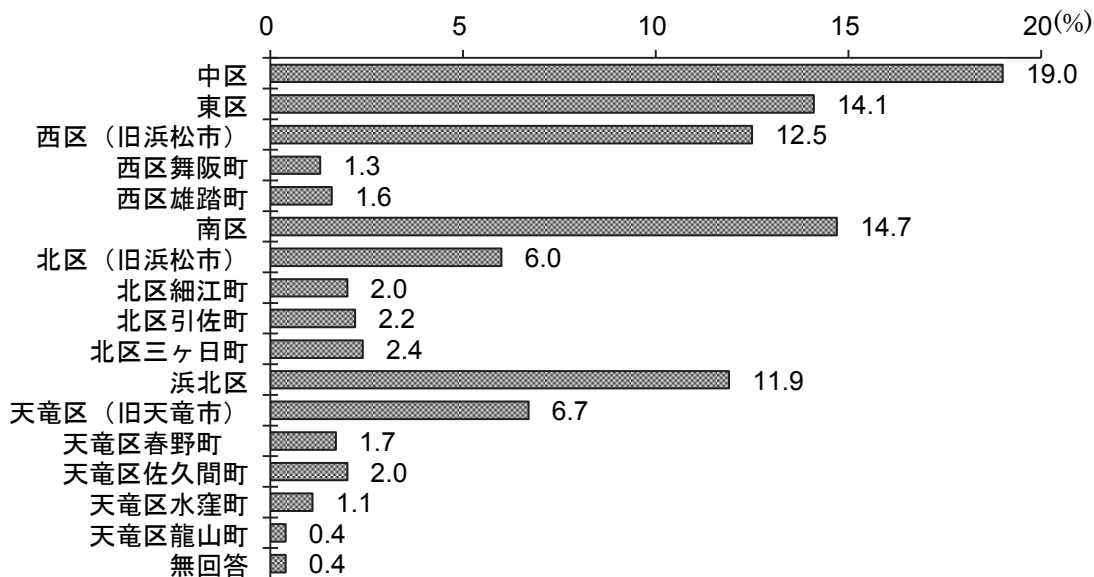
(6) 居住形態

N=1,484



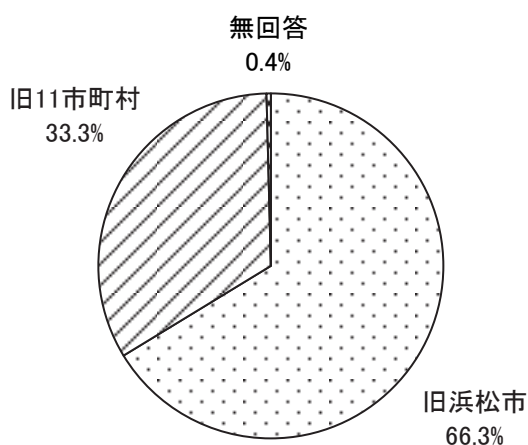
(7) 居住地区

N=1,484



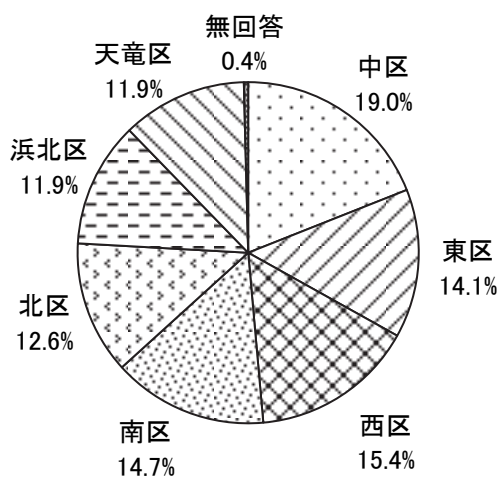
(8) 旧浜松市と旧11市町村

N=1,484



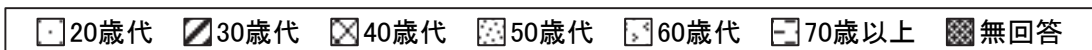
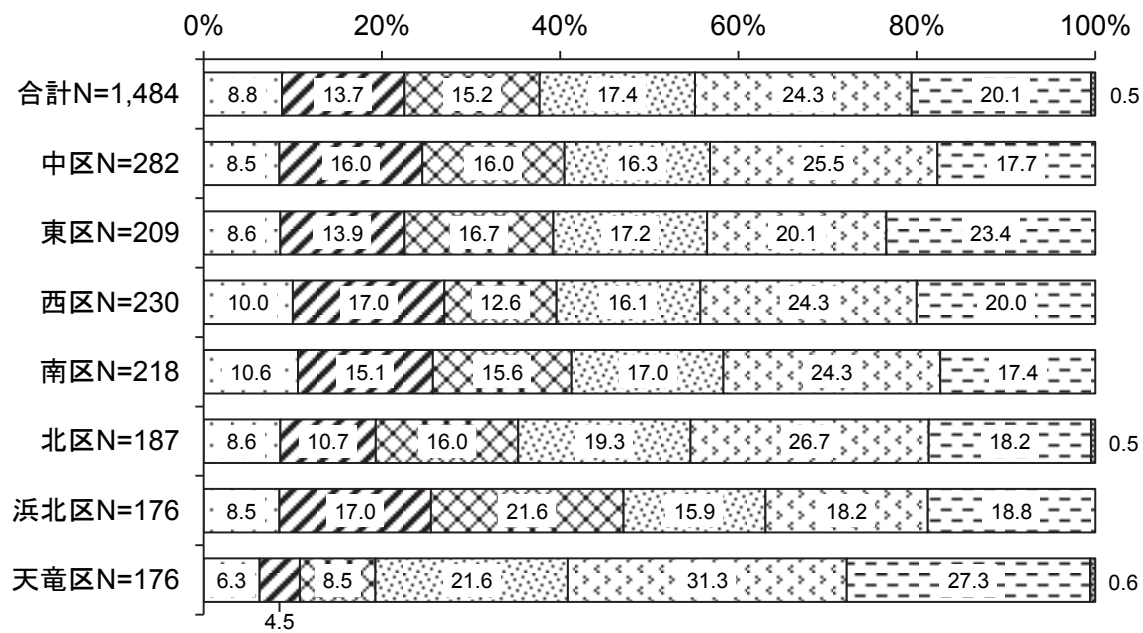
(9) 行政区

N=1,484



(10) 年代別行政区

N=1,484

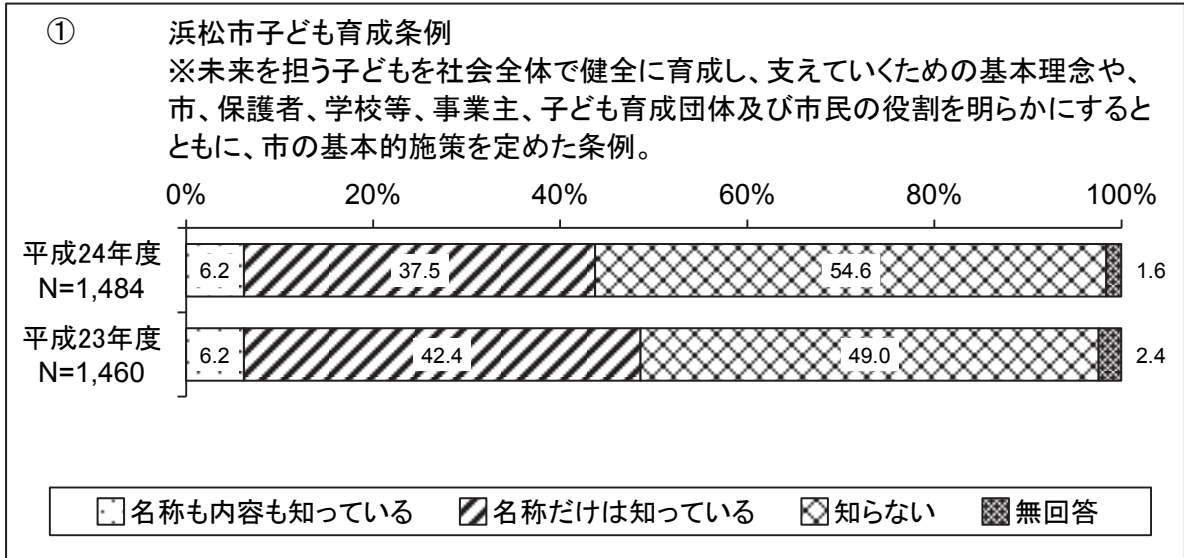


II 調查結果

1 あなたはご存じですか？

(1) 市の条例や施策などの認知度

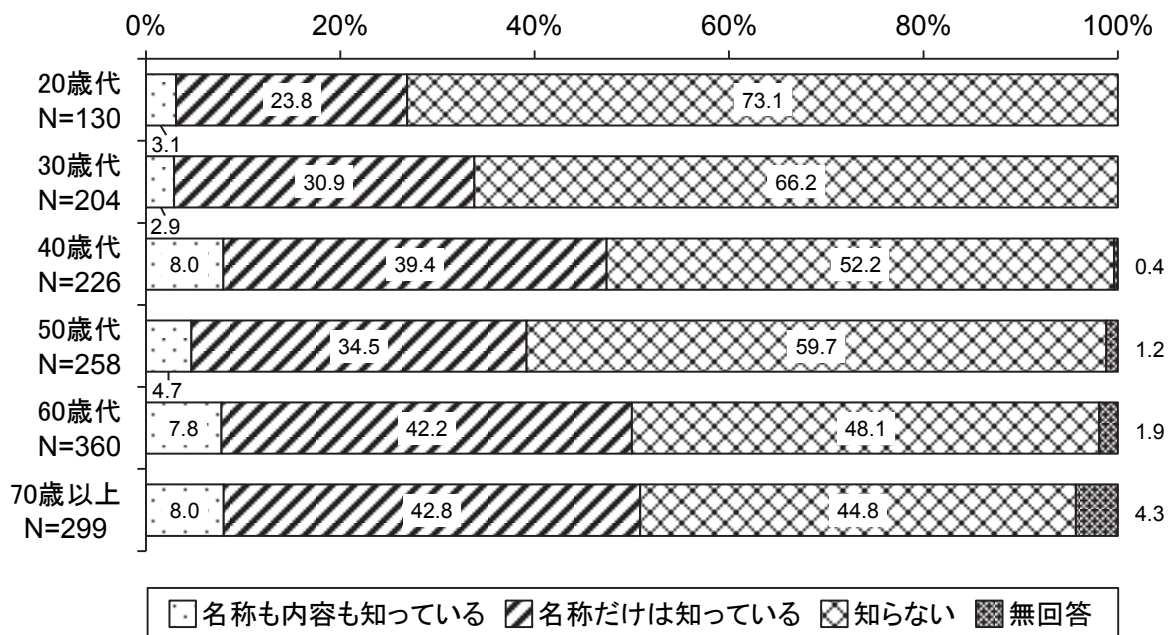
問1 次の項目について、あなたはご存じですか
1～3のうちから1つ選んで○を付けてください。



「名称も内容も知っている」が6.2%、「名称だけは知っている」が37.5%、「知らない」が54.6%となっている。「名称も内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『認知度』は43.7%となった。

『認知度』を年代別でみると、20歳代は26.9%と他の世代と比較して低くなっている。50歳代の『認知度』は前後の世代よりも低くなっているが、年齢が高いほど『認知度』が高くなる傾向がみられる。

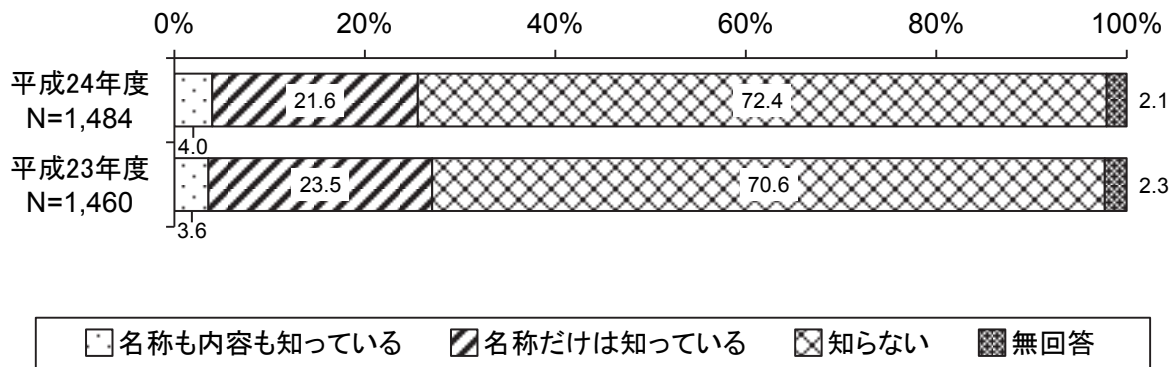
【年代別】



②

浜松市次世代育成支援行動計画

※子どもや子育て家庭を取り巻くさまざまなニーズに対応する施策、事業の目標や、それらの推進体制について定めた計画。

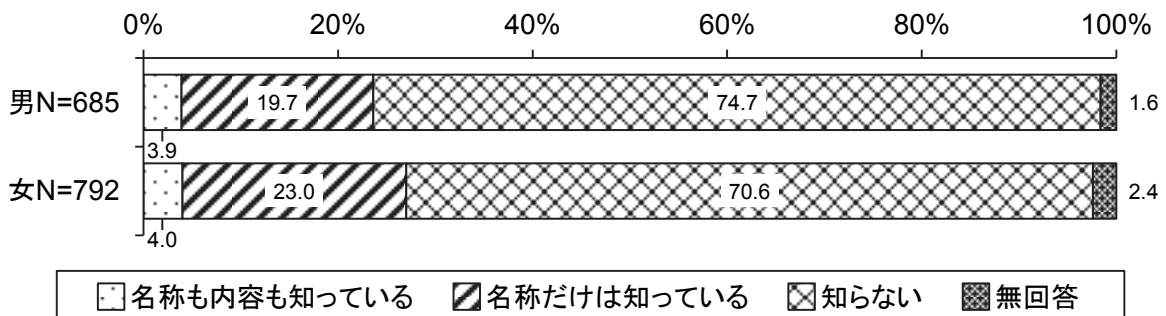


「名称も内容も知っている」が4.0%、「名称だけは知っている」が21.6%、「知らない」が72.4%となっている。「名称も内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『認知度』は25.6%と市民の4人に1人にしか認知されていない。前年度調査と比較すると、『認知度』は1.5ポイント低下した。

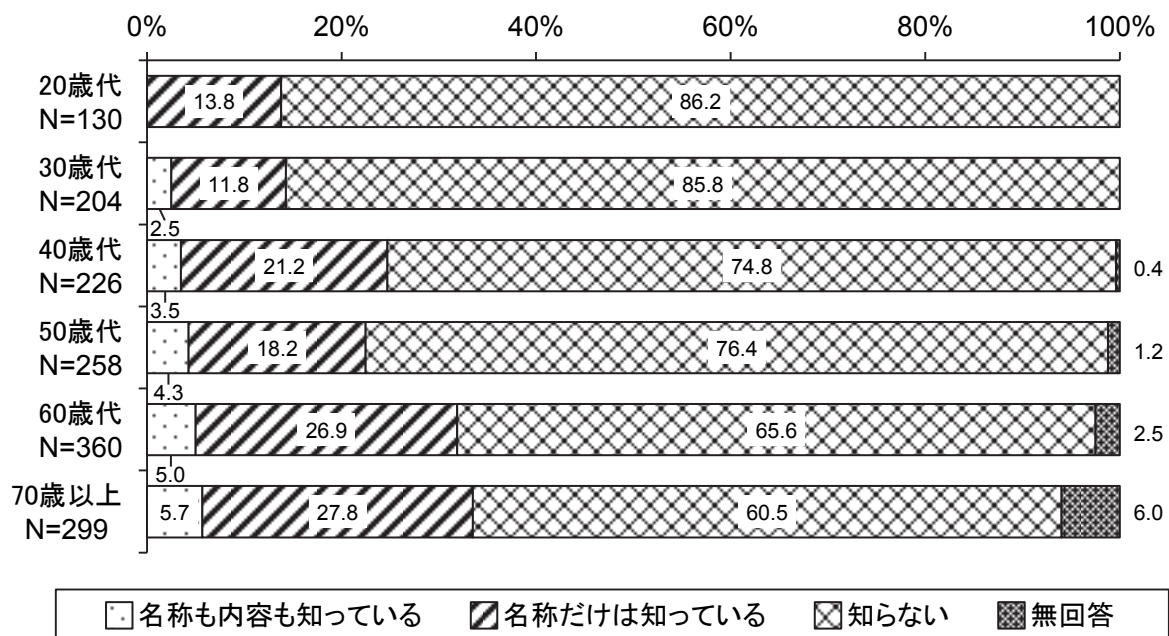
『認知度』を性別で見ると、男性が23.6%、女性が27.0%と、女性の方が高い。ただし、女性でも「知らない」の回答割合が『認知度』を43.6ポイント上回っており、認知されていない状況にある。

『認知度』を年代別で見ると、20歳代が13.8%と最も低く、次いで30歳代14.3%の順となっている。若い世代に認知されていない状況であり、周知を強化する必要がある。

【性別】

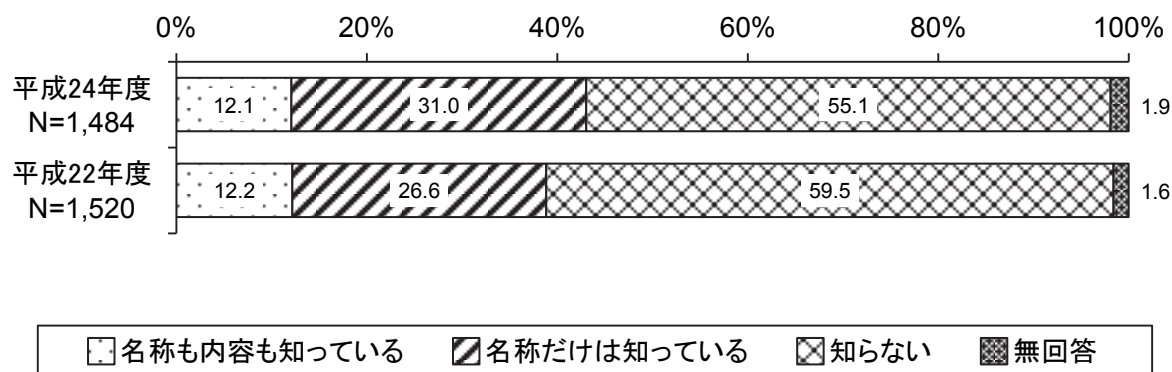


【年代別】



③ いのちをつなぐ手紙

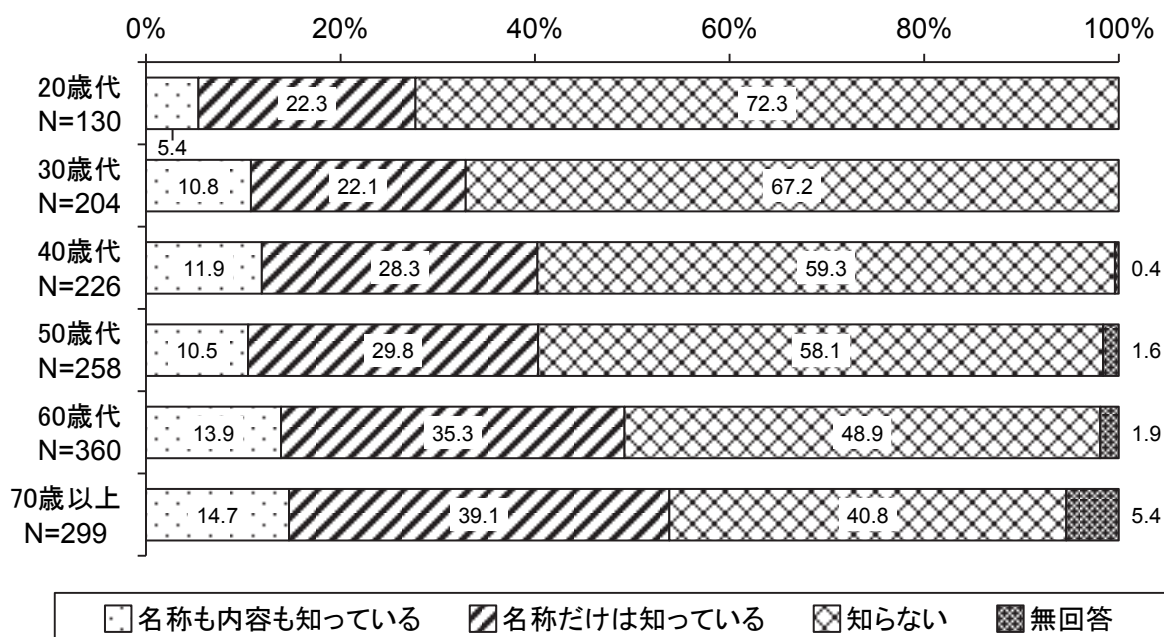
※自殺対策事業として「いのちをつなぐ手紙」を実施。ひとりで抱えきれない悩みを手紙に書いて相談したり、悩みを抱えた人の支えとなる言葉を伝えるためのもの。



「名称も内容も知っている」が 12.1%、「名称だけは知っている」が 31.0%、「知らない」が 55.1% となっている。「名称も内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『認知度』は 43.1%となった。平成 22 年度実施の調査と比較すると、『認知度』は 4.3 ポイント増加しており施策は徐々に浸透してきている。しかし、「名称も内容も知っている」はほぼ横ばいであることから、今後は、内容も含めた周知啓発活動が必要となる。

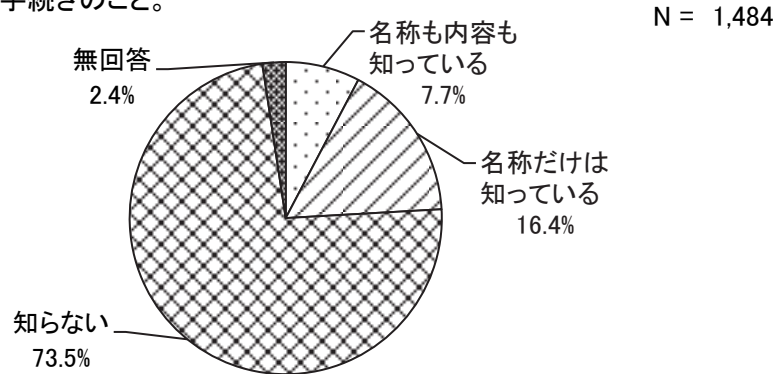
『認知度』を年代別で見ると、20 歳代が 27.7%と最も低く、年齢が高いほど『認知度』が高くなる傾向がみられる。現在、小学生を対象とした事業展開をしているので、今後は若い世代の認知度が高くなっていくと考えられる。

【年代別】



④ パブリック・コメント制度

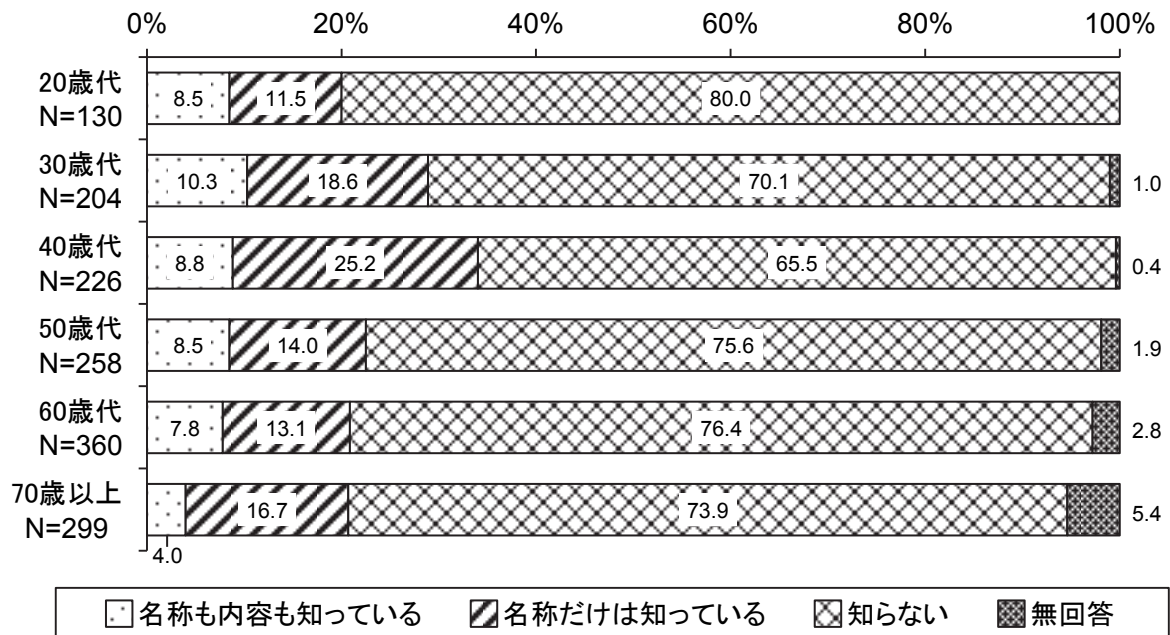
※市が、計画や条例などを策定するとき、案の段階で市民に公表し、その案に対し寄せられた意見と市の考え方を公表するとともに、寄せられた意見を考慮しながら最終案をつくり上げていく一連の手続きのこと。



「名称も内容も知っている」が 7.7%、「名称だけは知っている」が 16.4%、「知らない」が 73.5% となっている。「名称も内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『認知度』は 24.1%と市民の 4 人に 1 人にしか認知されていない。広報はままつや電車、バス内の文字放送を活用した広報活動などを行っているが、まだまだ市民の認知度は低く、さらなる広報に努める必要があるといえる。

『認知度』を年代別でみると、40 歳代が 34.0%と最も高く、40 歳代を山として『認知度』が低くなっている。

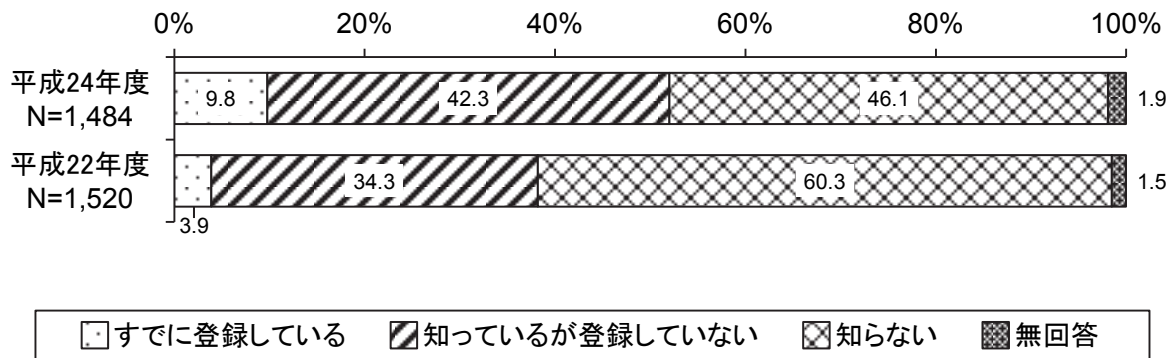
【年代別】



⑤

防災ホットメール

※平成22年3月1日から、災害発生時の緊急情報、地震情報、気象情報、火災情報などを携帯電話などに電子メールで配信している。

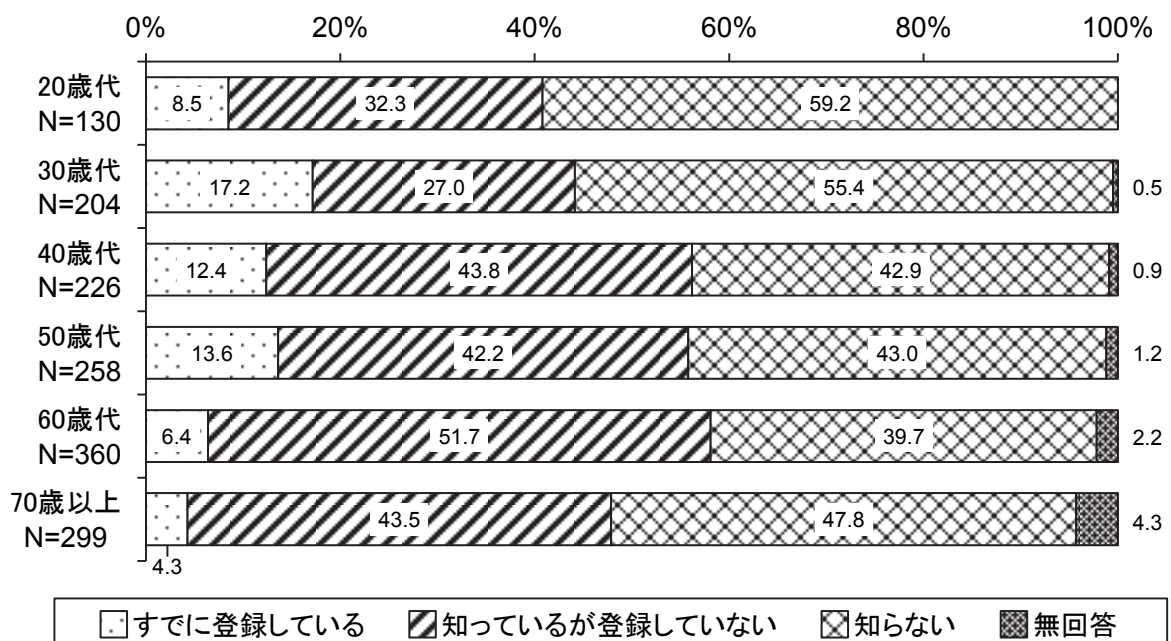


「すでに登録している」と「知っているが登録していない」を合わせた『認知度』は52.1%あったが、「すでに登録している」に限ってみると9.8%にとどまった。平成22年度実施の調査と比較すると、『認知度』は13.9ポイント、「すでに登録している」は5.9ポイント増加した。

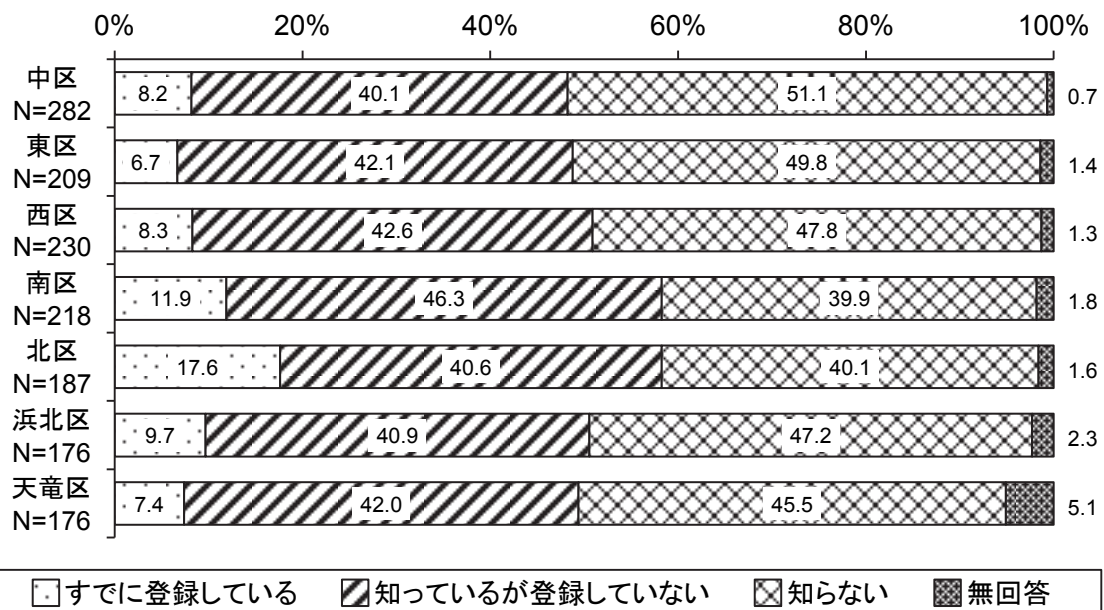
年代別の『認知度』をみると、60歳代が58.1%で最も高く、次いで40歳代56.2%、50歳代55.8%の順となり、最も低かったのは20歳代の40.8%だった。「すでに登録している」に限ってみると、30歳代が17.2%で最も高く、『認知度』が最も高かった60歳代は、6.4%にとどまっている。近年、浜松への大型台風上陸が続いており、停電時の情報入手手段としても効果的でもあることから、登録方法を簡素化するなどし、「知っているが登録していない」と回答した人に登録を促す対策も必要になる。

行政区別でみると、南区、北区の『認知度』が高かった。

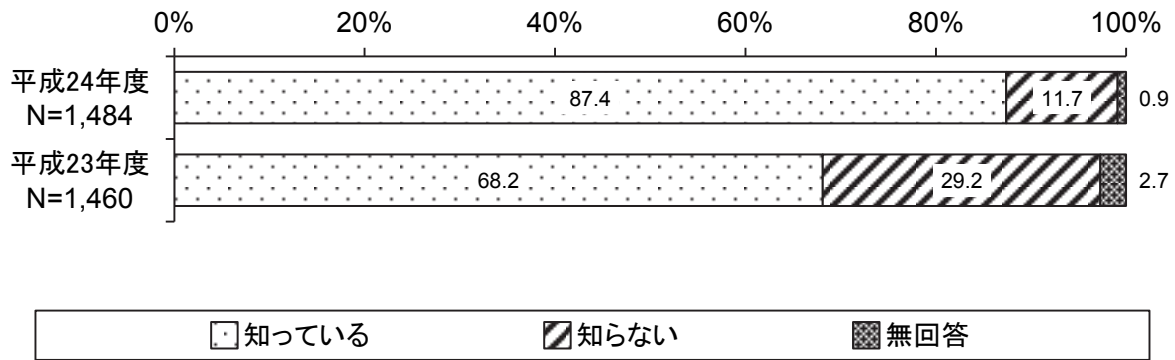
【年代別】



【行政区別】



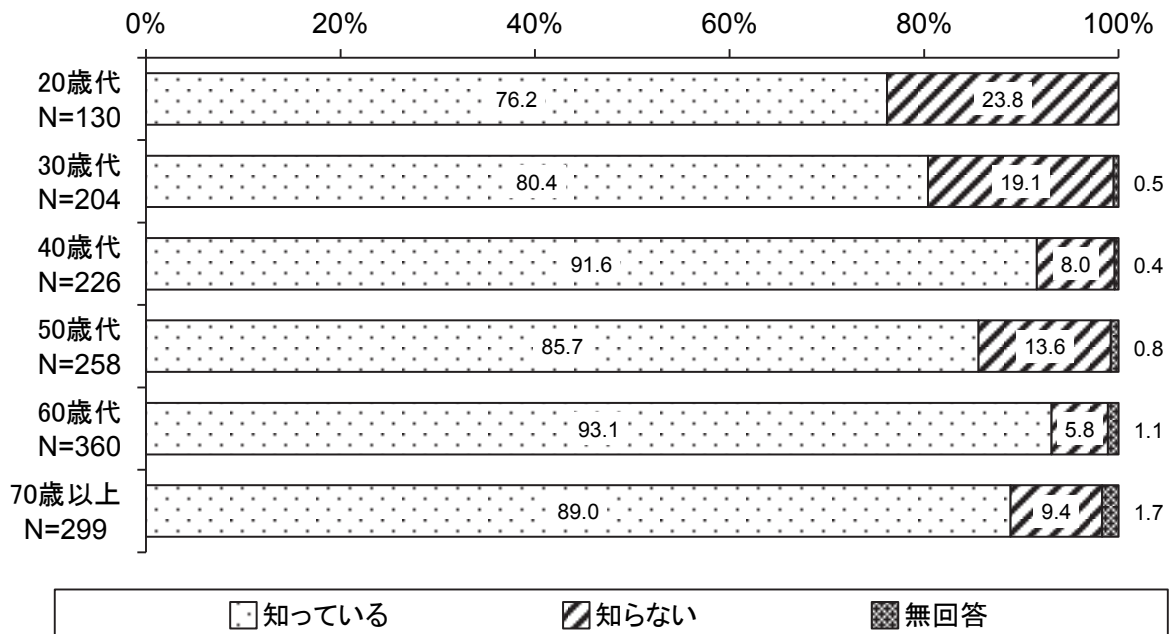
⑥ 浜松市制100周年
 ※平成23年7月1日に浜松市制100周年を迎えました。



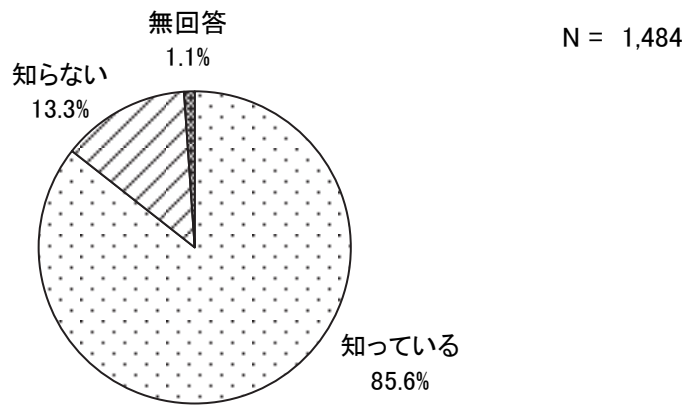
「知っている」が 87.4%と、「知らない」の 11.7%を大幅に上回った。前年度調査と比較すると「知っている」の割合は 19.2 ポイント増加した。平成 23 年度を通じて 100 夢プロジェクト等の市制 100 周年記念事業を実施した結果、浜松市制 100 周年が多くの市民に周知されたといえる。

年代別でみると、「知っている」と回答した割合が最も低かった 20 歳代でも 4 人に 3 人が浜松市制 100 周年を知っており、幅広い世代に周知されたといえる。

【年代別】



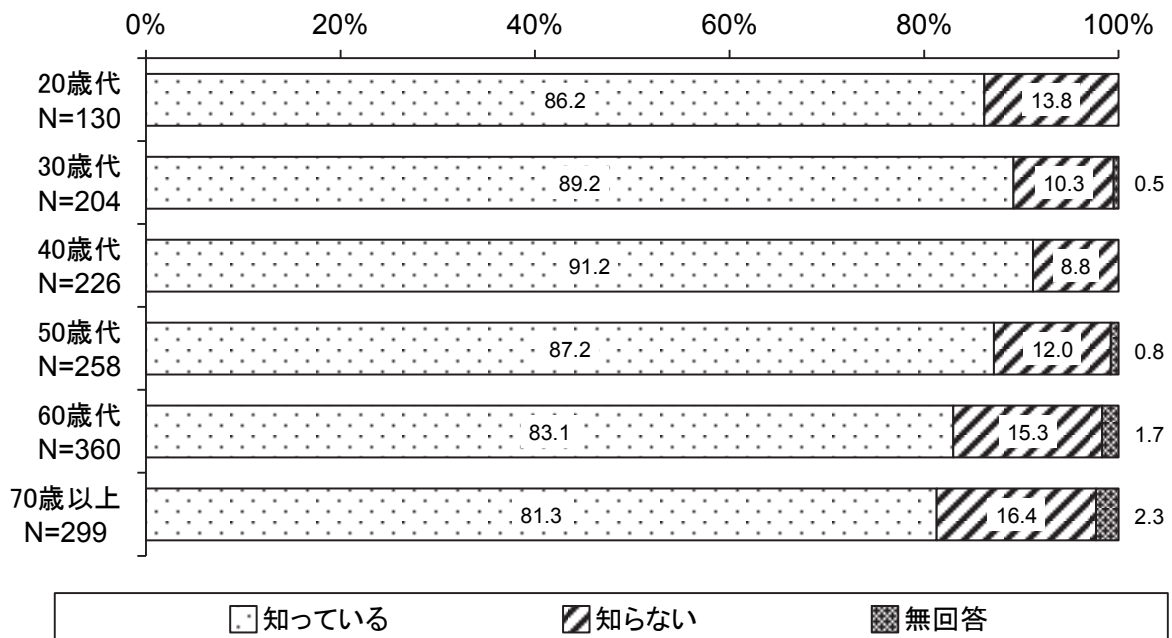
⑦ はままつ福市長 "出世大名 家康くん"
 ※市制100周年マスコットキャラクターとして誕生し、平成24年度から「はままつ福市長」に就任した浜松市のマスコットキャラクター。



「知っている」が85.6%と、「知らない」の13.3%を大幅に上回った。「浜松市制100周年」同様、非常に高い認知度となった。

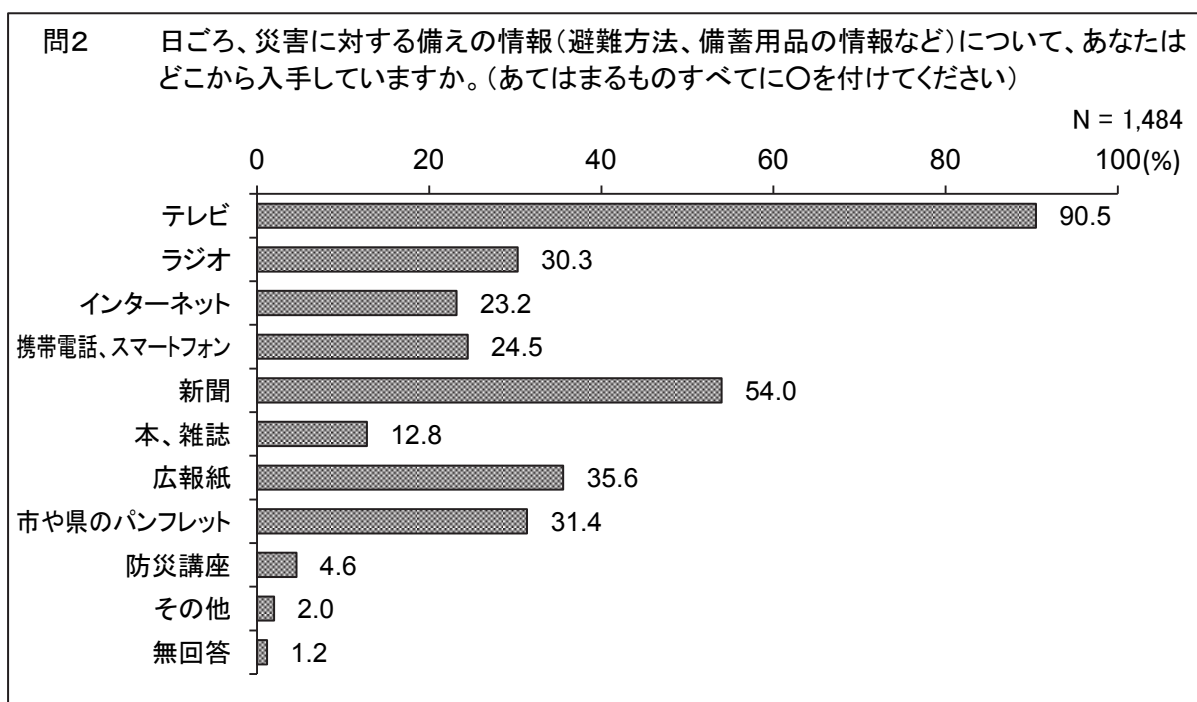
年代別で見ると、すべての世代で認知度が8割を越えている。“出世大名家康くん”は、子どもに親しみやすいキャラクターのためか、子育て世代でもある30～40歳代の認知度が高かった。20～30歳代は、浜松市制100周年よりも“出世大名家康くん”の認知度が高い。60歳代以上になると、“出世大名家康くん”よりも浜松市制100周年の認知度が高い。

【年代別】



2 市民の地震への備えについて

(1) 災害に対する備えの情報入手について



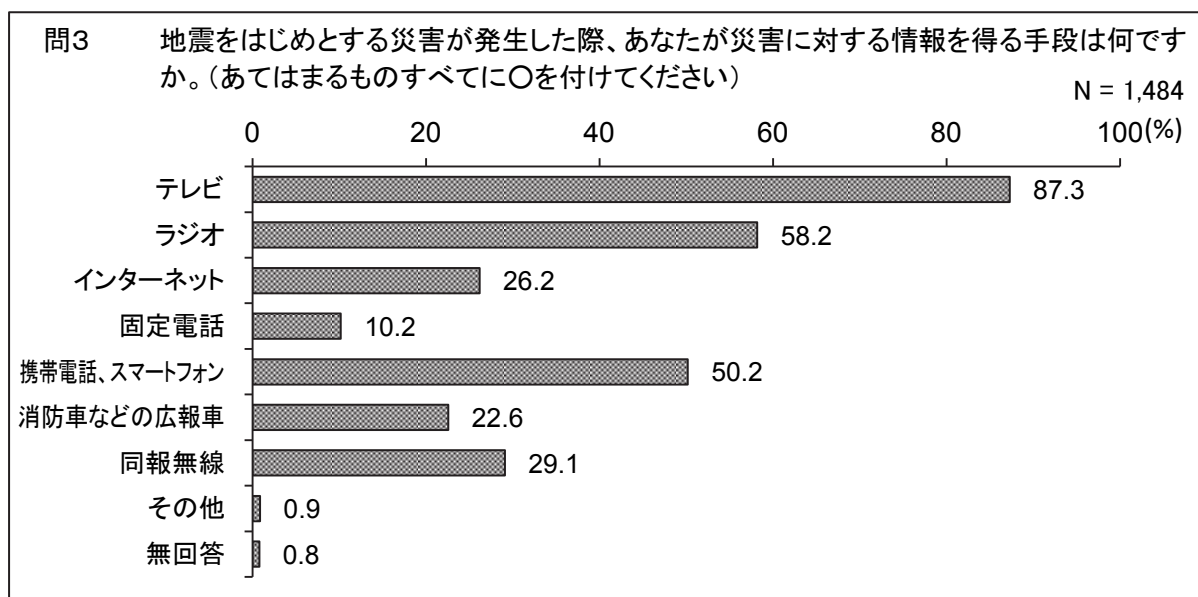
「テレビ」が90.5%と最も高く、次いで「新聞」54.0%、「広報紙」35.6%、「市や県のパンフレット」31.4%の順となり、マスメディアによる情報発信が効果的であることが分かった。

年代別でみると、全ての年代で「テレビ」が最も高くなっている。「ラジオ」「新聞」「広報紙」「市や県のパンフレット」は、年齢が高いほど回答割合が高まる傾向がみられる。逆に「インターネット」「携帯電話、スマートフォン」は、年齢が若いほど回答割合が高まる傾向となっている。

【年代別】

	テレビ	ラジオ	インターネット	携帯電話、スマートフォン	新聞	本、雑誌	広報紙	市や県のパンフレット	防災講座	その他	無回答
20歳代N=130	92.3	13.8	50.8	65.4	24.6	10.8	10.8	10.8	0.8	0.8	1.5
30歳代N=204	89.2	13.7	39.7	40.2	30.9	11.8	19.6	18.1	1.0	3.4	1.0
40歳代N=226	88.9	24.8	35.0	32.3	49.1	16.4	32.3	21.2	3.5	2.7	-
50歳代N=258	90.3	33.7	23.3	21.7	56.2	13.6	34.1	29.5	4.7	2.7	1.2
60歳代N=360	91.9	39.7	12.8	10.6	67.2	12.8	48.1	43.9	7.8	1.7	1.7
70歳以上N=299	90.0	38.1	3.3	9.0	68.2	11.0	46.2	43.5	5.7	1.0	1.7

(2) 災害が発生した際に情報を得る手段



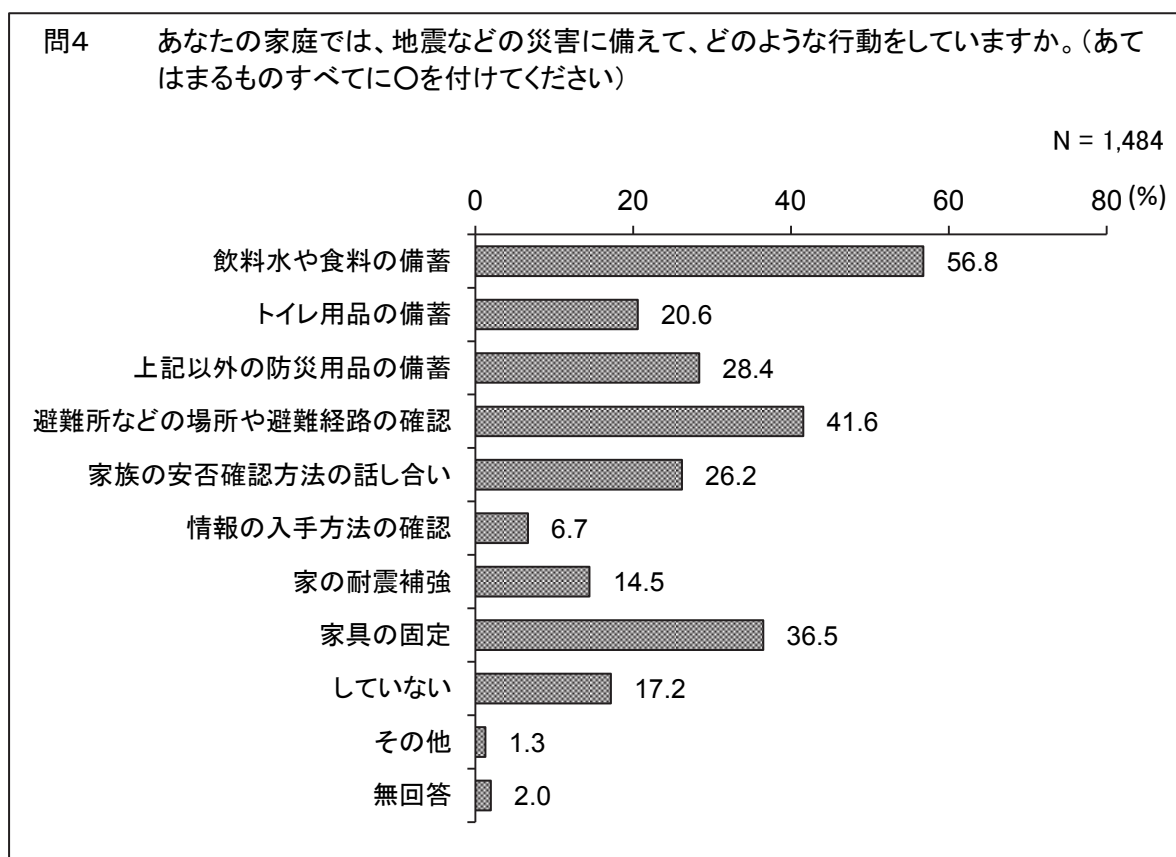
「テレビ」が87.3%で最も高く、次いで「ラジオ」58.2%、「携帯電話、スマートフォン」50.2%の順となった。テレビは情報が早く、視覚情報も豊富なため大半の人が利用しようと考えているが、停電になるとテレビから情報を入手することが困難になる。複数の情報入手手段を確保するよう啓発していく必要がある。

年代別でみると、20歳代は「携帯電話、スマートフォン」が83.1%で最も高くなっている。20歳代以外の年代は「テレビ」の割合が最も高く、「固定電話」「消防車などの広報車」「同報無線」は年齢が高いほど回答割合が高まる傾向がみられる。「ラジオ」も同様の傾向がみられるが、70歳を超えるとラジオの音が聞き取りにくくなる人が増えるためか、回答割合は減少する。「携帯電話、スマートフォン」は、年齢が若いほど回答割合が高まる傾向がみられ、ラジオ同様、停電や気象状況などに左右されない特性があるため、災害発生時の情報入手手段として効果的である。

【年代別】

	テレビ	ラジオ	インターネット	固定電話	携帯電話、スマートフォン	消防車などの広報車	同報無線	その他	無回答
20歳代N=130	80.0	37.7	46.2	3.1	83.1	10.8	16.2	-	0.8
30歳代N=204	82.8	43.1	43.6	3.9	80.4	14.2	17.2	2.0	0.5
40歳代N=226	85.8	59.3	38.5	7.5	65.9	12.4	23.5	-	-
50歳代N=258	87.6	65.1	30.2	7.0	53.5	20.5	31.8	1.6	0.4
60歳代N=360	90.8	67.8	16.4	14.2	34.2	31.7	37.2	1.4	0.8
70歳以上N=299	90.3	58.5	5.4	18.1	19.7	32.8	35.1	0.3	2.0

(3) 災害に対する家庭での備え



「飲料水や食料の備蓄」が 56.8%と最も高く、次いで、「避難所などの場所や避難経路の確認」41.6%、「家具の固定」36.5%の順となった。あてはまるものすべてに○をつける回答方式にも関わらず、5割を超えた選択肢は1つにとどまった。被災直後は公助のできることに限界があるため、自助の重要性を啓発していく必要がある。

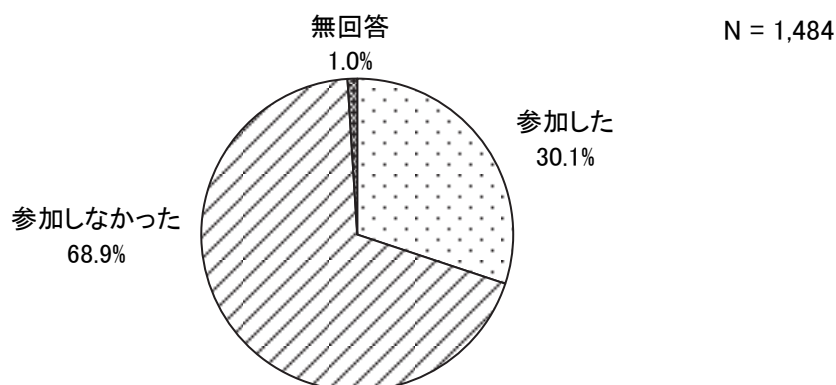
年代別でみると、20歳代は「避難所などの場所や避難経路の確認」が40.8%で最も高くなっている。ただ、20歳代は「していない」の回答割合が他の世代と比較して高く、各種防災用品の備蓄や「家具の固定」の回答割合は他の世代と比較して低くなっている。20歳代の災害に対する備えは、遅れ気味であるといえる。また、20歳代以外の世代は、「飲料水や食料の備蓄」の割合が最も高くなっている。

【年代別】

	飲料水や食料の備蓄	トイレ用品の備蓄	左記以外の防災用品の備蓄	避難所などの場所や避難経路の確認	家族の安否確認方法の話し合い	情報の入手方法の確認	家の耐震補強	家具の固定	していない	その他	無回答
20歳代N=130	38.5	8.5	18.5	40.8	23.1	4.6	10.8	27.7	22.3	0.8	-
30歳代N=204	55.9	17.6	33.3	36.3	27.5	4.9	11.8	32.8	17.2	1.5	1.5
40歳代N=226	53.1	21.2	26.5	38.5	22.6	0.4	15.9	42.5	14.6	-	0.9
50歳代N=258	58.5	19.8	31.4	42.2	27.9	9.3	14.0	33.7	17.8	1.6	1.6
60歳代N=360	61.1	22.8	31.4	47.2	26.9	8.1	16.1	38.3	15.0	0.6	1.9
70歳以上N=299	61.5	25.1	24.4	39.8	27.4	9.4	15.4	38.8	19.4	3.3	4.3

(4) 防災訓練の参加状況

問5 昨年度(平成23年4月～平成24年3月まで)地域で実施された防災訓練に、あなたは参加しましたか。(1つだけ○を付けてください)

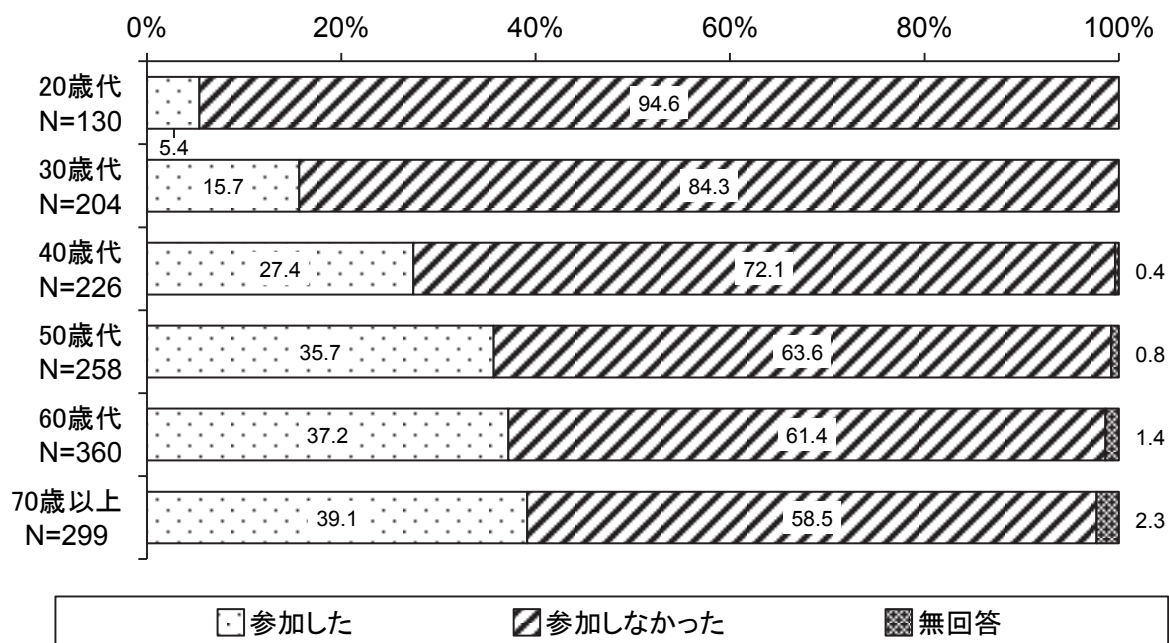


調査対象期間が東日本大震災直後の1年間(平成23年4月～平成24年3月)であったにもかかわらず、「参加した」は30.1%にとどまり、「参加しなかった」の68.9%を38.8ポイント下回っていた。訓練の事前周知、マスコミを活用した訓練状況のPR等により参加率を高める必要がある。

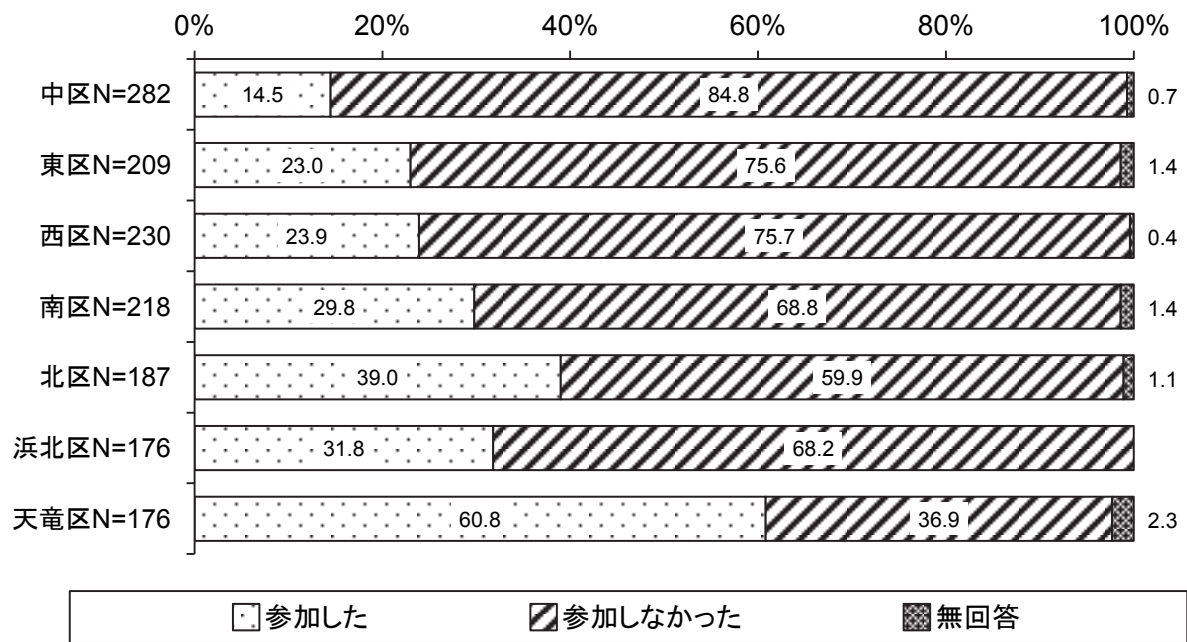
年代別でみると、年齢が高いほど「参加した」の回答割合は高まる。ただし、「参加した」の回答割合が最も高い70歳以上でも、「参加した」39.1%が「参加しなかった」58.5%を下回っている。

行政区別でみると、市内北部に位置する北区、浜北区、天竜区は「参加した」の回答割合が高い。天竜区は、「参加した」60.8%が「参加しなかった」36.9%を上回っている。

【年代別】

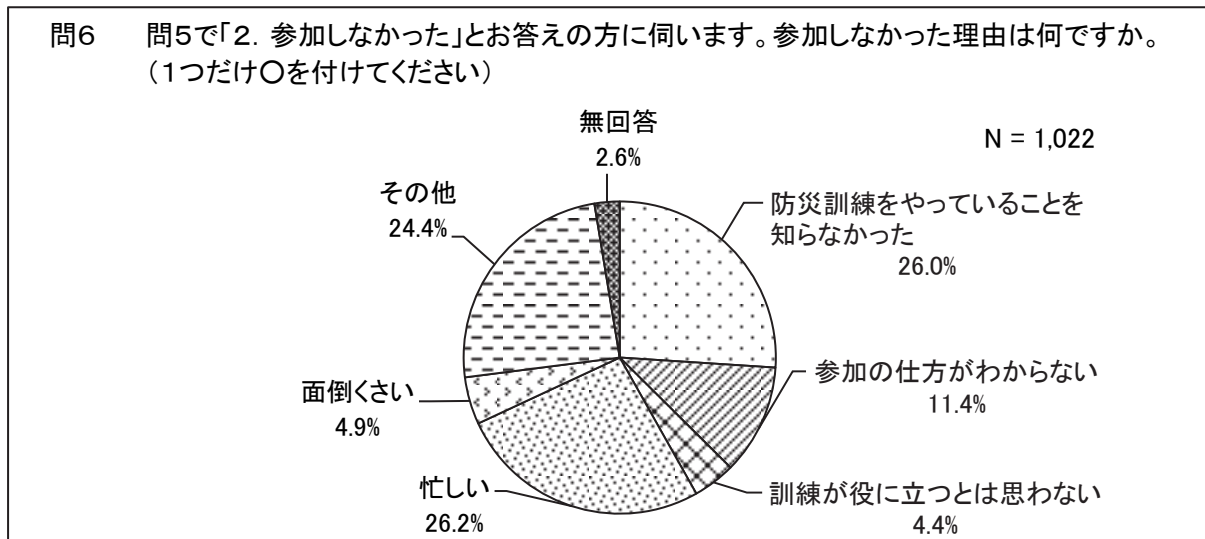


【行政区別】



(5) 防災訓練に参加しなかった理由

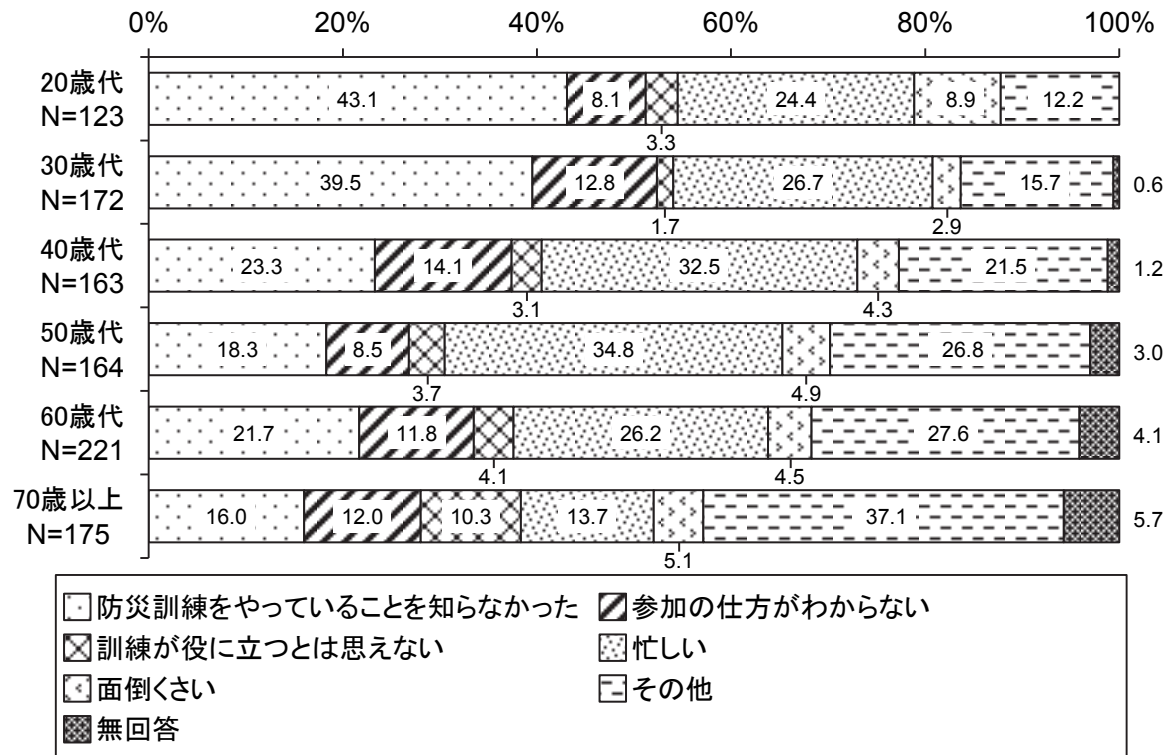
問6 問5で「2. 参加しなかった」とお答えの方に伺います。参加しなかった理由は何ですか。
(1つだけ○を付けてください)



「忙しい」が26.2%で最も高く、次いで「防災訓練をやっていることを知らなかった」が26.0%の順となった。「防災訓練をやっていることを知らなかった」「参加の仕方がわからない」といった周知不足を理由とするものは37.4%、「訓練が役に立つとは思わない」「忙しい」「面倒くさい」といった、知っていても参加しない理由は35.5%となっている。訓練の事前周知によりある程度の増加は望めるが、全市民に訓練参加を期待することは現実的でなく、参加者の経験を参加しなかった人に伝える方策も必要である。

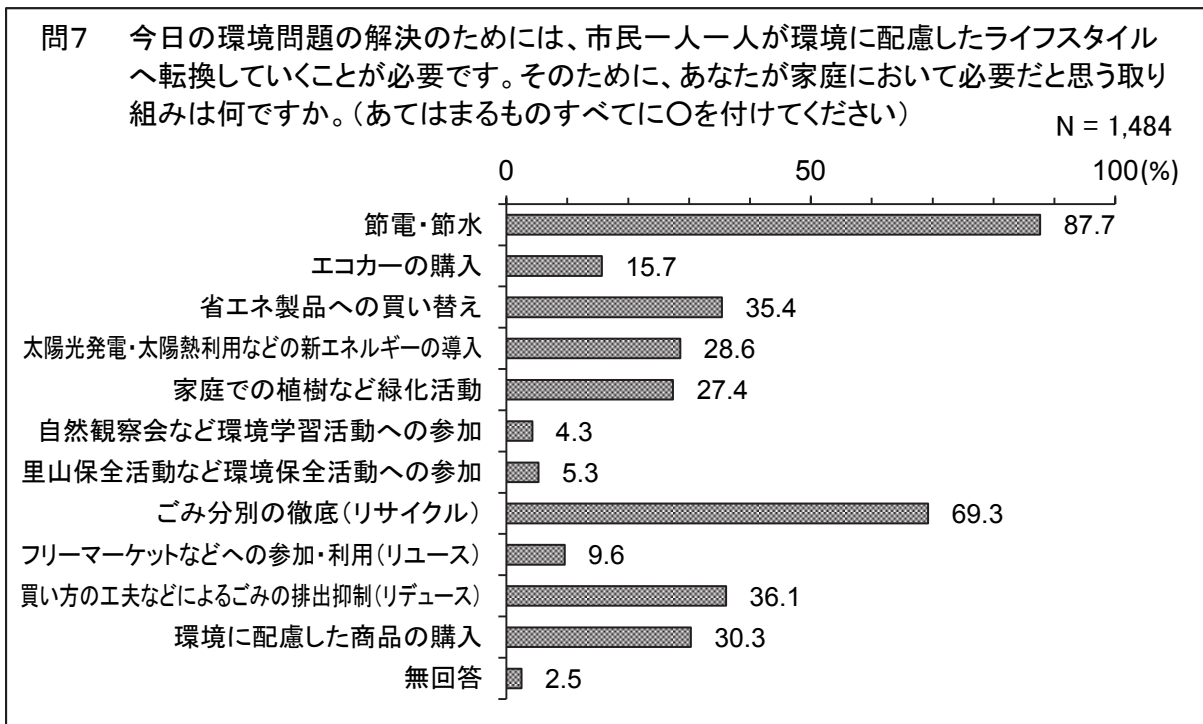
年代別でみると、20～30歳代は「防災訓練をやっていることを知らなかった」が最も高く、40～50歳代は「忙しい」が最も高かった。60歳代以上は「その他」の回答割合が最も高く、その内訳をみると「健康・体力的問題で参加できない」とのコメントが目立ったことから、訓練の様子を見ておくだけでも災害時に役立つことを市民に周知するとともに、非常持出し品の点検や図上訓練など、体力を必要としない訓練メニューの自主防災隊に対する紹介も必要である。

【年代別】



3 環境に配慮したライフスタイル

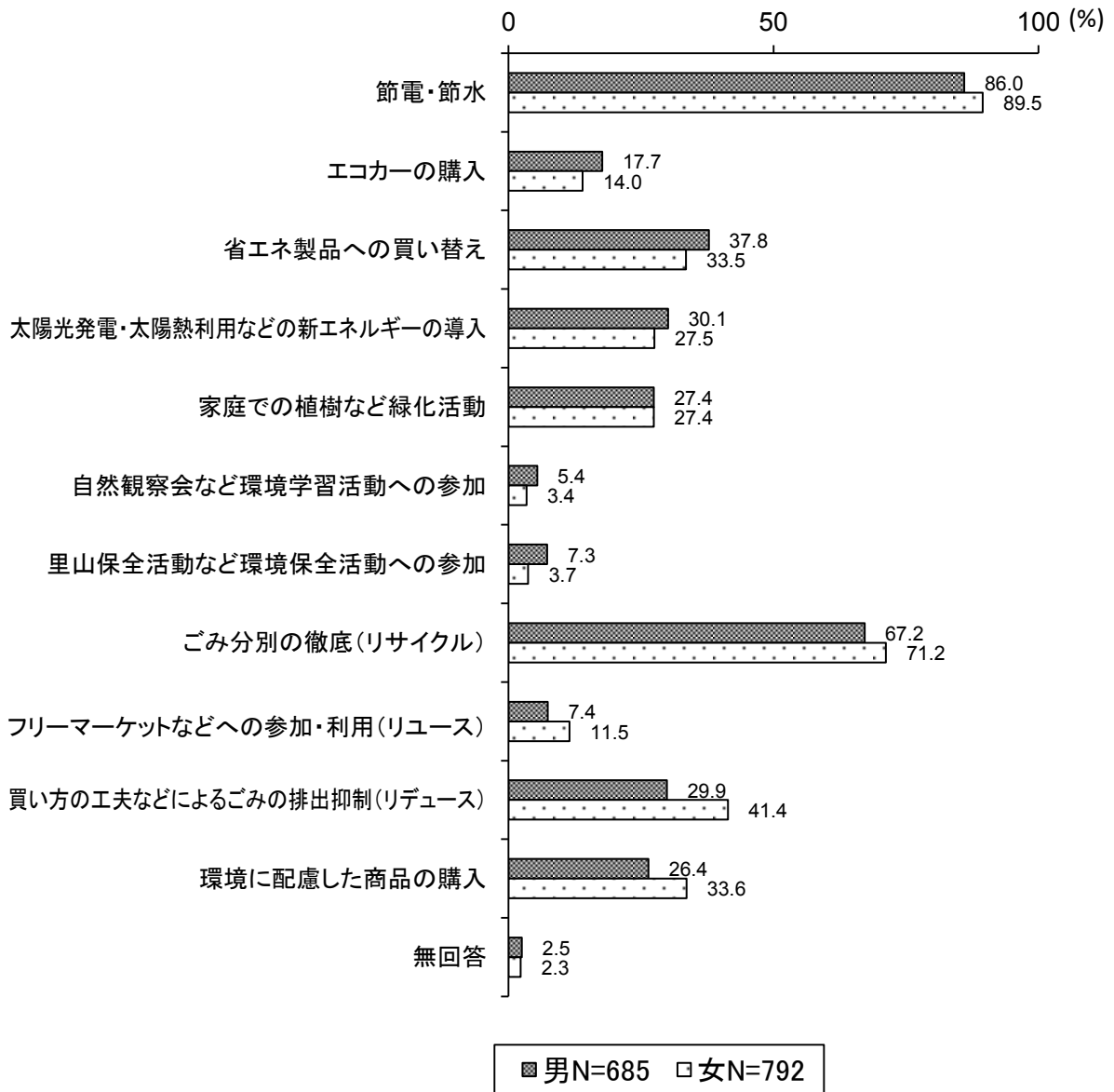
(1) 環境問題の解決に必要な家庭での取り組み



「節電・節水」が87.7%と最も高く、次いで「ごみ分別の徹底(リサイクル)」が69.3%となり、日々の生活に密着している項目の回答割合が高かった。一方で、「自然観察会など環境学習活動への参加」4.3%や「里山保全活動など環境保全活動への参加」5.3%については日々の生活のなかで実施することが難しいことから、回答割合が低くなっている。今後は、家庭での環境に配慮した取り組みを、地域での環境学習や保全活動へ広げていくための機会づくりや情報提供が必要といえる。

性別で見ると、「節電・節水」「ごみ分別の徹底(リサイクル)」「フリーマーケットなどへの参加・利用(リユース)」「買い方の工夫などによるごみの排出抑制(リデュース)」「環境に配慮した商品の購入」といった日々の生活に密着している項目は女性の回答割合が高かった。今後、男性の意識向上を図っていく必要がある。

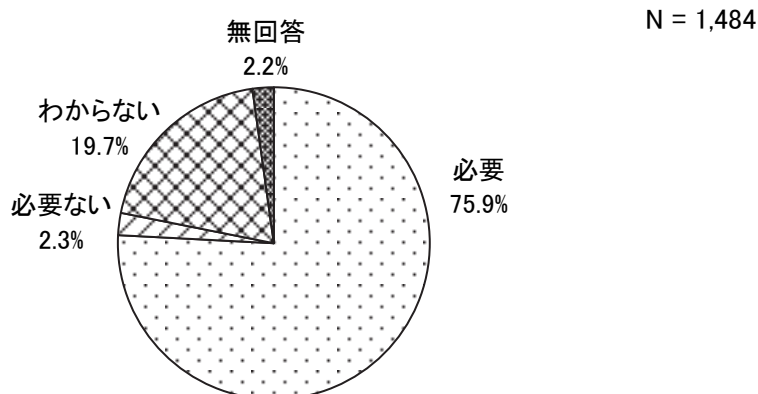
【性別】



4 新エネルギーの導入について

(1) 新エネルギー導入の必要性

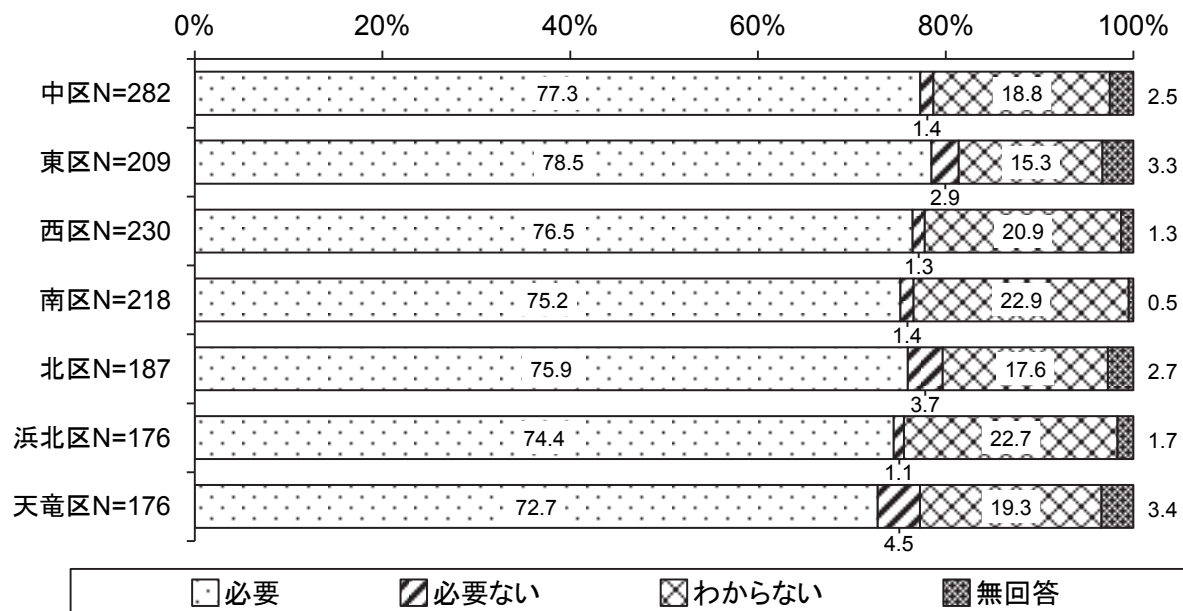
問8 市では、平成24年4月に新エネルギー推進事業本部を設置し、新エネルギーに関する新たな取り組みを始めました。新しい電力確保の仕組みとして、あなたは新エネルギーの導入が必要だと思いますか。(1つだけ○を付けてください)



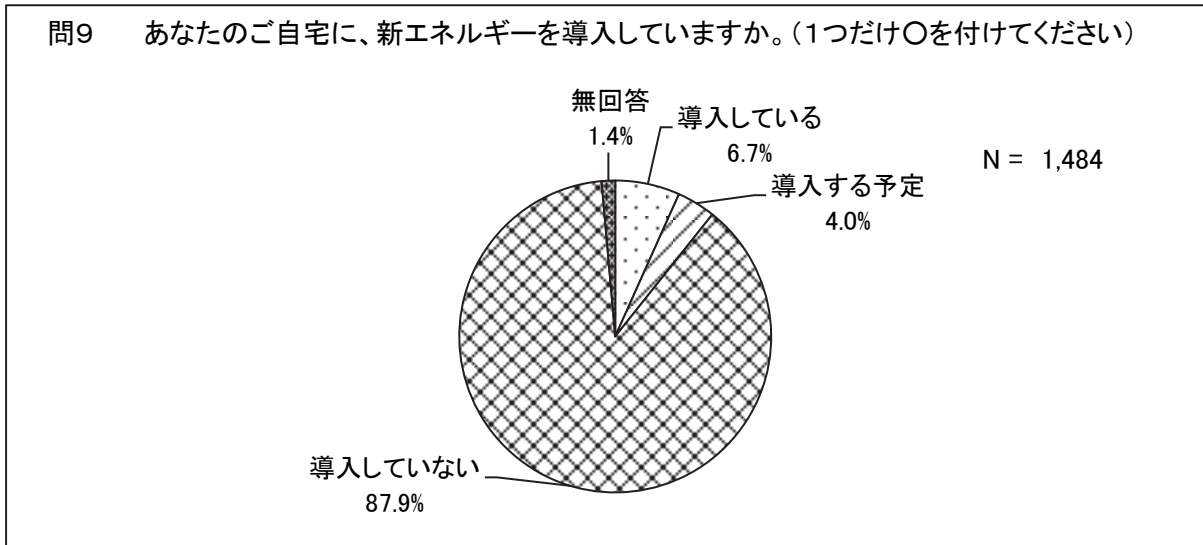
「必要」が75.9%、「必要ない」が2.3%、「わからない」が19.7%で、市民の4人に3人が必要と感じており、新エネルギーに対する市民の関心の高さがうかがえる。

行政区別では、すべての区において「必要」の回答割合が70%を超えており、「必要ない」を大幅に上回っている。最も「必要」の回答割合が高いのは東区の78.5%であった。

【行政区別】



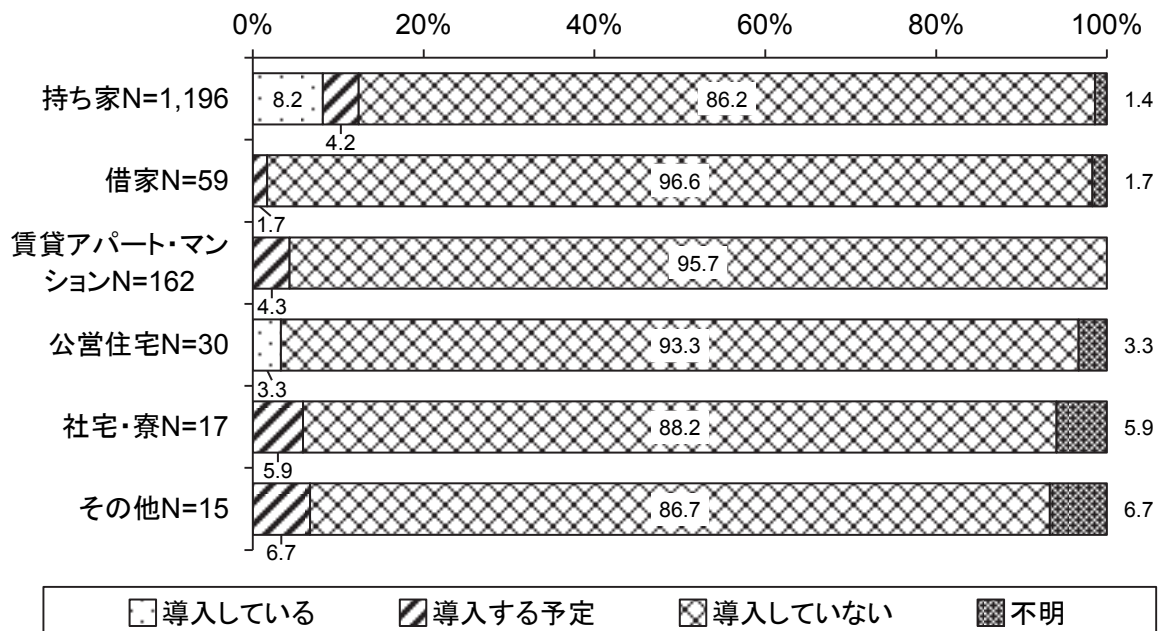
(2) 新エネルギー導入状況



「導入している」が6.7%、「導入する予定」が4.0%、「導入していない」が87.9%となっている。「導入している」と「導入する予定」を合わせても10.7%であり、関心が高い割には導入が進んでいない。

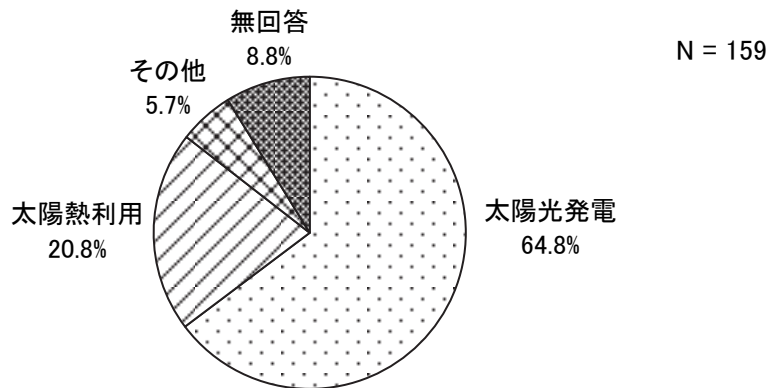
居住形態別でみると、持ち家は「導入している」と「導入する予定」を合わせた回答割合が他の居住形態と比較して高いものの、回答割合は12.4%にとどまっている。

【居住形態別】



(3) 導入する（予定の）新エネルギー

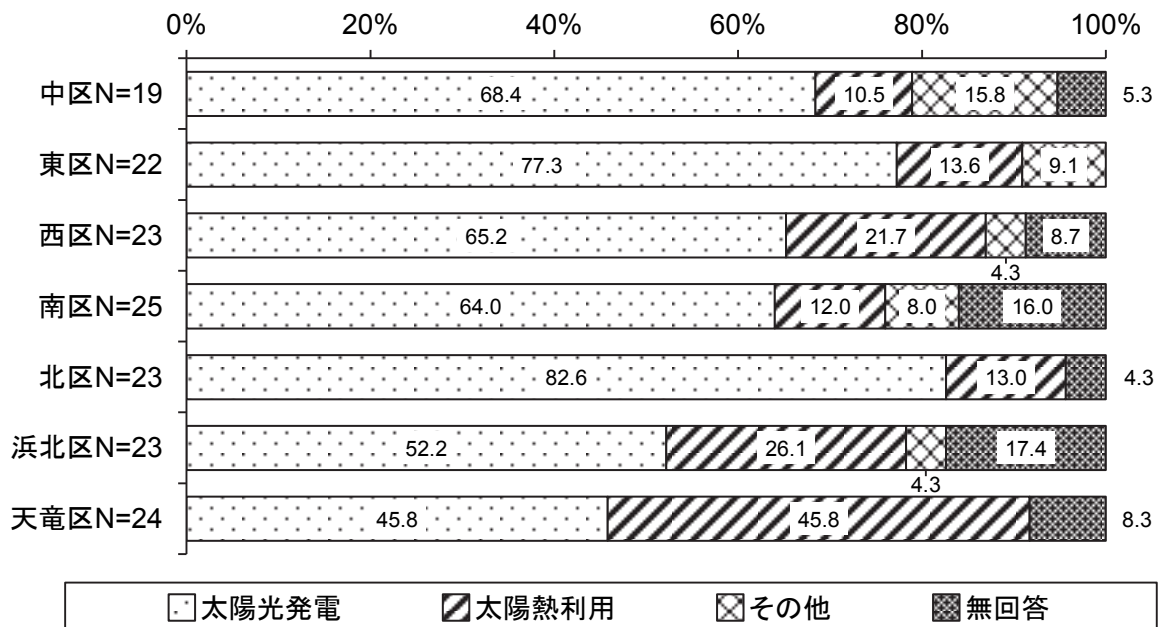
問10 問9で、「1. 導入している」「2. 導入する予定」とお答えの方に伺います。どのような新エネルギーを導入している、または導入する予定ですか。（1つだけ〇を付けてください）



「太陽光発電」が 64.8%、「太陽熱利用」が 20.8%、「その他」が 5.7%となっており、太陽エネルギーへの導入に集中している。

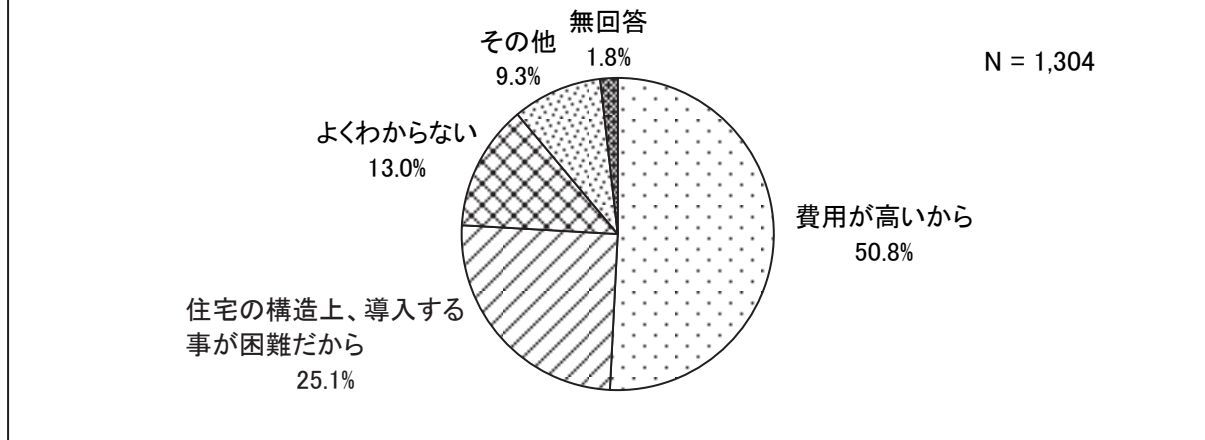
行政区別でみると、北区は「太陽光発電」が 82.6%となっており、他の区と比較し突出して高い。また、「太陽熱利用」については、「天竜区」が 45.8%と最も高く、「太陽光発電」と「太陽熱利用」とで概ね二分している。

【行政区別】



(4) 導入していない理由

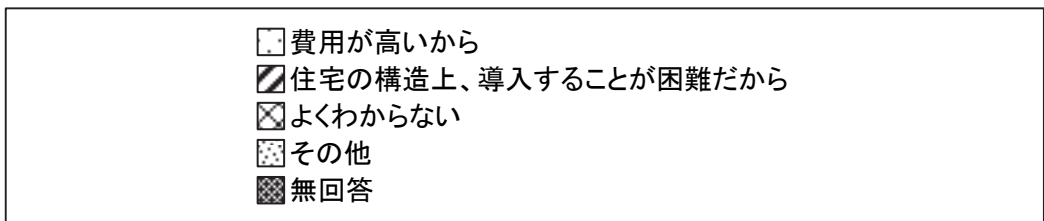
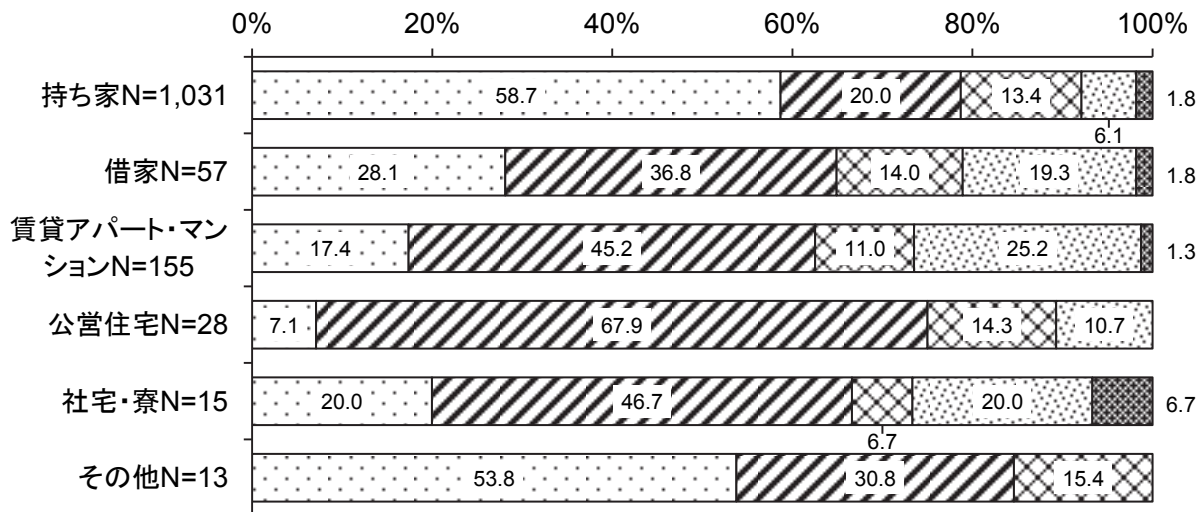
問11 問9で、「3. 導入していない」とお答の方に伺います。導入していない理由は何ですか。
(1つだけ○を付けてください)



「費用が高いから」が 50.8%、「住宅の構造上、導入することが困難だから」が 25.1%となり、半数以上が導入費用の高さをあげている。導入を進めていくためには、国、県、市の支援や設備費等の価格をさらに下げることが必要といえる。

居住形態別でみると、持家は「費用が高いから」の割合が比較的高く、借家、賃貸アパート・マンション、公営住宅、社宅・寮は、「住宅の構造上、導入することが困難だから」の回答割合が高い。

【居住形態別】



(5) 新エネルギーの導入を進めていくことについての意見

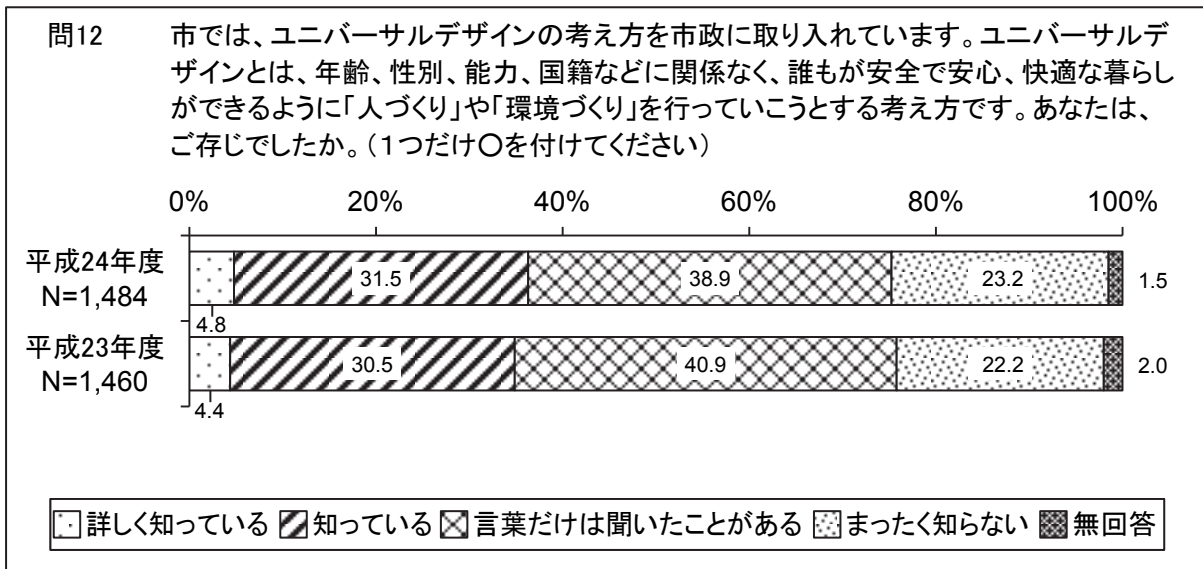
◆新エネルギーの導入を進めていくことについて、あなたの意見をご自由にお書きください。

※ひとつの回答に複数の項目についてのご意見が含まれるため、全体の件数は回答数を上回る

・新エネルギーの導入に賛成	72 件
・導入費用が高い・値下げしてほしい	69 件
・補助金の充実	56 件
・原子力に頼らない(原発反対)	42 件
・太陽光発電の導入(推進)	26 件
・導入しやすいしくみ(金利・税金等の優遇政策・支援制度強化)	20 件
・節電・エコ意識	19 件
・十分な説明や情報が欲しい	18 件
・国の役割(国が積極的に導入すべき)	17 件
・新エネルギーの研究・開発	15 件
・自治体で導入に取り組む	15 件
・風力発電の導入(推進)	14 件
・まず公共施設等から導入していく	14 件
・費用が安くなったら導入する	12 件
・建て替え・買い替えの時考慮	11 件
・太陽熱発電の導入(推進)	10 件
・浜松市全体で導入に取り組んで欲しい	10 件
・どのくらい耐久年数・採算性・実用性・必要性があるかわからない	10 件
・住宅事情・立地条件・屋根への影響等で導入が難しい	10 件
・悪質な販売の心配	9 件
・高齢者宅にも導入しやすい方法を	9 件
・増税や税金の無駄遣いは止めて欲しい	9 件
・休耕農地・遊休地・工場の屋根等に太陽光発電施設の建設	8 件
・その他	101 件

5 ユニバーサルデザインについて

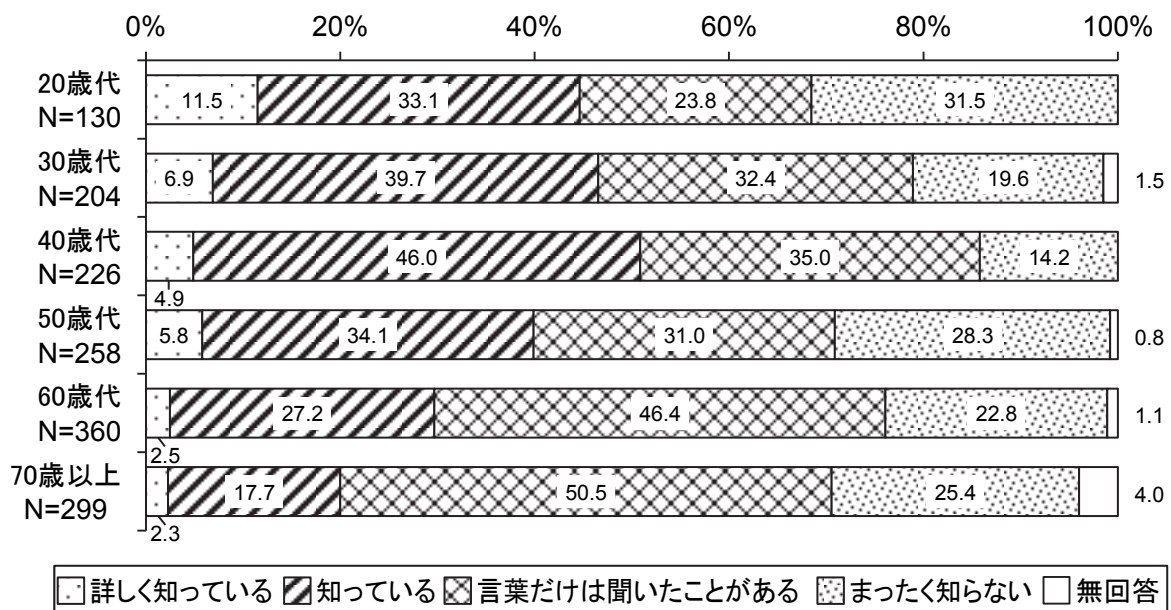
(1) ユニバーサルデザインの理解度



「詳しく知っている」が 4.8%、「知っている」が 31.5%、「言葉だけは聞いたことがある」が 38.9%、「まったく知らない」が 23.2%となっている。「詳しく知っている」と「知っている」を合わせた『理解度』は 36.3%であり、前年度調査の 34.9%から 1.4 ポイントの増加となっている。しかし、「言葉だけは聞いたことがある」まで含めた『認知度』は全体で 75.2%であり、前年度調査の 75.8%から 0.6 ポイントの減少となっている。

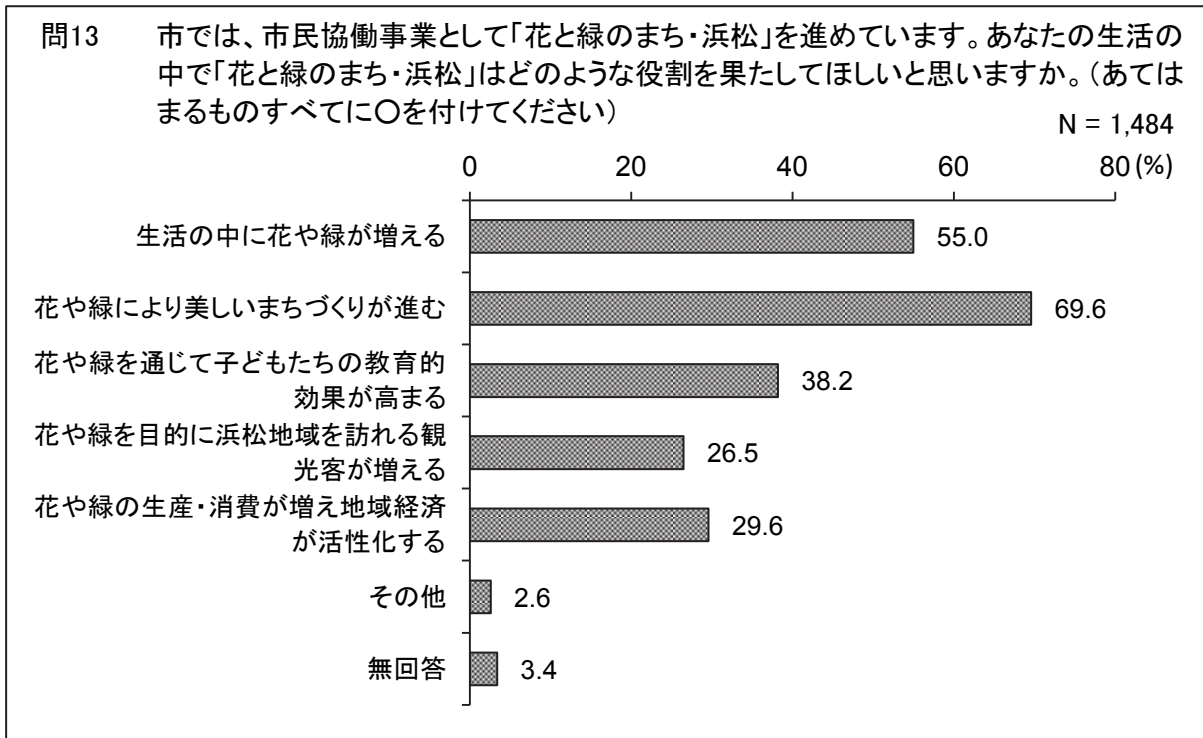
年代別の『理解度』では、40 歳代の 50.9%が最も高く、40 歳代を山として低くなっている。若者と比べて年配者の理解度は低いことから、普及啓発と併せて理解を深めるための施策が必要である。

【年代別】



6 「花と緑のまち・浜松」について

(1) 「花と緑のまち・浜松」の役割



「花や緑により美しいまちづくりが進む」が 69.6%で最も高く、次いで「生活の中に花や緑が増える」55.0%、「花や緑を通じて子どもたちの教育の効果が高まる」38.2%の順となった。「花や緑の生産・消費が増え地域が活性化する」29.6%、「花や緑を目的に浜松地域を訪れる観光客が増える」26.5%といった経済的役割を求める回答は比較的少なかった。

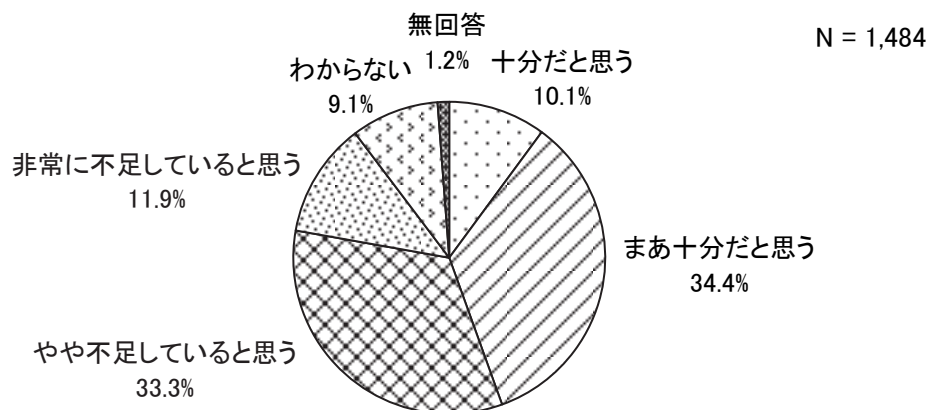
年代別でみると、「花や緑により美しいまちづくりが進む」は 20 歳代の回答割合が最も高く、「生活の中に花や緑が増える」は、60 歳代の回答割合が高かった。

まちづくりや生活など、身近な花みどりの役割に対する関心が高いことから、今後は、地域経済の活性化、浜松地域を訪れる観光客など、身近な生活圏内のみばかりではなく、浜松全体で花みどりの活かし方を考え、意識を啓発していくことが必要である。

	生活の中に花や緑が増える	花や緑により美しいまちづくりが進む	花や緑を通じて子どもたちの教育的効果が高まる	花や緑を目的に浜松地域を訪れる観光客が増える	花や緑の生産・消費が増え地域経済が活性化する	その他	無回答
20歳代N=130	49.2	78.5	33.8	30.0	26.2	1.5	0.8
30歳代N=204	48.5	67.2	39.2	24.0	27.0	1.5	2.9
40歳代N=226	57.1	70.4	34.5	23.0	24.8	2.7	0.9
50歳代N=258	56.2	73.3	34.9	30.6	31.8	3.5	2.7
60歳代N=360	61.4	68.1	42.5	25.0	32.2	2.8	4.4
70歳以上N=299	52.2	65.9	39.5	27.1	31.1	2.7	5.7

(2) 「花や緑」の量の満足度

問14 あなたの身近にある公園や歩道等の公共的施設の「花や緑」の量は、十分だと思いますか。(1つだけ○を付けてください)

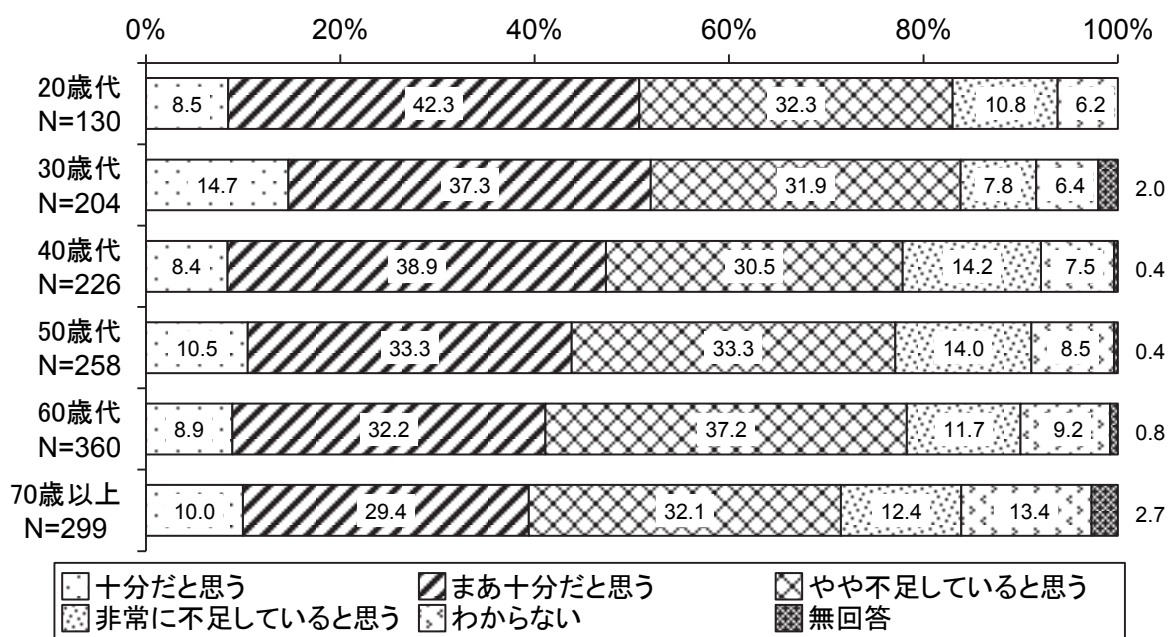


「まあ十分だと思う」が34.4%と最も多く、「十分だと思う」の10.1%を合わせると44.5%が、概ね満足と感じている。しかし、「やや不足していると思う」33.3%と「非常に不足していると思う」11.9%を合わせると45.2%が、不足との思いを感じていることから、公共空間における花や緑のあり方をさらに検討する必要がある。

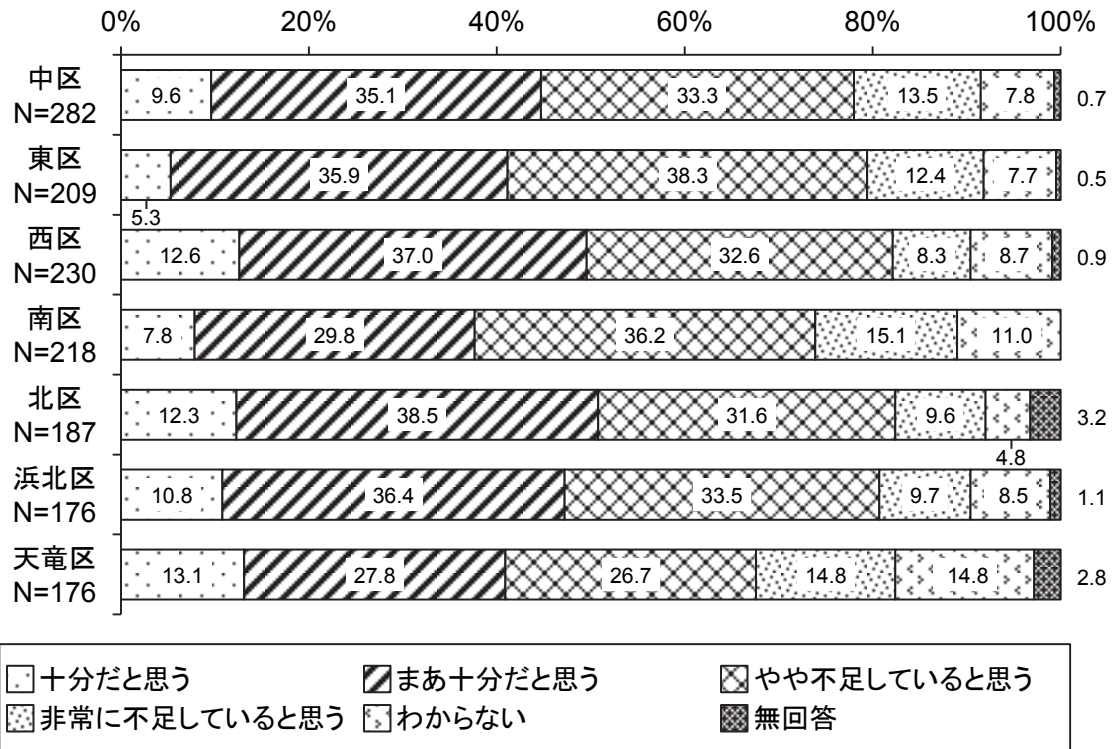
年代別でみると、「十分だと思う」と「まあ十分だと思う」を合わせた回答割合は、30歳代が最も高く、年齢が高くなるほど回答割合が低くなる傾向がみられる。

行政区別でみると、「十分だと思う」と「まあ十分だと思う」を合わせた回答割合は、北区が最も高い。天竜区は、「十分だと思う」の回答割合が最も高い一方で、「非常に不足している」の回答割合は、南区に次いで高くなっている。

【年代別】

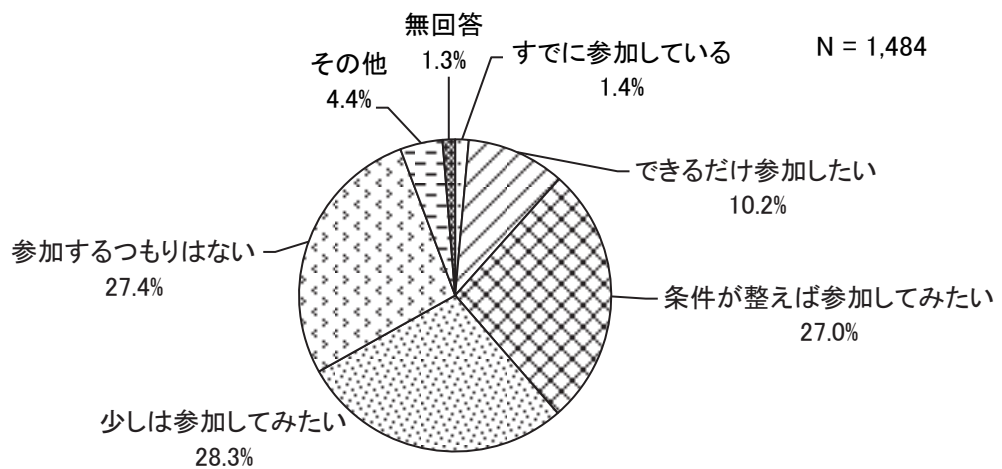


【行政区別】



(3) ボランティア参加の意思

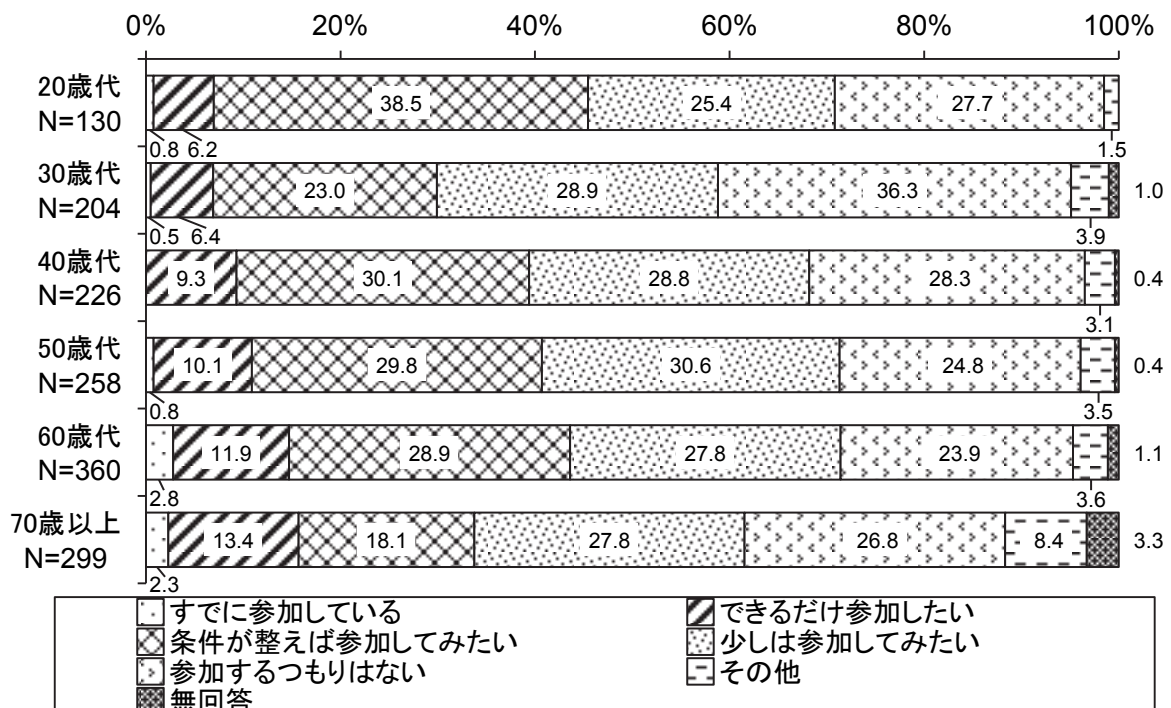
問15 市で、花や緑を飾るボランティア活動の募集をしたら、あなたは参加する意向がありますか。(1つだけ○を付けてください)



「少しは参加してみたい」28.3%が最も多く、「条件が整えば参加したい」27.0%、「できるだけ参加したい」10.2%、「すでに参加している」1.4%を合わせると66.9%が活動に参加したいと感じている。一方で、「参加するつもりはない」27.4%は、活動に興味を示していない状況にあるため、市民にボランティア活動をPRし意識啓発をしていくことが必要である。

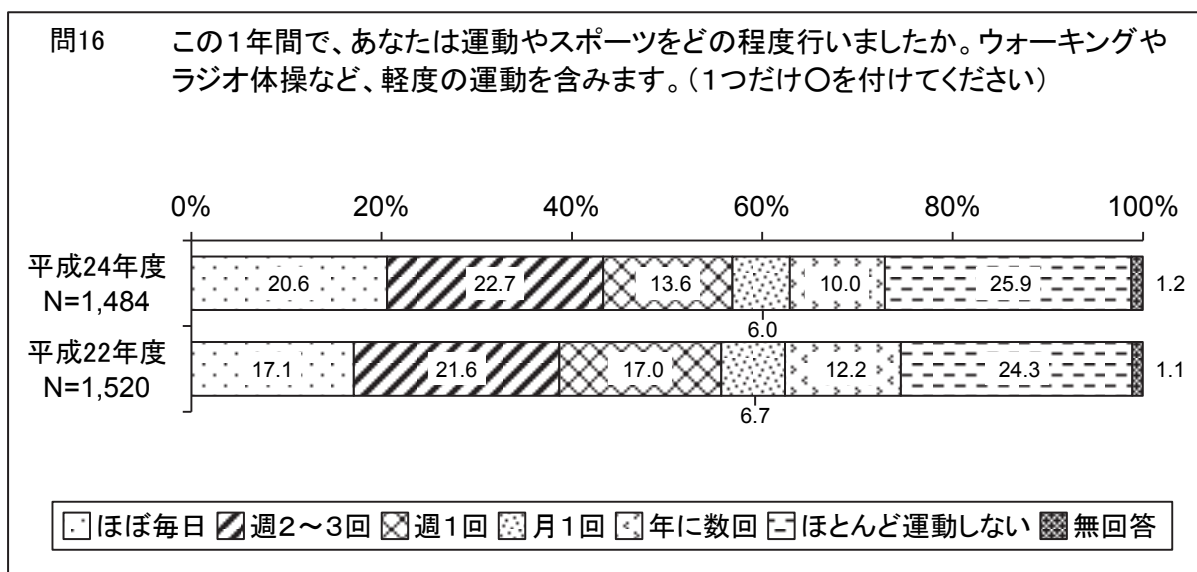
年代別でみると、「すでに参加している」は全ての年代で3%未満の少数意見となっている。「できるだけ参加したい」は年齢が高くなるほど回答割合が高まる傾向がみられるが、回答割合が最も高い70歳以上でも13.4%にとどまっている。

【年代別】



7 運動・スポーツについて

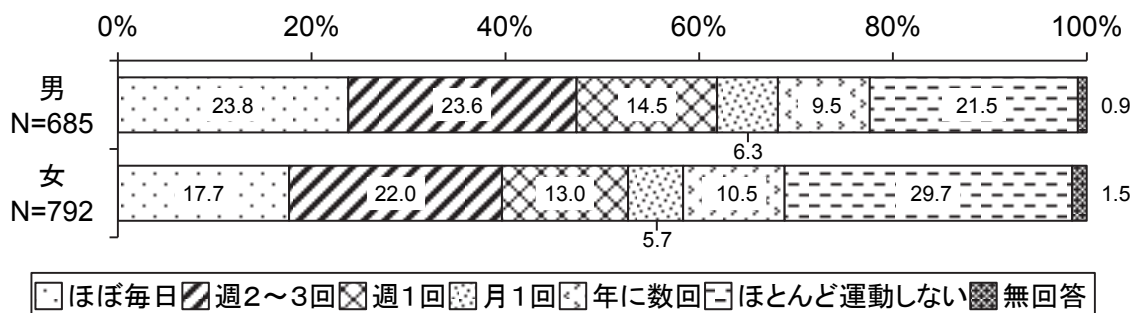
(1) 運動やスポーツの頻度



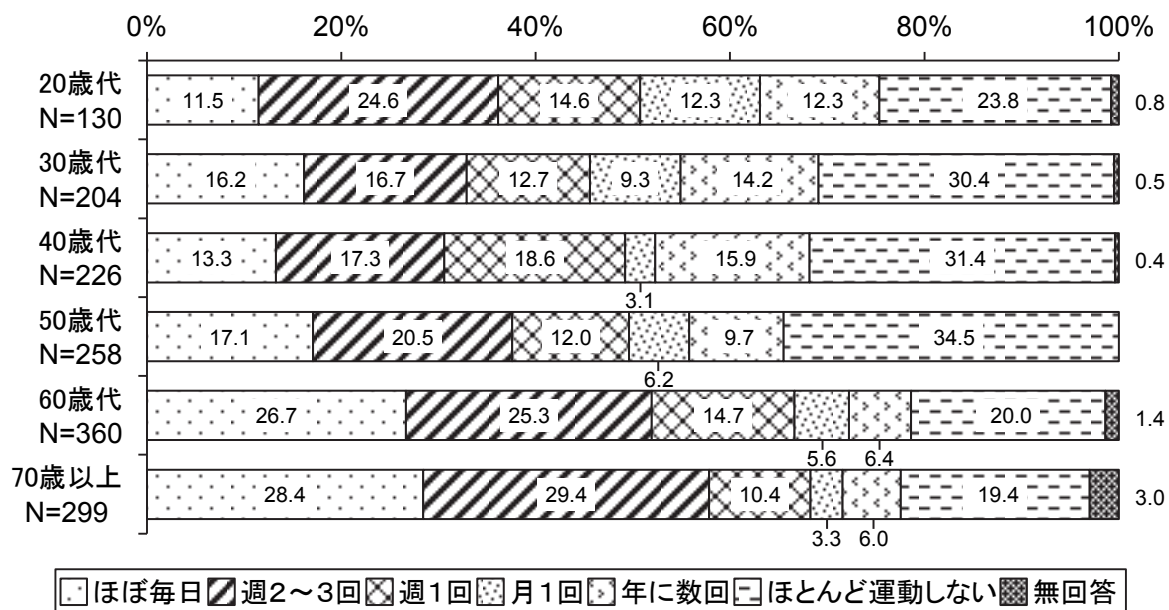
「ほぼ毎日」20.6%、「週2~3回」22.7%、「週1回」13.6%を合わせた週1回以上の頻度が56.9%であった。これは、浜松市がスポーツ振興基本計画の数値目標に掲げている「成人の週1回以上のスポーツ実施率60%以上」に近づくとともに、平成22年度調査の55.7%から1.2ポイント増加している。

週1回以上のスポーツ実施は、性別で見ると男性61.9%、女性52.7%と男性が高く、年代別では70歳以上の68.2%が最も高い。30歳代の45.6%を底に年齢が高くなると実施率は高くなっており、60歳代以上は市の目標数値（60%以上）に達している。

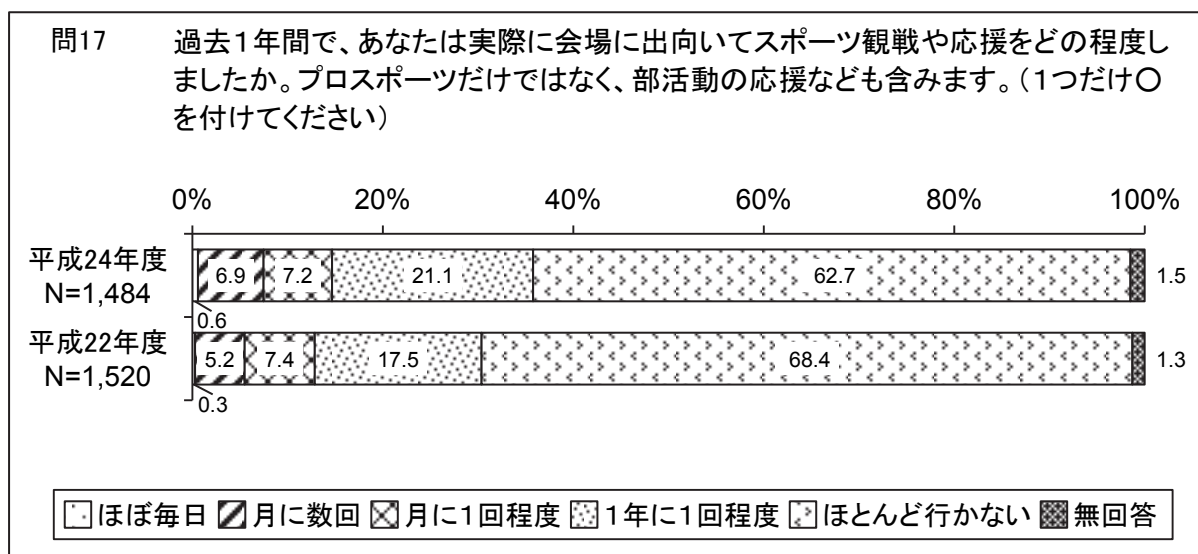
【性別】



【年代別】



(2) スポーツ観戦や応援の頻度



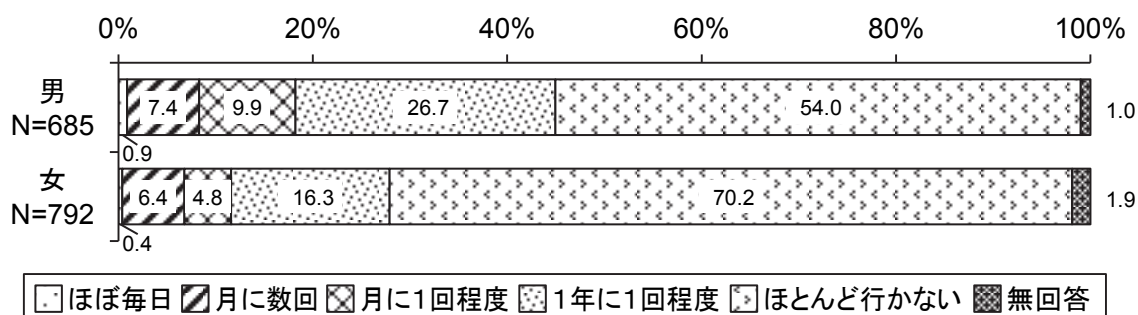
「ほぼ毎日」0.6%、「月に数回」6.9%、「月に1回程度」7.2%、「1年に1回程度」21.1%で、年1回以上のスポーツ観戦・応援実施率は35.8%であった。平成22年度調査と比較すると、30.4%から5.4ポイント増加しているが、浜松市がスポーツ振興基本計画の数値目標として掲げている「成人年1回以上のスポーツ観戦・応援実施率50%以上」とは、14.2ポイントの開きがある。

性別でみると、年1回以上のスポーツ観戦や応援は、男性が44.9%であるのに対して女性は27.9%と、男女で17.0ポイントの差が見られた。観戦や応援の頻度についても、スポーツ実施率と同様、女性より男性の方が高くなっている。

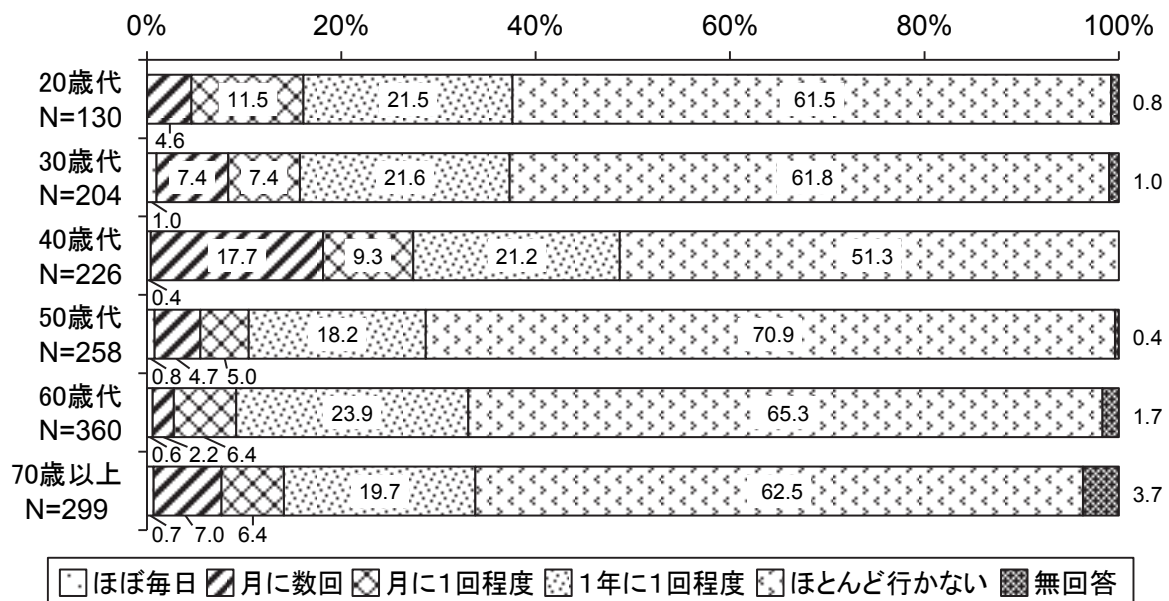
年代別でみると、年1回以上のスポーツ観戦や応援については、回答割合が最も高い40歳代48.6%でも、市の目標数値に達していない。

今後、さまざまなスポーツ大会がどのように行なわれているかを広く市民に周知し、観戦の機会を広めていく必要がある。

【性別】



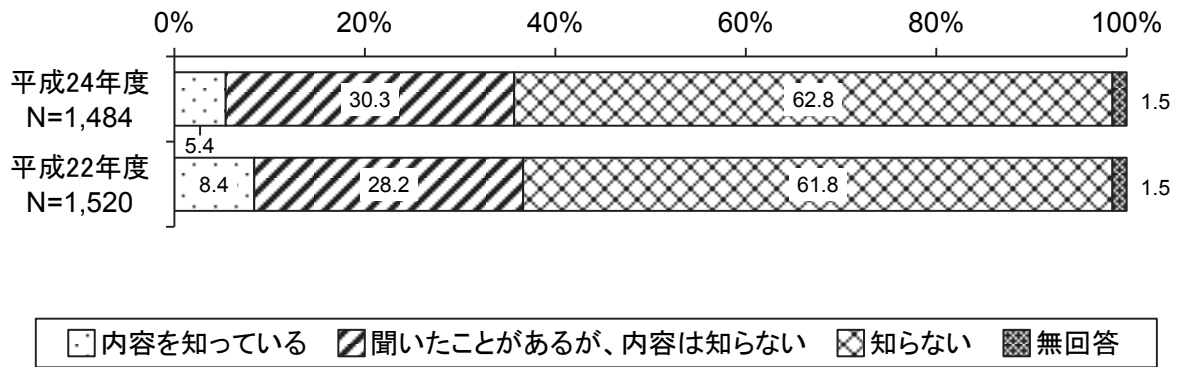
【年代別】



8 健康について

(1) 「健康はままつ21」の認知度

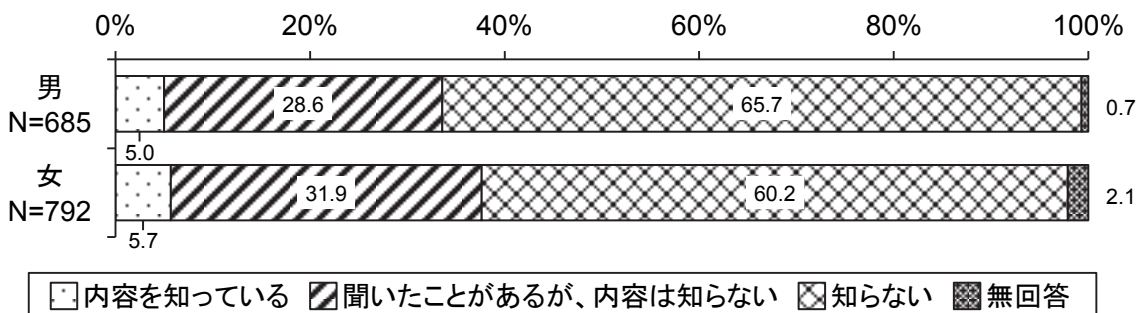
問18 市では、すべての市民が健康で明るく元気に生活できることを目指し、健康づくりの指針となる「健康はままつ21」を策定しましたが、あなたのご存じですか。(1つだけ○を付けてください)



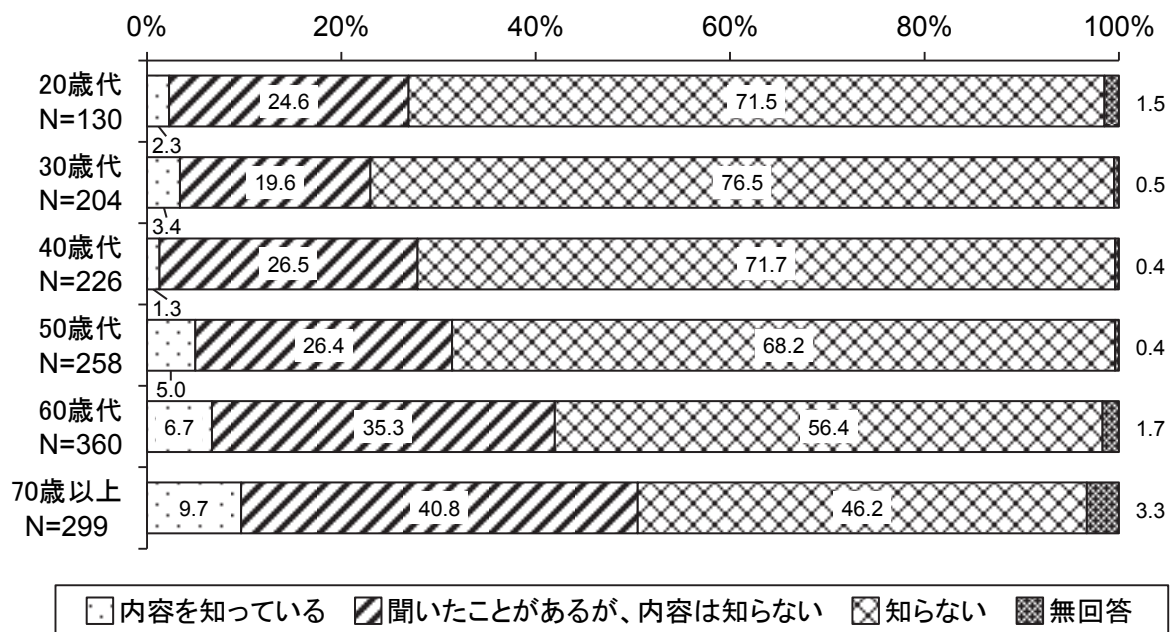
「内容を知っている」が5.4%、「聞いたことがあるが、内容は知らない」は30.3%であり、「内容を知っている」と「聞いたことがあるが、内容は知らない」を合わせた『認知度』は35.7%となっている。平成22年度実施の調査と比較すると、「内容を知っている」は3.0ポイント減少し、『認知度』も37.8%から2.1ポイント減少している。『認知度』を性別で見ると、男性が33.6%、女性が37.6%と、女性の方が高くなっている。

年代別で見ると、30歳代以上は年齢が高くなるほど『認知度』が高くなっている。今後は、周知と併せて内容まで知ってもらう取り組みをより強化する必要がある。

【性別】

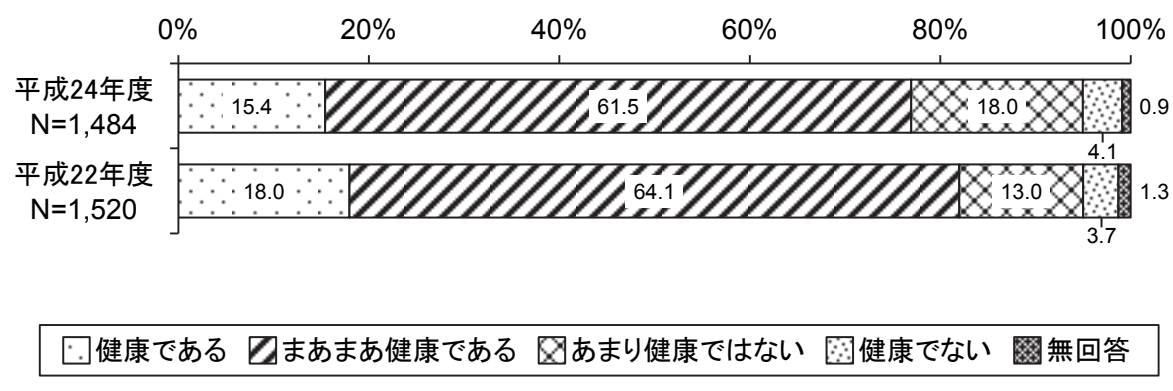


【年代別】



(2) 自身の健康状態について

問19 現在、あなたはご自身の健康状態をどのように感じていますか。(1つだけ○を付けてください)

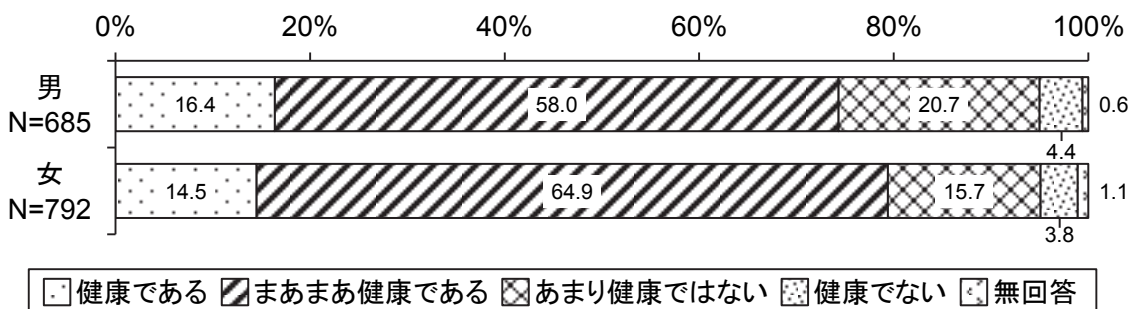


「健康である」は 15.4%、「まあまあ健康である」は 61.5%であり、「健康である」と「まあまあ健康である」を合わせた『健康である』は、76.9%となった。平成 22 年度実施の調査と比較すると、『健康である』の回答割合は 5.2 ポイント減少している。

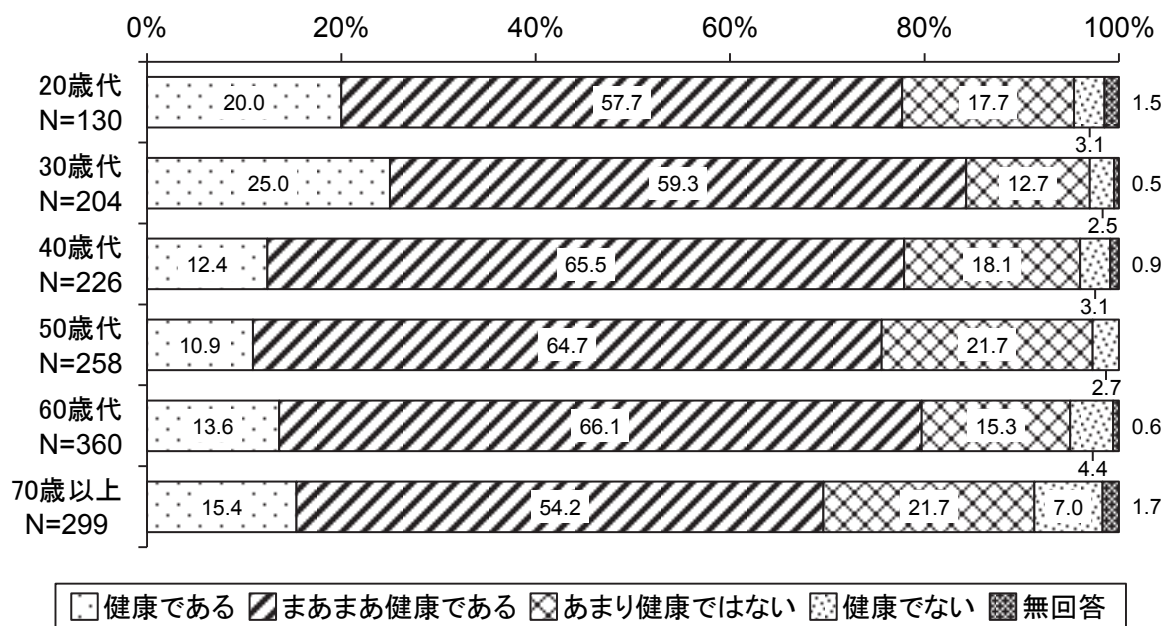
性別でみると、「健康である」と回答した割合は男性の方が高いが、「健康である」と「まあまあ健康である」を合わせた『健康である』は、女性の方が高くなっている。

年代別でみると、「健康である」の回答割合は、20～30 歳代が 20%台であるのに対し、40 歳代以上は 10%台と低くなっている。40 歳代以上の内、「健康である」と回答した割合が最も高い 70 歳以上は、「健康でない」と回答した割合も最も高くなっている。

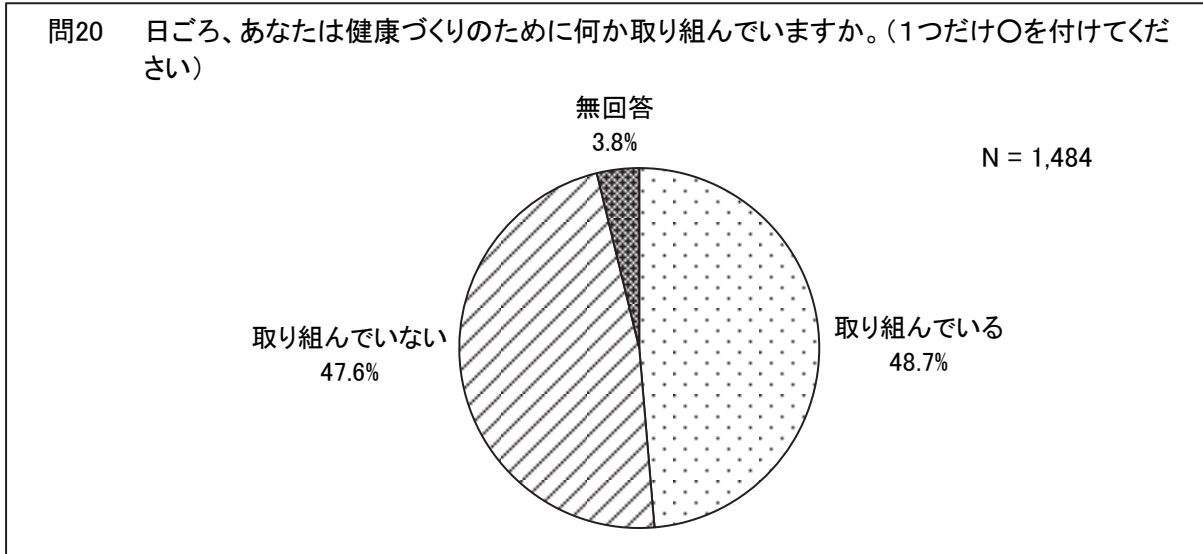
【性別】



【年代別】

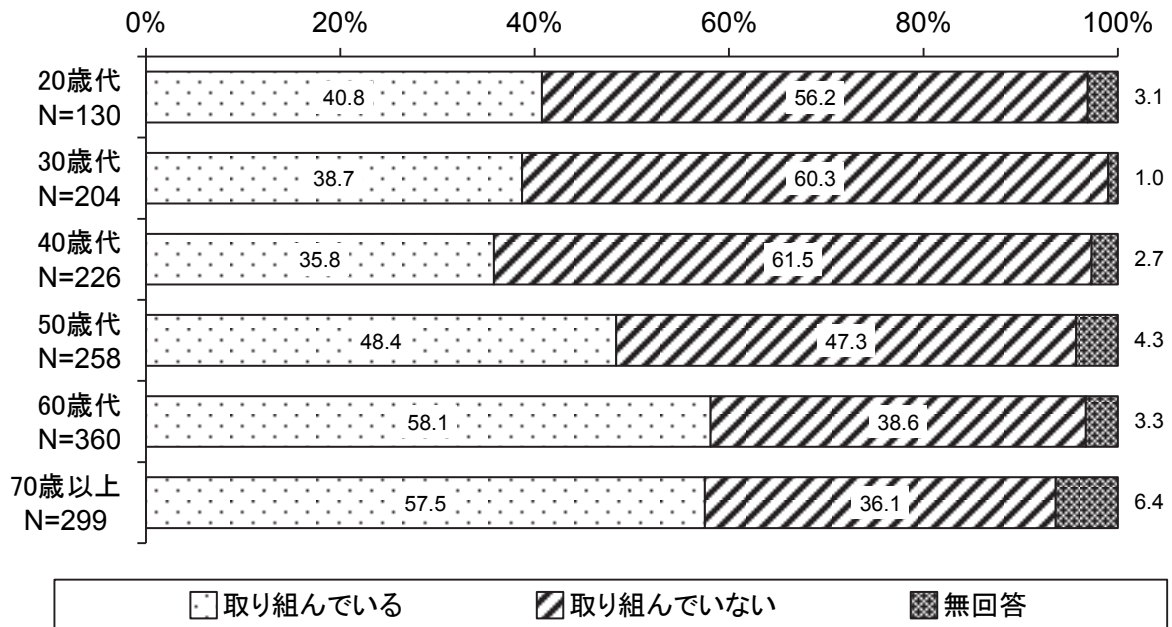


(3) 健康づくりのための取り組み状況



「取り組んでいる」が48.7%、「取り組んでいない」が47.6%と、回答がほぼ2分している。年代別にみると、「取り組んでいる」の回答割合は40歳代を底として高まる傾向がみられた。40歳代以下と50歳代以上を境に、「取り組んでいる」「取り組んでいない」の回答割合が、逆転している。

【年代別】



(4) 健康づくりについての意見

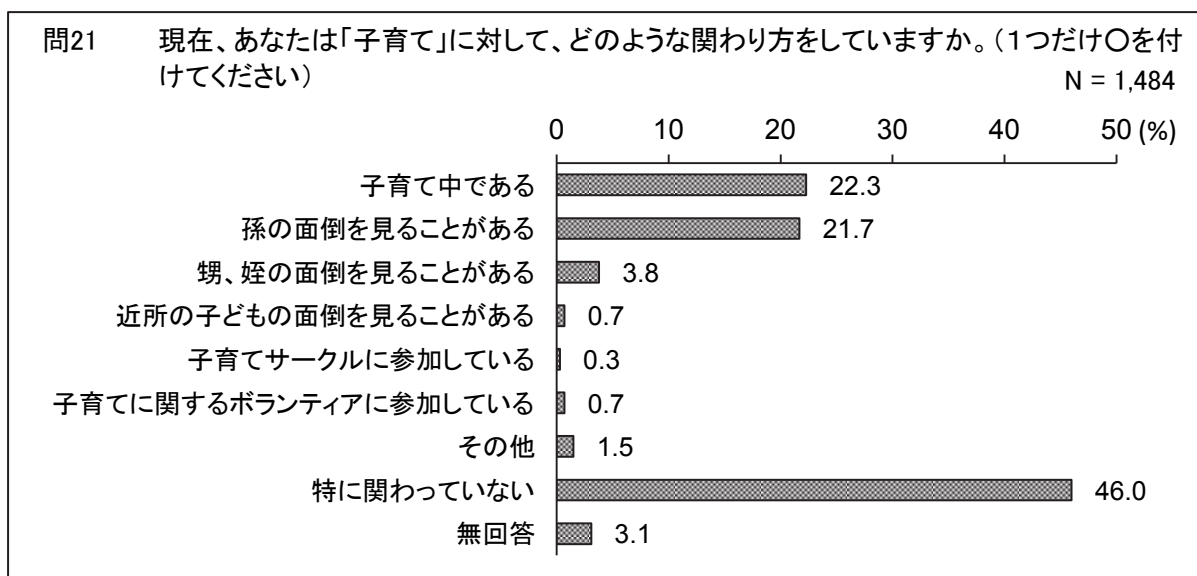
◆健康づくりとして取り組んでいる内容や、気軽に楽しく健康づくりに取り組むために必要なことについて、あなたの意見をご自由にお書きください。

※ひとつの回答に複数の項目についてのご意見が含まれるため、全体の件数は回答数を上回る

・ウォーキング(散歩)	221 件
・食生活に気をつける	125 件
・適度な運動	81 件
・ラジオ(テレビ)体操	33 件
・続けることが大事	33 件
・ジム・スポーツクラブに通う	31 件
・農作業・家庭菜園・草取り・庭いじり	27 件
・スポーツ(公共)施設に関する要望	25 件
・スポーツイベントの開催に関する要望	24 件
・道路・歩道・公園・河川敷等に関する要望	24 件
・目的地までなるべく歩く	22 件
・規則正しい生活をする(早寝早起き)	21 件
・無理をしない	21 件
・家族・仲間と楽しくスポーツをする(仲間作り)	21 件
・ストレッチ	20 件
・自転車、サイクリング	19 件
・心の健康(笑顔で過ごす・おしゃべり・挨拶・気分転換等)	19 件
・ジョギング、マラソン、ランニング	15 件
・万歩計をつけている	14 件
・プール(歩く・泳ぐ)	13 件
・筋肉トレーニング	12 件
・グランドゴルフ	11 件
・やりたくてもできない(時間的な理由)	11 件
・ゴルフ	10 件
・定期的な健診	9 件
・その他	155 件

9 子育て支援について

(1) 子育てへの関わりについて



「特に関わっていない」が46.0%と最も高く、次いで「子育て中である」が22.3%となっている。「孫の面倒を見ることがある」も21.7%と2割を占める。

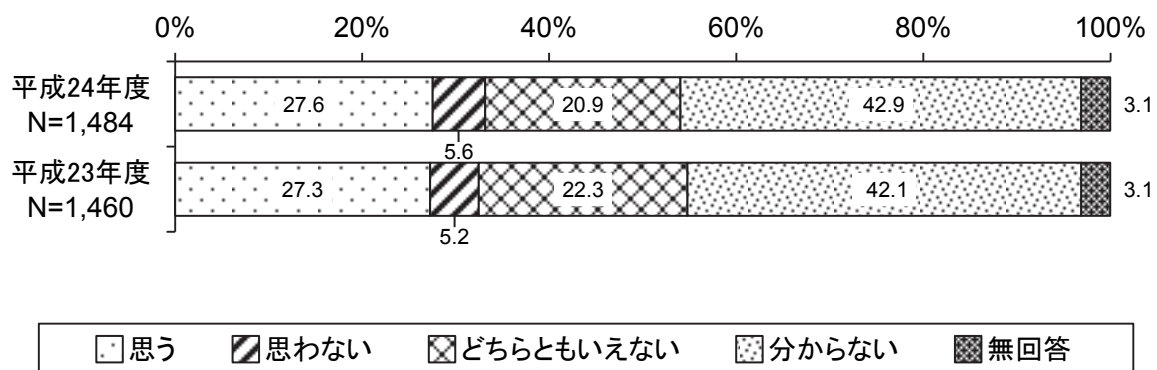
年代別でみると、「子育て中である」は、30歳代が63.7%、40歳代が61.5%と6割を占めている。50歳代になると、「子育て中である」の回答割合が12.8%へ落ち込む一方、「孫の面倒を見ることがある」は22.9%となっている。ただし、50歳代以上では「特に関わっていない」が半数を占めている。社会全体で子どもや子育てを支えていくために、子育てに「特に関わっていない」層が、ボランティア活動等を通じて地域の子どもと接する機会をもつことが必要であるといえる。

【年代別】

	子育て中である	孫の面倒を見ることがある	甥、姪の面倒を見ることがある	近所の子どもの面倒を見ることがある	子育てサークルに参加している	子育てに関するボランティアに参加している	その他	特に関わっていない	無回答
20歳代N=130	16.9	0.8	12.3	1.5	1.5	1.5	2.3	61.5	1.5
30歳代N=204	63.7	-	12.3	-	-	-	1.0	22.5	0.5
40歳代N=226	61.5	0.9	2.2	0.4	0.4	0.9	0.9	31.0	1.8
50歳代N=258	12.8	22.9	0.8	0.4	-	0.8	3.1	58.9	0.4
60歳代N=360	1.7	43.9	1.4	0.8	-	1.1	0.8	48.6	1.7
70歳以上N=299	0.3	32.8	1.0	1.0	0.3	-	1.7	52.8	10.0

(2) 子育てしやすくなっているか

問22 市では、「子育て支援ひろば」や「ファミリー・サポート・センター」など子育てに関するさまざまな支援を行っています。あなたは、このような支援によって、子育てがしやすくなっていると思いますか。(1つだけ○を付けてください)

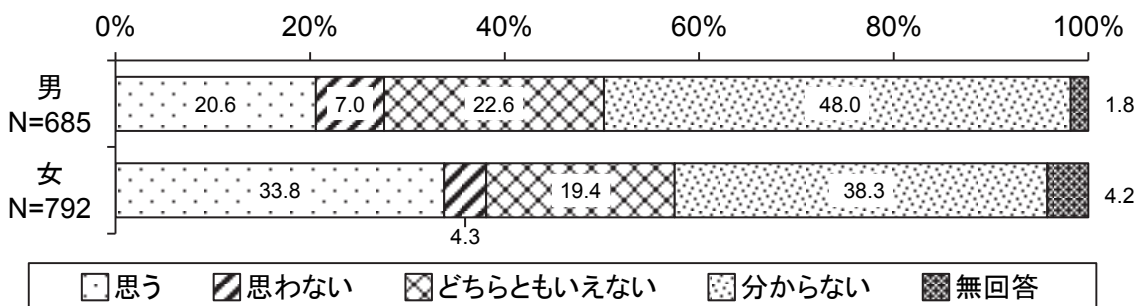


「わからない」が 42.9%と最も高く、次いで「思う」が 27.6%、「どちらともいえない」が 20.9%、「思わない」が 5.6%となっている。前年度調査と比較すると、「思う」は 27.3%から 27.6%と 0.3ポイントの微増だが、「思わない」も 5.2%から 5.6%に 0.4ポイント微増している。子育て世代が仕事と子育ての両立を図れるよう、企業にも子育て家庭に対する理解を求めるとともに、就業していても「子育てがしやすい」と感じられるように仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けた社会基盤づくりを進めていくことが必要といえる。

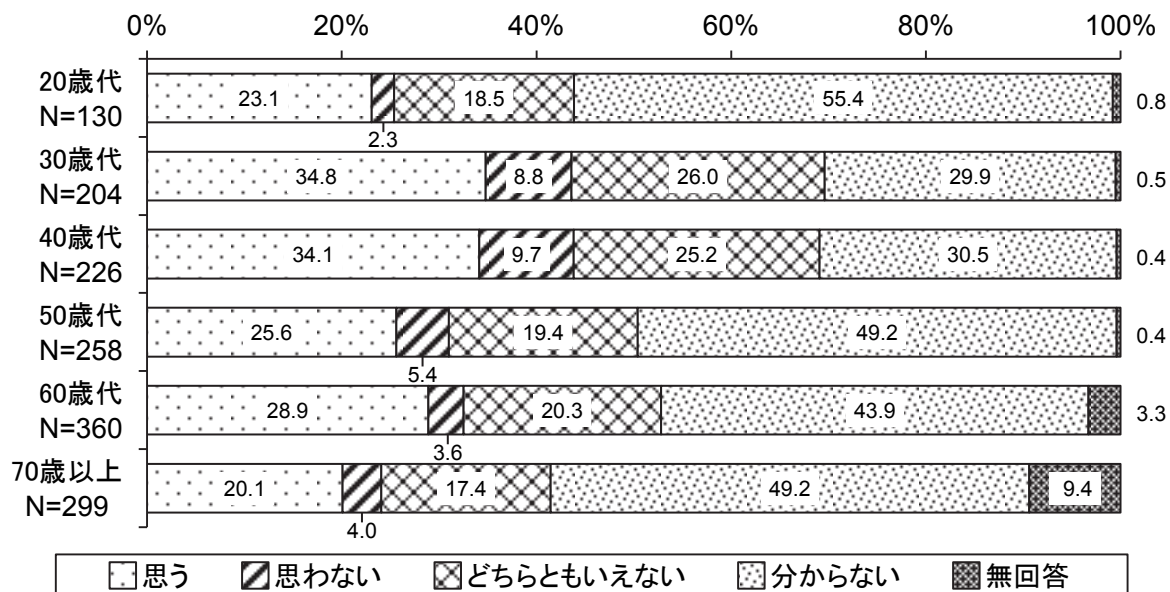
性別でみると、「思う」の回答割合は男性が 20.6%、女性が 33.8%と、13.2%の差がついた。男性の半数近くが「わからない」と回答している。

年代別でみると、子育て世代の 30～40 歳代では、子育てがしやすいと「思う」が 3 割を超えている一方、「思わない」が 10%未満と少数意見ではあるが、他の世代と比較して高くなっている。

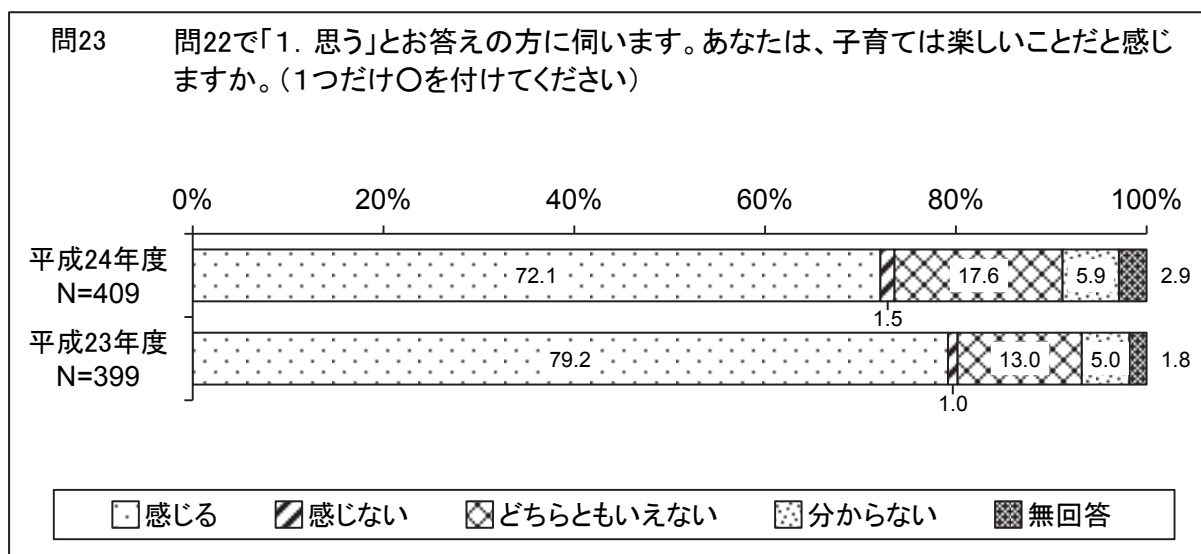
【性別】



【年代別】



(3) 子育ては楽しいと感じるか

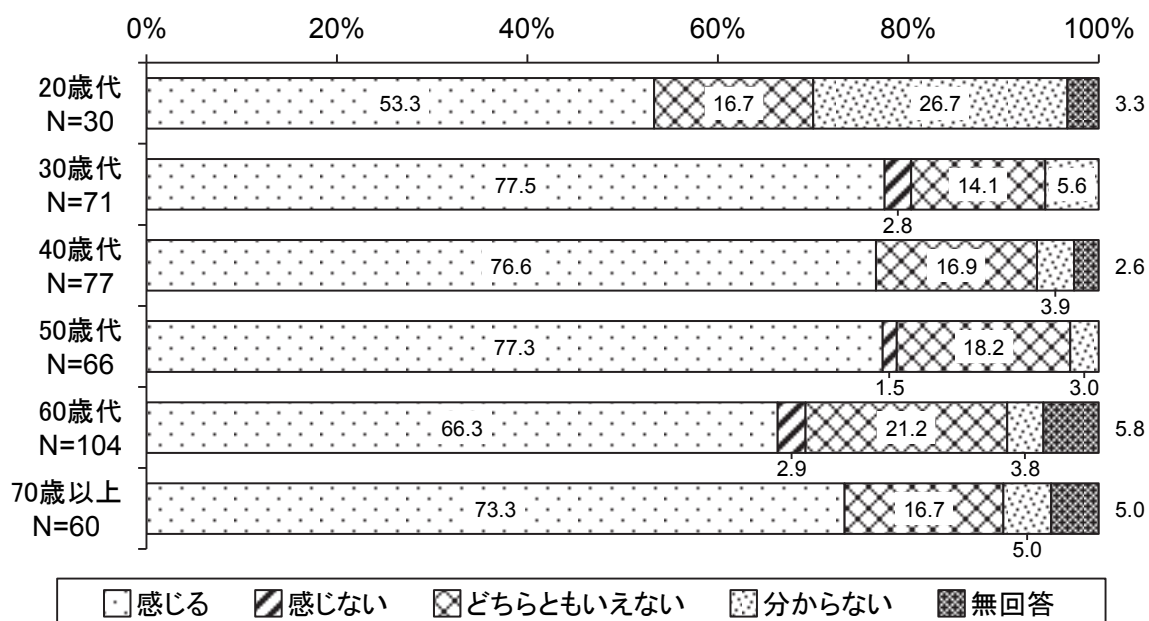


「感じる」が72.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」17.6%、「わからない」5.9%、「感じない」1.5%となっている。前年度調査と比較すると、「感じる」が、79.2%から72.1%と、7.1ポイント減少し、「感じない」は1.0%から1.5%に0.5ポイント微増している。

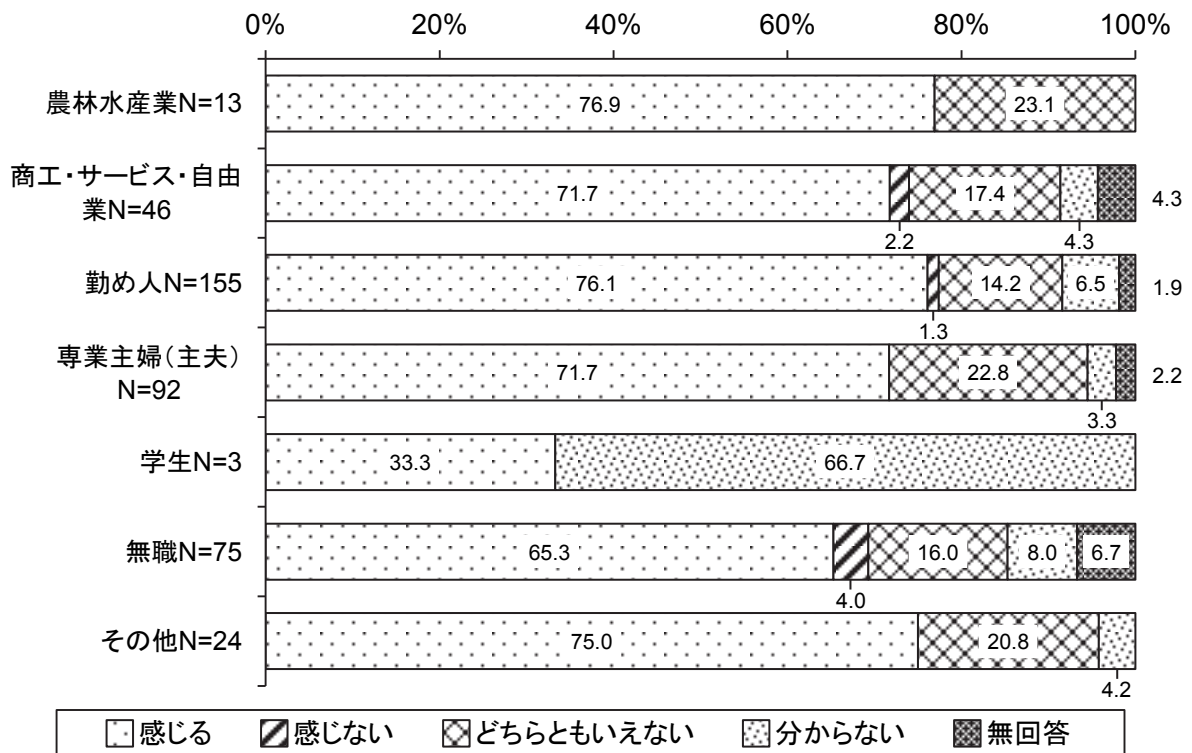
年代別にみると、20歳代では楽しいと「感じる」が53.3%であるのに対し、30～50歳代および、70歳以上では7割を越えている。「感じる」という回答が伸びない背景には、少子化や核家族化の進行による子育ての孤立や密室化を原因とした子育てへの不安感・負担感があると思われることから、地域に根づいた子育て支援施策の充実に努め、社会全体で子どもや子育てを支えていく環境づくりを進めていくことが必要である。

職業別で勤め人と専業主婦（主夫）を比較すると、「感じる」の回答割合は、勤め人の方が高くなっている。

【年代別】



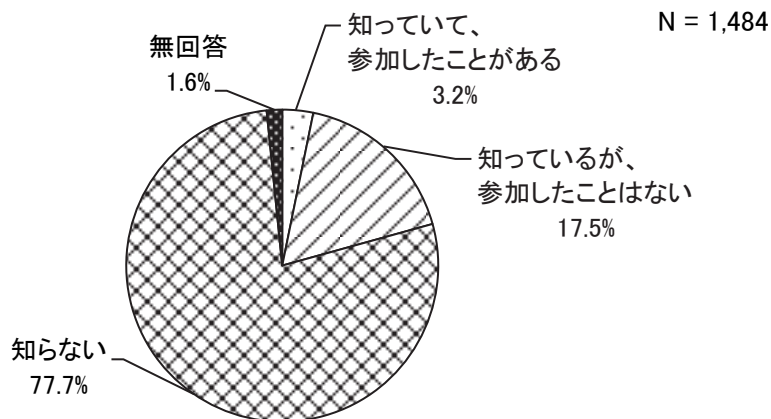
【職業別】



10 「ひとりひとりにいい声掛けデー」について

(1) 「ひとりひとりにいい声掛けデー」の認知度

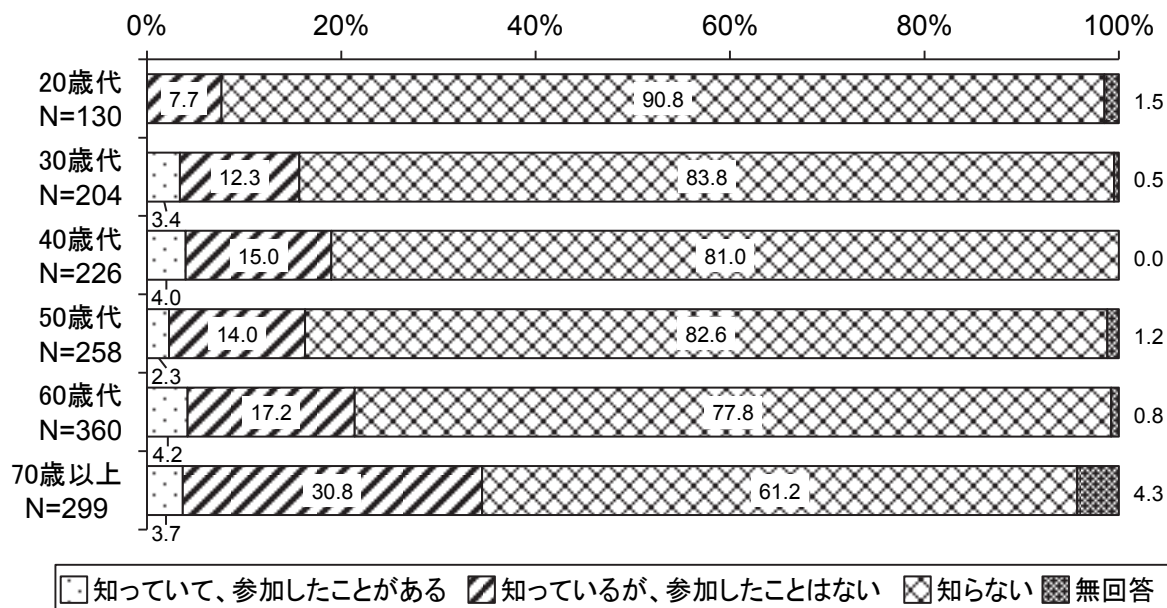
問24 市では、11月11日を全市統一の「ひとりひとりにいい声掛けデー」として、子ども(青少年)へのあいさつや声掛けを行っています。あなたはご存じですか。(1つだけ○を付けてください)



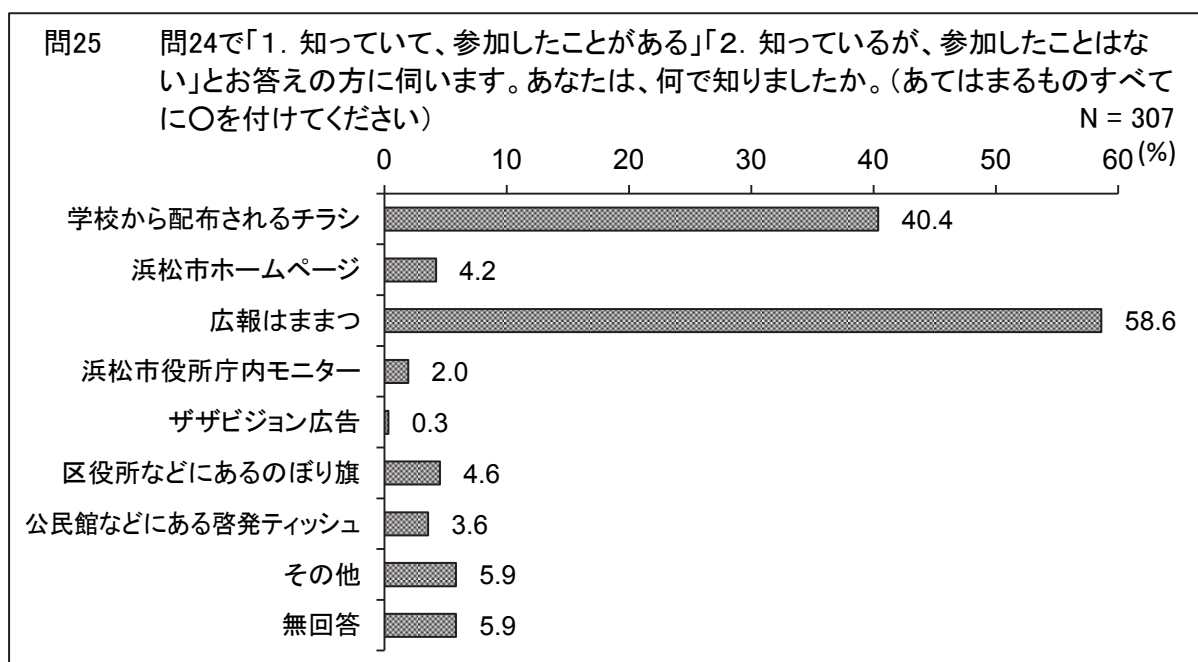
「知っていて、参加したことがある」が3.2%、「知っているが、参加したことはない」が17.5%となった。「知っていて、参加したことがある」と「知っているが、参加したことはない」を合わせた『認知度』は、20.7%にとどまり、「知らない」77.7%の回答を大きく下回った。

年代別でみると、20歳代では「知っていて、参加したことがある」の回答はなく、「知らない」は9割を占めている。年齢が高いほど『認知度』が高まる傾向はあるものの、「参加したことがある」人の割合は最も高い60歳代でも4.2%にとどまることから、周知と併せ参加を促す取り組みも必要といえる。

【年代別】



(2) 「ひとりひとりにいい声掛けデー」を知ったきっかけ



「広報はままつ」が 58.6%と最も高く、次いで「学校から配布されるチラシ」が 40.4%となった。

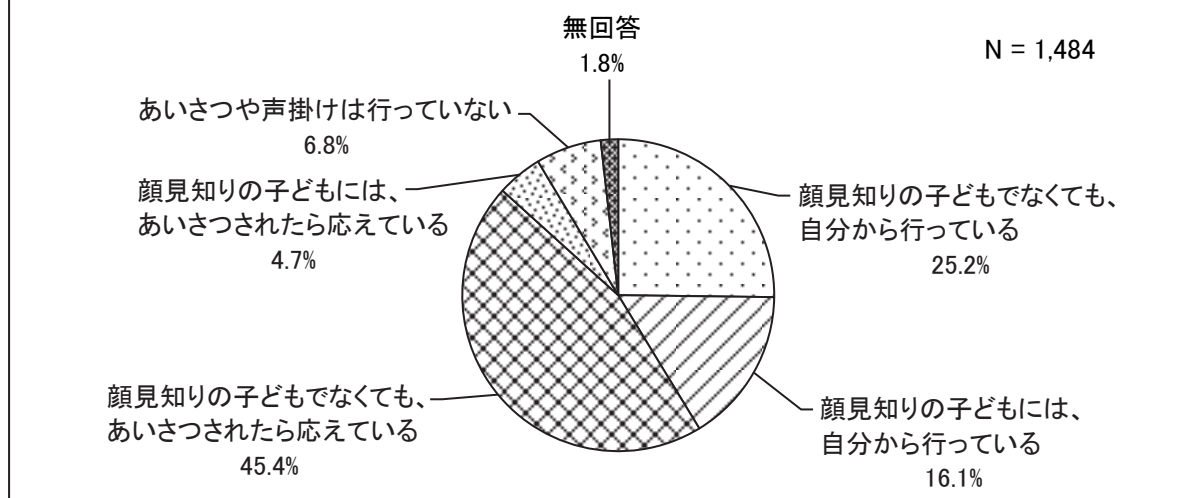
年代別でみると、20～40 歳代は「学校から配布されるチラシ」の回答割合が高く、50 歳代以上は、「広報はままつ」の回答割合が高い。家庭に届き、手にとって読むことができる広報紙やチラシの PR 効果が大きいことが分かる。

【年代別】

	学校から配布されるチラシ	浜松市ホームページ	広報はままつ	浜松市役所庁内モニター	ザザビジョン広告	区役所などにあるのぼり旗	公民館などにある啓発ティッシュ	その他	無回答
20歳代N=10	50.0	10.0	40.0	-	10.0	-	-	20.0	-
30歳代N=32	78.1	-	25.0	-	-	6.3	-	6.3	-
40歳代N=43	65.1	-	41.9	-	-	2.3	-	7.0	2.3
50歳代N=42	21.4	9.5	69.0	2.4	-	11.9	-	2.4	11.9
60歳代N=77	37.7	5.2	64.9	2.6	-	5.2	1.3	6.5	9.1
70歳以上N=103	27.2	3.9	68.9	2.9	-	1.9	9.7	4.9	4.9

(3) あいさつや声掛けについて

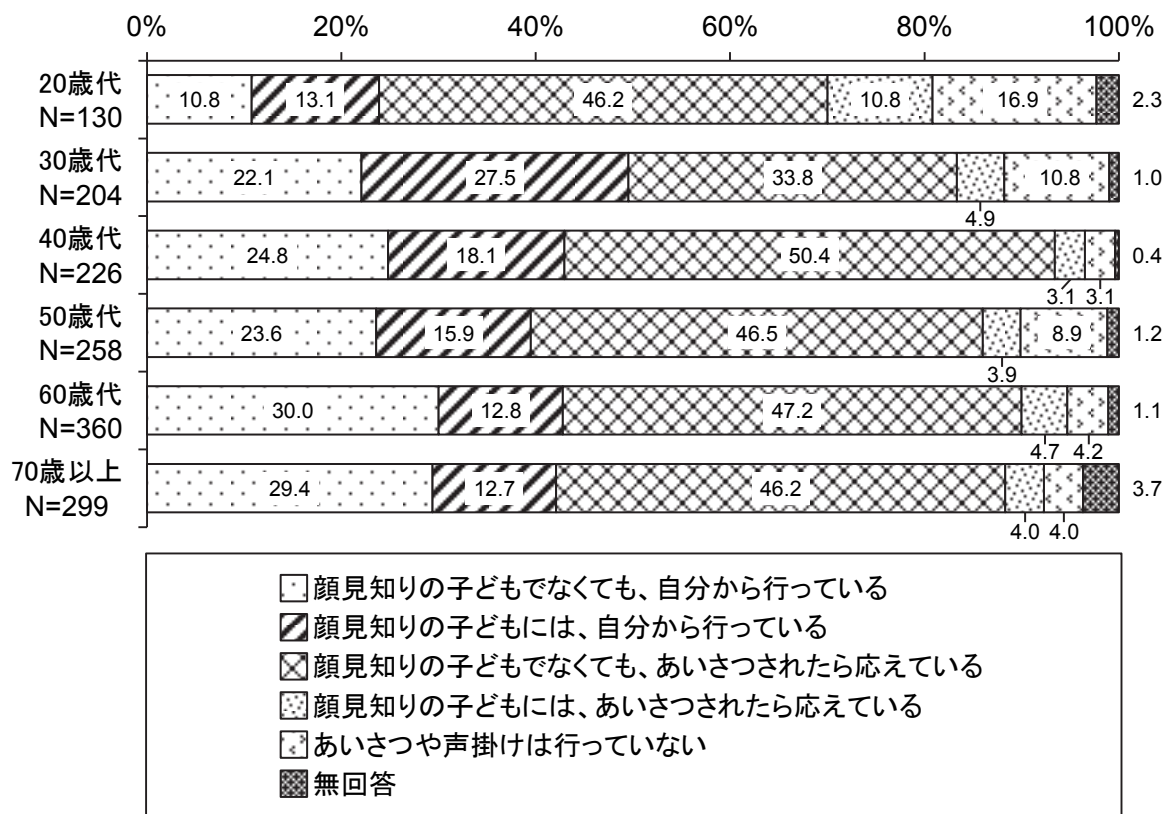
問26 日ごろ、あなたは地域の子ども(青少年)に対して、どの程度あいさつや声掛けを行っていますか。(1つだけ○を付けてください)



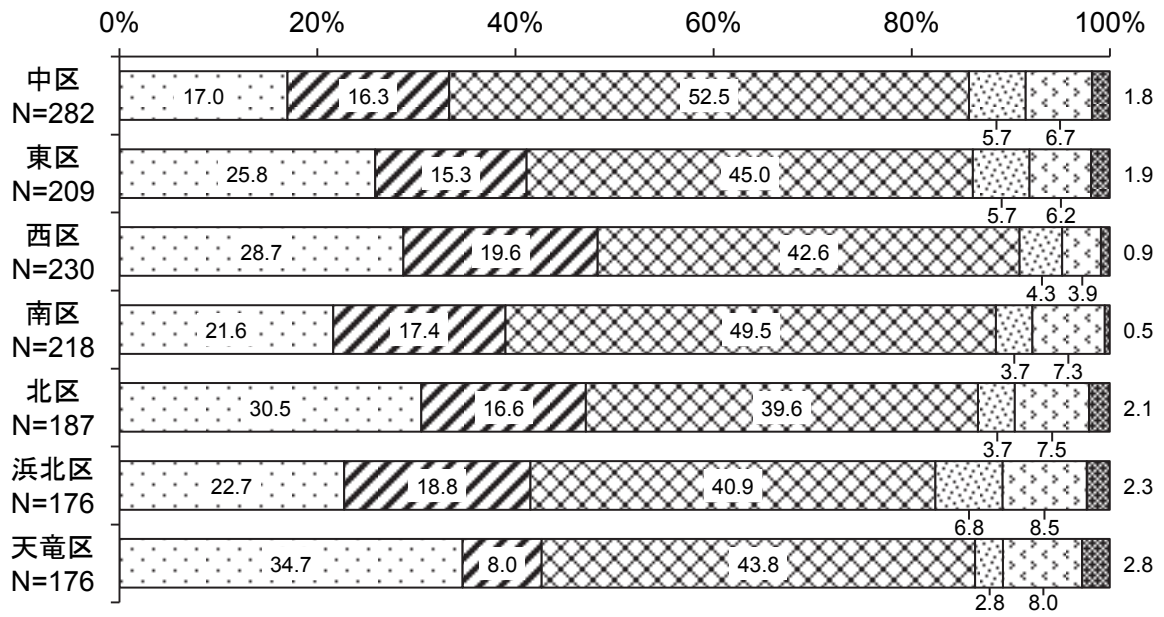
「顔見知りの子どもでもなくとも、あいさつされたら応えている」が 45.4%で最も高く、次いで「顔見知りの子どもでもなくとも、自分から行っている」25.2%、「顔見知りの子どもには、自分から行っている」16.1%となった。「顔見知りの子どもでもなくとも、自分から行っている」と「顔見知りの子どもには、自分から行っている」とを合わせた 41.3%が、大人から子どもへのあいさつや声掛けを心掛けていることが分かる。さらに多くの市民が大人からのあいさつや声掛けの大切さを理解し取り組むきっかけとして「ひとりひとりにいい声掛けデー」を活用し、啓発していく必要がある。

行政区別でみると、「顔見知りの子どもでもなくとも、自分から行っている」の回答割合は天竜区の 34.7%が最も高い。

【年代別】



【行政区別】



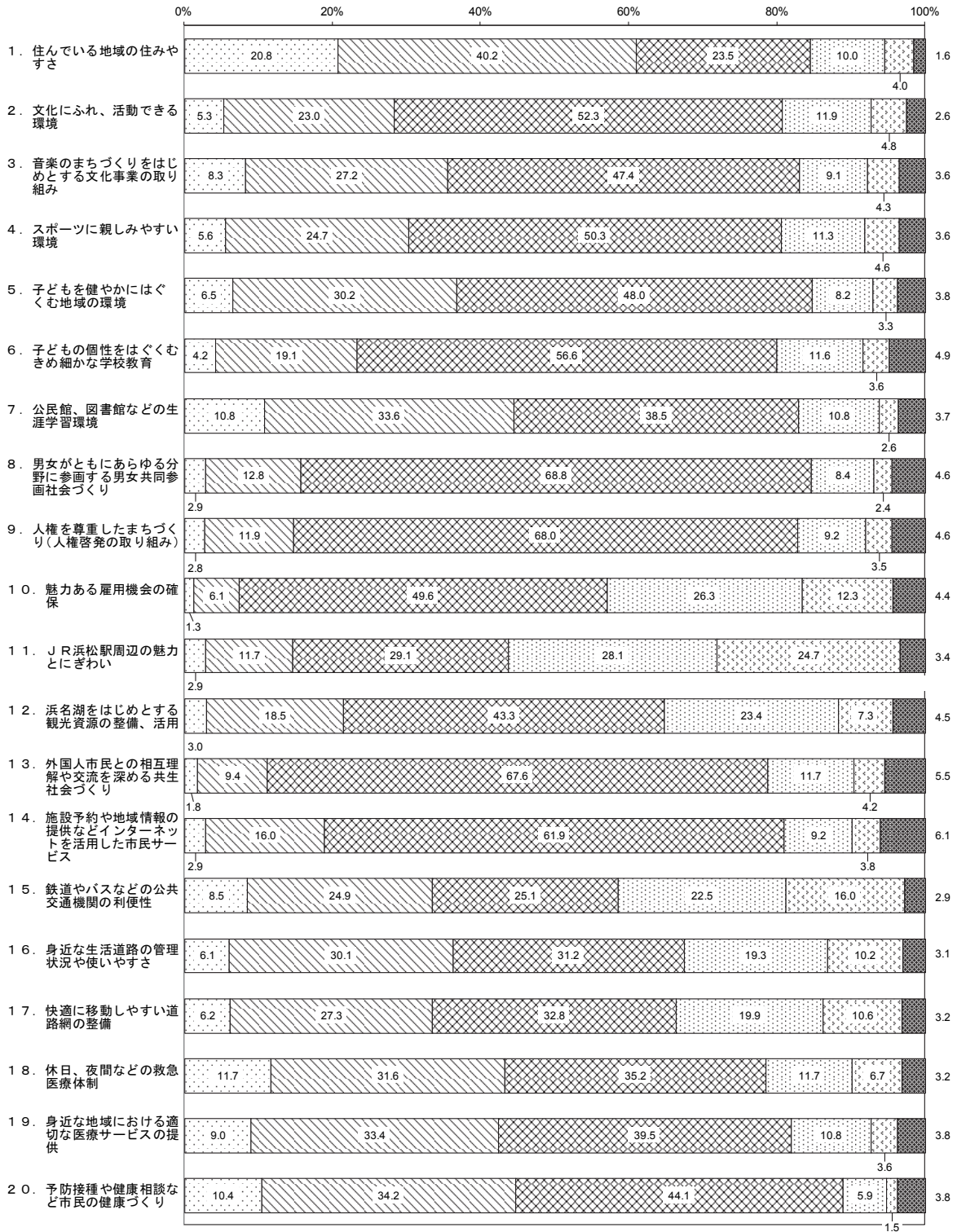
- 顔見知りの子どもでなくても、自分から行っている
- ▨ 顔見知りの子どもには、自分から行っている
- ▩ 顔見知りの子どもでなくても、あいさつされたら応えている
- ◻ 顔見知りの子どもには、あいさつされたら応えている
- ▭ あいさつや声掛けは行っていない
- 無回答

11 市政の満足度評価について

(1) 市政の満足度

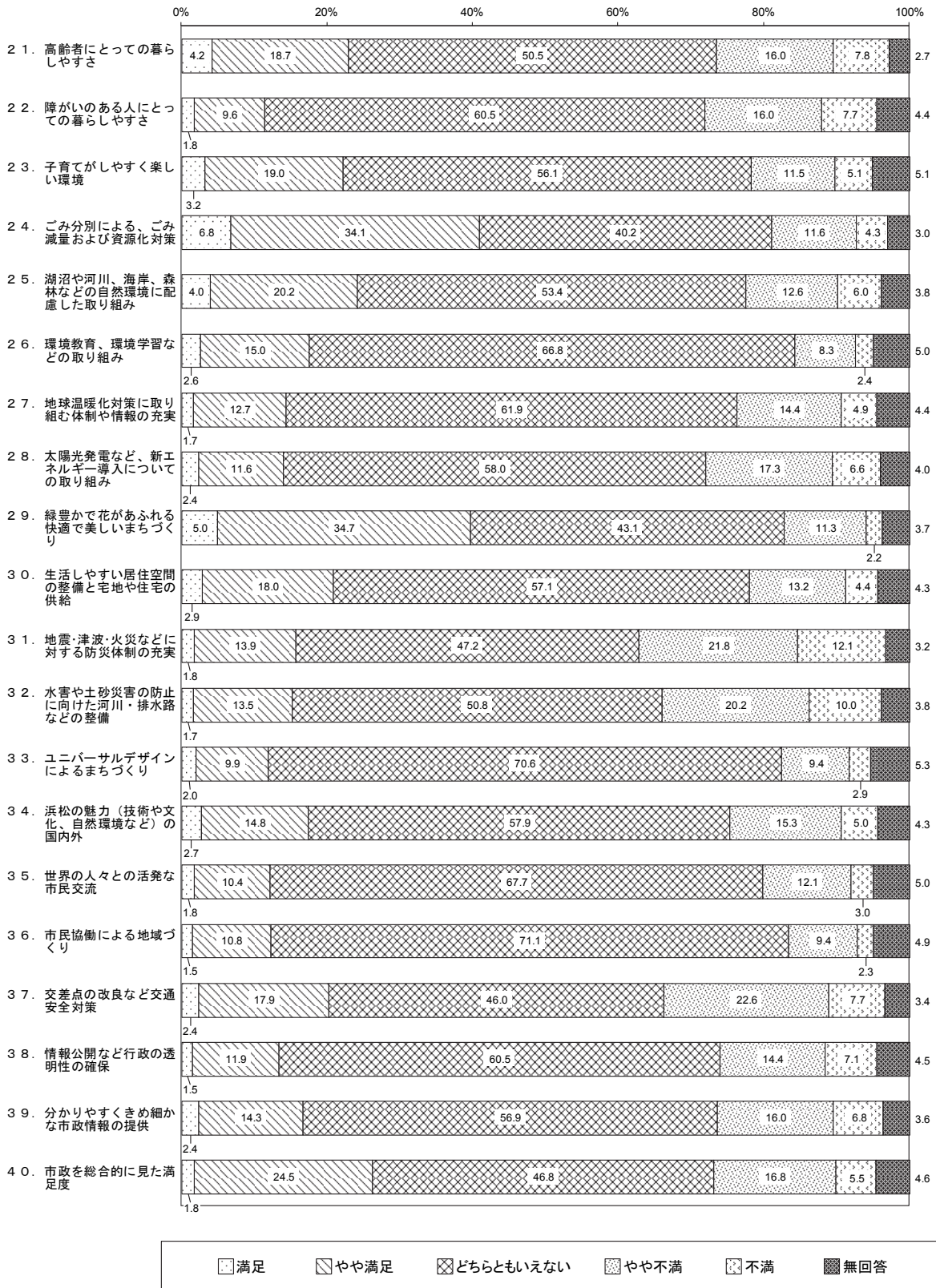
問27 あなたは、浜松市がこれまで進めてきた取り組みについて日ごろのように感じていますか。以下の各項目についてその評価を1～5のうちからそれぞれ1つだけ選び○を付けてください。

N = 1,484



満足
 やや満足
 どちらともいえない
 やや不満
 不満
 無回答

N = 1,484



「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』が3割以上だったものは、以下の13項目である。*（ ）は前年調査。

1	住んでいる地域の住みやすさ	61.0%	(60.5%)
20	予防接種や健康相談など市民の健康づくり	44.6%	(44.7%)
7	公民館、図書館などの生涯学習環境	44.4%	(44.9%)
18	休日、夜間などの救急医療体制	43.3%	(41.2%)
19	身近な地域における適切な医療サービスの提供	42.4%	(41.9%)
24	ごみ分別による、ごみ減量および資源化対策	40.9%	(40.2%)
29	緑豊かで花があふれる快適で美しいまちづくり	39.7%	(39.7%)
5	子どもを健やかにはぐくむ地域の環境	36.7%	(33.6%)
16	身近な生活道路の管理状況や使いやすさ	36.2%	(31.6%)
3	音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の取り組み	35.5%	(33.4%)
17	快適に移動しやすい道路網の整備	33.5%	(31.0%)
15	鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性	33.4%	(31.8%)
4	スポーツに親しみやすい環境	30.3%	(31.6%)

『満足度』の上位1位から6位までは、40%を超えている。前年度調査と比較して、40項目中26項目については『満足度』の数値が増加している。「身近な生活道路の管理状況や使いやすさ」については、前年度調査の31.6%から36.2%と4.6ポイント増加し、『満足度』が最も増えた項目である。

また一方で、40項目中12項目において『満足度』の数値が減少している。「人権を尊重したまちづくり（人権啓発の取り組み）」については前年度調査の17.3%から14.7%と2.6ポイント減少し、満足度が最も減少した項目である。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満である』が3割以上だったのは、以下の8項目である。*（ ）は前年調査

11	JR浜松駅周辺の魅力とにぎわい	52.8%	(54.7%)
10	魅力ある雇用機会の確保	38.6%	(40.2%)
15	鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性	38.5%	(40.0%)
31	地震・津波・火災などに対する防災体制の充実	33.9%	(37.0%)
12	浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用	30.7%	(30.9%)
17	快適に移動しやすい道路網の整備	30.5%	(32.2%)
37	交差点の改良など交通安全対策	30.3%	(29.0%)
32	水害や土砂災害の防止に向けた河川・排水路などの整備	30.2%	(30.3%)

『不満足度』の上位4項目は、前年度調査同様の項目であり、「JR浜松駅周辺の魅力とにぎわい」は50%を超えている。前年度調査と比較して、40項目中8項目については『不満足度』の数値が増加しており、中でも「スポーツに親しみやすい環境」については、前年度調査の13.9%から15.9%と2.0ポイント増加し、『不満足度』が最も増えた項目である。

また、次表は「満足」を10点、「やや満足」を7.5点、「どちらともいえない」を5点、「やや不満」を2.5点、「不満」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は、10点に近いほど満足度が高くなる指数である。

性別でみると、男女とも「1 住んでいる地域の住みやすさ」の満足度が最も高く、次いで「20 予防接種や健康相談など市民の健康づくり」の順となった。一方、満足度が最も低いのは男女とも「11 JR 浜松駅周辺の魅力とにぎわい」となり、次いで「10 魅力ある雇用機会の確保」の満足度が低かった。40項目中39項目で女性の方が満足度が高かった（残り1項目は同点）。

年代別でみると、いずれの年代でも「1 住んでいる地域の住みやすさ」、「20 予防接種や健康相談など市民の健康づくり」の満足度が高かった。70歳以上以外の年代では「11 JR 浜松駅周辺の魅力とにぎわい」の満足度が最も低く、70歳以上は「10 魅力ある雇用機会の確保」の満足度が最も低かった。「18 休日、夜間などの救急医療体制」、「24 ごみ分別による、ごみ減量および資源化対策」は年齢が高くなるに伴い満足度も高くなる傾向がみられた。

行政区別でみると、天竜区と他の区で満足度に差がみられる。「1 住んでいる地域の住みやすさ」、「20 予防接種や健康相談など市民の健康づくり」は、天竜区を除き6点以上と満足度が高いのに対し、天竜区は5点台と低かった。天竜区は「15 鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性」、「16 身近な生活道路の管理状況の使いやすさ」などの満足度も相対的に低く、40項目中28項目で天竜区の満足度が最も低かった（同点含む）。そのため、「40 市政を総合的に見た満足度」をみても、他の区が4.9～5.5の範囲に収まっているのに対し、天竜区は4.0と突出して低くなっている。

【性別】【年代別】

◎=6点以上 △=4点以下

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1 住んでいる地域の住みやすさ	◎ 6.6	◎ 6.4	◎ 6.8	◎ 6.7	◎ 6.6	◎ 6.5	◎ 6.4	◎ 6.8	◎ 6.7
2 文化にふれ、活動できる環境	5.3	5.2	5.4	5.5	5.4	5.5	5.1	5.2	5.3
3 音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の取り組み	5.7	5.4	5.9	5.6	5.9	5.9	5.5	5.6	5.6
4 スポーツに親しみやすい環境	5.4	5.2	5.6	5.2	5.4	5.6	5.3	5.3	5.5
5 子どもを健やかにはぐくむ地域の環境	5.7	5.5	5.9	5.7	5.8	5.8	5.6	5.7	5.7
6 子どもの個性をはぐくむ細かな学校教育	5.2	5.1	5.4	5.2	5.0	5.3	5.2	5.2	5.5
7 公民館、図書館などの生涯学習環境	◎ 6.0	5.8	◎ 6.2	◎ 6.2	5.9	◎ 6.2	◎ 6.0	◎ 6.0	◎ 6.0
8 男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会づくり	5.1	5.0	5.2	5.2	5.0	5.0	5.2	5.2	5.2
9 人権を尊重したまちづくり(人権啓発の取り組み)	5.0	4.8	5.2	5.3	5.1	5.0	5.2	4.8	5.0
10 魅力ある雇用機会の確保	△ 3.9	△ 3.7	4.1	△ 3.6	4.1	△ 4.0	△ 3.8	△ 3.9	△ 4.0
11 JR浜松駅周辺の魅力とにぎわい	△ 3.4	△ 3.3	△ 3.6	△ 3.0	△ 2.7	△ 2.9	△ 3.3	△ 3.7	4.5
12 浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用	4.6	4.4	4.9	4.6	4.5	4.3	4.5	4.8	5.1
13 外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくり	4.8	4.6	5.0	4.6	4.9	4.7	4.8	4.9	4.9
14 施設予約や地域情報の提供などインターネットを活用した市民サービス	5.1	4.9	5.3	5.2	5.2	5.3	5.2	5.0	5.0
15 鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性	4.7	4.6	4.8	4.2	4.7	4.2	4.5	4.7	5.4
16 身近な生活道路の管理状況や使いやすさ	5.1	4.9	5.2	4.9	5.1	4.9	4.9	5.1	5.4
17 快適に移動しやすい道路網の整備	5.0	4.7	5.2	4.7	5.1	4.9	4.8	5.0	5.1
18 休日、夜間などの救急医療体制	5.8	5.7	5.8	5.3	5.7	5.5	5.8	◎ 6.0	◎ 6.1
19 身近な地域における適切な医療サービスの提供	5.9	5.8	5.9	5.5	5.9	5.7	5.8	5.9	◎ 6.2
20 予防接種や健康相談など市民の健康づくり	◎ 6.2	◎ 6.1	◎ 6.3	◎ 6.2	◎ 6.0	◎ 6.2	◎ 6.0	◎ 6.3	◎ 6.5
21 高齢者にとっての暮らしやすさ	4.9	4.8	5.0	4.9	4.8	4.9	4.5	4.8	5.4
22 障がいのある人にとっての暮らしやすさ	4.5	4.5	4.6	4.3	4.7	4.5	4.2	4.6	4.7
23 子育てがしやすく楽しい環境	5.1	5.0	5.2	4.8	5.2	5.0	5.0	5.1	5.4
24 ごみ分別による、ごみ減量および資源化対策	5.7	5.6	5.8	5.3	5.3	5.5	5.6	◎ 6.0	◎ 6.2
25 湖沼や河川、海岸、森林などの自然環境に配慮した取り組み	5.1	5.0	5.2	5.0	5.4	5.0	5.0	4.9	5.3
26 環境教育、環境学習などの取り組み	5.2	5.1	5.3	5.1	5.4	5.1	5.1	5.2	5.2
27 地球温暖化対策に取り組む体制や情報の充実	4.8	4.6	4.9	4.8	4.8	4.6	4.7	4.9	4.9
28 太陽光発電など、新エネルギー導入についての取り組み	4.6	4.4	4.9	4.6	4.7	4.5	4.5	4.7	4.7
29 緑豊かで花があふれる快適で美しいまちづくり	5.8	5.5	5.9	5.9	◎ 6.0	5.8	5.4	5.7	5.8
30 生活しやすい居住空間の整備と宅地や住宅の供給	5.0	4.9	5.2	5.0	5.2	4.9	4.8	5.0	5.2
31 地震・津波・火災などに対する防災体制の充実	4.3	4.2	4.3	4.1	4.1	△ 4.0	4.3	4.4	4.4
32 水害や土砂災害の防止に向けた河川・排水路などの整備	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4
33 ユニバーサルデザインによるまちづくり	5.0	4.8	5.1	5.2	5.1	4.9	4.9	4.9	4.9
34 浜松の魅力(技術や文化、自然環境など)の国内外への発信	4.9	4.7	5.1	4.6	4.6	4.7	4.8	4.9	5.3
35 世界の人々との活発な市民交流	4.9	4.8	5.0	4.7	4.8	4.9	4.9	5.0	4.9
36 市民協働による地域づくり	5.0	4.9	5.1	5.1	5.0	4.9	5.0	5.0	5.0
37 交差点の改良など交通安全対策	4.6	4.3	4.8	4.5	4.5	4.6	4.3	4.6	4.9
38 情報公開など行政の透明性の確保	4.6	4.5	4.7	4.5	4.6	4.6	4.7	4.6	4.8
39 分かりやすくきめ細かな市政情報の提供	4.7	4.6	4.9	4.4	4.4	4.6	4.7	4.8	5.1
40 市政を総合的に見た満足度	5.0	4.8	5.2	4.8	5.0	5.0	4.8	5.0	5.2

【行政区別】

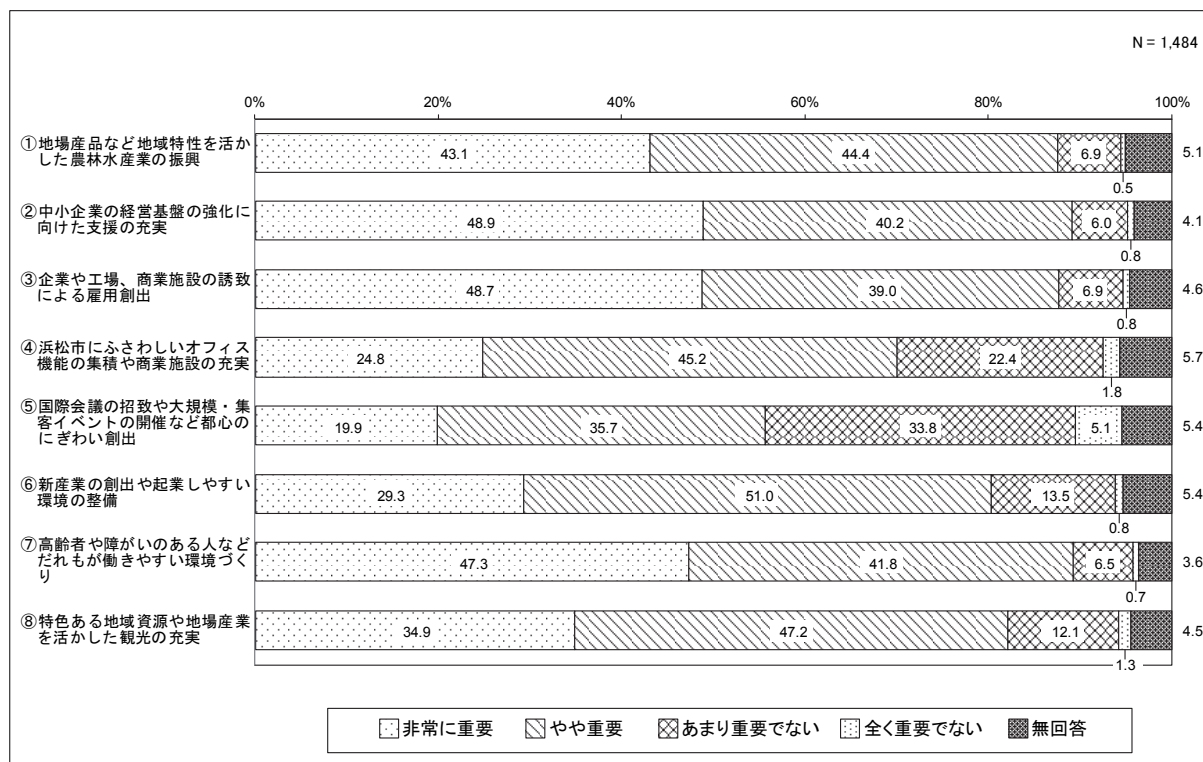
◎=6点以上 △=4点以下

	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
1 住んでいる地域の住みやすさ	◎ 7.3	◎ 6.7	◎ 6.7	◎ 6.3	◎ 6.6	◎ 6.6	5.5
2 文化にふれ、活動できる環境	5.6	5.7	5.4	5.3	5.2	5.1	4.5
3 音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の取り組み	◎ 6.1	◎ 6.1	5.8	5.8	5.6	5.0	4.8
4 スポーツに親しみやすい環境	5.5	5.6	5.3	5.4	5.6	5.4	4.9
5 子どもを健やかにはぐむ地域の環境	5.7	5.6	5.8	5.8	◎ 6.1	5.7	5.4
6 子どもの個性をはぐむきめ細かな学校教育	5.1	5.2	5.2	5.2	5.5	5.3	5.0
7 公民館、図書館などの生涯学習環境	◎ 6.2	◎ 6.2	◎ 6.1	◎ 6.1	◎ 6.0	5.9	5.5
8 男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会づくり	5.1	5.2	5.3	5.2	5.2	4.9	5.0
9 人権を尊重したまちづくり(人権啓発の取り組み)	5.1	5.2	5.0	5.1	5.2	4.9	4.7
10 魅力ある雇用機会の確保	△ 3.9	△ 4.0	△ 3.9	△ 4.0	△ 4.0	△ 3.8	△ 3.3
11 JR浜松駅周辺の魅力とにぎわい	△ 3.0	△ 3.3	△ 3.2	△ 3.4	△ 3.5	△ 3.6	4.4
12 浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用	4.6	4.7	4.5	4.6	4.6	4.6	4.9
13 外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくり	4.8	5.0	5.0	4.7	4.9	4.6	4.7
14 施設予約や地域情報の提供などインターネットを活用した市民サービス	5.2	5.2	5.2	5.4	5.1	5.0	4.8
15 鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性	5.4	5.0	4.7	5.1	4.1	4.5	△ 3.4
16 身近な生活道路の管理状況や使いやすさ	5.4	5.5	5.3	5.1	5.2	5.1	△ 3.4
17 快適に移動しやすい道路網の整備	5.1	5.4	5.5	5.0	4.9	4.8	△ 3.5
18 休日、夜間などの救急医療体制	◎ 6.3	◎ 6.0	◎ 6.0	5.9	◎ 6.0	5.3	4.4
19 身近な地域における適切な医療サービスの提供	◎ 6.4	◎ 6.2	◎ 6.0	5.8	◎ 6.0	5.7	4.6
20 予防接種や健康相談など市民の健康づくり	◎ 6.4	◎ 6.4	◎ 6.3	◎ 6.1	◎ 6.3	◎ 6.0	5.8
21 高齢者にとっての暮らしやすさ	5.0	5.4	5.1	5.0	4.8	4.7	△ 4.0
22 障がいのある人にとっての暮らしやすさ	4.6	4.8	4.7	4.5	4.7	4.3	△ 3.8
23 子育てがしやすい楽しい環境	5.1	5.4	5.2	5.0	5.3	4.9	4.6
24 ごみ分別による、ごみ減量および資源化対策	5.7	◎ 6.0	5.7	5.7	5.8	5.4	5.5
25 湖沼や河川、海岸、森林などの自然環境に配慮した取り組み	5.3	5.5	5.2	4.9	5.2	4.9	4.6
26 環境教育、環境学習などの取り組み	5.2	5.4	5.3	5.2	5.3	4.9	5.0
27 地球温暖化対策に取り組む体制や情報の充実	4.9	4.9	4.7	4.8	4.7	4.8	4.7
28 太陽光発電など、新エネルギー導入についての取り組み	4.7	4.7	4.5	4.8	4.6	4.6	4.6
29 緑豊かで花があふれる快適で美しいまちづくり	5.8	5.5	5.9	5.7	◎ 6.1	5.8	5.5
30 生活しやすい居住空間の整備と宅地や住宅の供給	5.1	5.1	5.2	5.0	5.2	5.0	4.4
31 地震・津波・火災などに対する防災体制の充実	4.3	4.4	△ 4.0	△ 3.8	4.5	4.6	4.2
32 水害や土砂災害の防止に向けた河川・排水路などの整備	4.6	4.5	4.5	4.2	4.6	4.7	△ 3.4
33 ユニバーサルデザインによるまちづくり	5.0	4.9	5.1	5.0	5.0	4.7	4.8
34 浜松の魅力(技術や文化、自然環境など)の国内外への発信	4.8	5.0	5.0	5.0	4.7	4.6	5.0
35 世界の人々との活発な市民交流	4.9	4.9	5.0	4.9	5.0	4.7	4.9
36 市民協働による地域づくり	5.0	5.1	5.0	5.0	5.2	4.8	4.8
37 交差点の改良など交通安全対策	4.6	4.5	4.7	4.6	4.8	4.3	4.5
38 情報公開など行政の透明性の確保	4.7	4.9	4.6	4.6	4.7	4.6	4.2
39 分かりやすくきめ細かな市政情報の提供	4.8	5.1	4.6	4.8	4.8	4.6	4.4
40 市政を総合的に見た満足度	5.3	5.5	5.1	4.9	4.9	5.0	△ 4.0

12 市政への要望について

問 28 あなたは、浜松市が積極的・重点的に取り組んでいくべき具体的な施策として、以下の各項目についてどの程度重要だと思いますか。各項目について重要度を1～4のうちからそれぞれ1つだけ選んで○を付けてください。

(1) 産業・経済分野に対する取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の6項目となっている。

② 中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実	89.1%
⑦ 高齢者や障がいのある人などだれもが働きやすい環境づくり	89.1%
③ 企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出	87.7%
① 地場産品など地域特性を活かした農林水産業の振興	87.5%
⑧ 特色ある地域資源や地場産業を活かした観光の充実	82.1%
⑥ 新産業の創出や起業しやすい環境の整備	80.3%

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
① 地場産品など地域特性を活かした農林水産業の振興	7.9	7.9	7.8	7.3	7.5	7.7	◎ 8.0	◎ 8.1	◎ 8.0
② 中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実	◎ 8.1	◎ 8.2	◎ 8.0	7.8	7.9	◎ 8.0	◎ 8.2	◎ 8.3	◎ 8.0
③ 企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出	◎ 8.0	◎ 8.2	7.9	7.7	7.9	◎ 8.0	◎ 8.2	◎ 8.1	◎ 8.0
④ 浜松市にふさわしいオフィス機能の集積や商業施設の充実	6.6	6.4	6.8	5.9	6.5	6.2	6.5	6.8	7.0
⑤ 国際会議の招致や大規模・集客イベントの開催など都心のにぎわい創出	5.8	5.6	5.9	5.7	5.6	5.3	5.6	6.1	6.1
⑥ 新産業の創出や起業しやすい環境の整備	7.1	7.3	7.0	6.4	6.5	6.8	7.1	7.6	7.7
⑦ 高齢者や障がいのある人などだれもが働きやすい環境づくり	◎ 8.0	7.8	◎ 8.2	7.9	◎ 8.1	7.8	◎ 8.1	◎ 8.1	◎ 8.0
⑧ 特色ある地域資源や地場産業を活かした観光の充実	7.3	7.1	7.5	7.3	7.2	6.9	7.5	7.5	7.5

【行政区別】

◎=8点以上

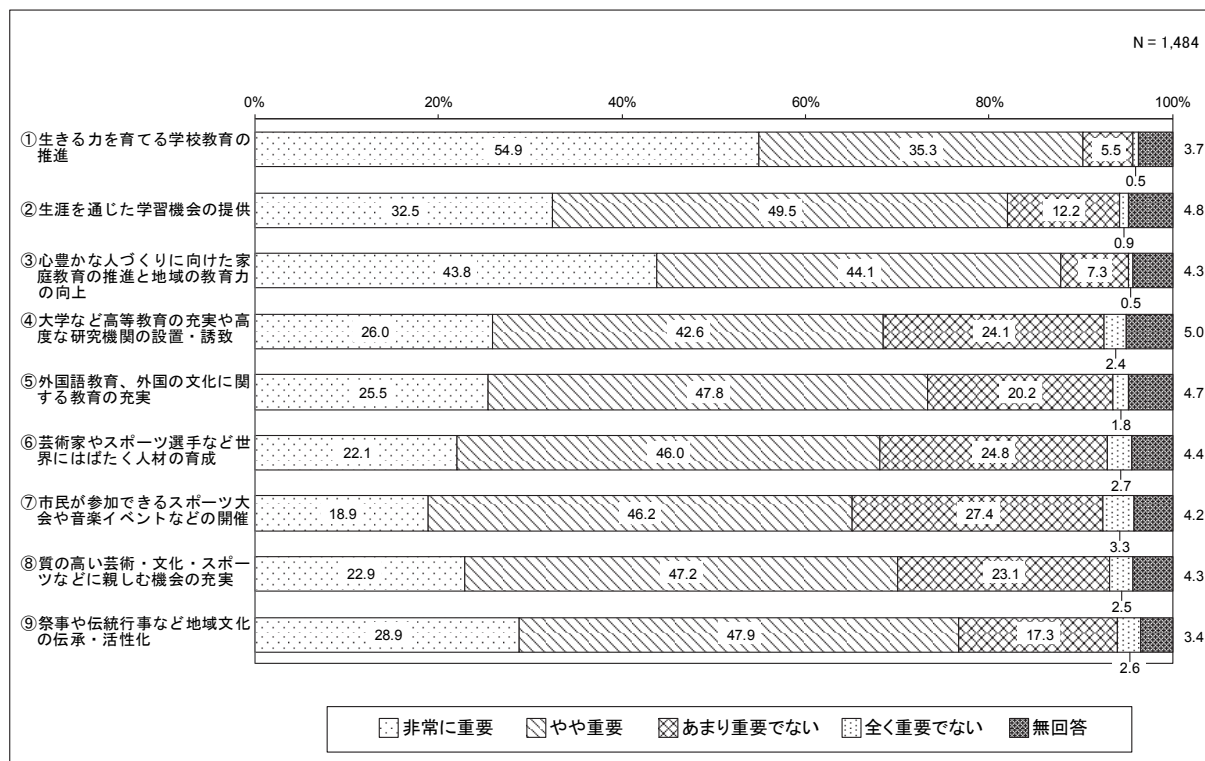
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
① 地場産品など地域特性を活かした農林水産業の振興	◎ 8.2	7.5	7.9	7.6	7.9	7.9	◎ 8.0
② 中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実	◎ 8.5	◎ 8.0	◎ 8.1	7.8	◎ 8.0	◎ 8.1	7.8
③ 企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出	◎ 8.3	◎ 8.0	7.9	7.9	◎ 8.1	◎ 8.1	7.9
④ 浜松市にふさわしいオフィス機能の集積や商業施設の充実	6.9	6.5	6.7	6.5	6.8	6.6	5.7
⑤ 国際会議の招致や大規模・集客イベントの開催など都心のにぎわい創出	6.3	5.7	5.9	6.0	5.7	5.6	5.0
⑥ 新産業の創出や起業しやすい環境の整備	7.4	7.0	7.2	6.9	7.1	7.1	7.0
⑦ 高齢者や障がいのある人などだれもが働きやすい環境づくり	◎ 8.2	7.9	7.8	◎ 8.0	7.9	◎ 8.2	◎ 8.0
⑧ 特色ある地域資源や地場産業を活かした観光の充実	7.6	7.2	7.4	7.2	7.4	7.3	7.2

性別でみると、男女とも8点以上の高い重要度であったのは「②中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実」となっている。「③企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出」は男性が8点台となっているのに対し女性は7点台、「⑦高齢者や障がいのある人などだれもが働きやすい環境づくり」は女性が8点台となっているのに対し男性は7点台と男女の意識に違いがみられる。

年代別にみると、すべての年代で8点以上となった項目はなかった。「②中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実」、「③企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出」は40歳代以上でいずれも8点以上となっている。全体の重要度が低かった下位項目のうち、「④浜松市にふさわしいオフィス機能の集積や商業施設の充実」、「⑥新産業の創出や起業しやすい環境の整備」をみると、概ね年齢が若いほど重要度が低くなる傾向がみられる。

行政区別でみると、天竜区は「④浜松市にふさわしいオフィス機能の集積や商業施設の充実」、「⑤国際会議の招致や大規模・集客イベントの開催など都心のにぎわい創出」の重要度が他の地区と比較して低くなっている。

(2) 教育、文化、スポーツに対する取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の3項目となっている。

- ① 生きる力を育てる学校教育の推進 90.2%
- ③ 心豊かな人づくりに向けた家庭教育の推進と地域の教育力の向上 87.9%
- ② 生涯を通じた学習機会の提供 82.0%

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
① 生きる力を育てる学校教育の推進	◎ 8.3	◎ 8.1	◎ 8.5	◎ 8.1	◎ 8.4	◎ 8.0	◎ 8.3	◎ 8.5	◎ 8.3
② 生涯を通じた学習機会の提供	7.3	7.0	7.6	7.4	7.5	7.0	7.1	7.3	7.3
③ 心豊かな人づくりに向けた家庭教育の推進と地域の教育力の向上	7.9	7.6	◎ 8.1	7.7	◎ 8.0	7.6	7.7	◎ 8.0	◎ 8.0
④ 大学など高等教育の充実や高度な研究機関の設置・誘致	6.5	6.4	6.7	6.3	6.0	6.3	6.4	6.7	7.1
⑤ 外国語教育、外国の文化に関する教育の充実	6.7	6.4	7.0	6.9	7.0	6.6	6.4	6.7	6.6
⑥ 芸術家やスポーツ選手など世界にはばたく人材の育成	6.3	6.1	6.5	6.5	6.6	5.8	6.3	6.3	6.6
⑦ 市民が参加できるスポーツ大会や音楽イベントなどの開催	6.1	5.8	6.3	6.3	6.0	5.8	6.1	6.2	6.3
⑧ 質の高い芸術・文化・スポーツなどに親しむ機会の充実	6.4	6.2	6.7	6.6	6.6	6.2	6.5	6.4	6.4
⑨ 祭事や伝統行事など地域文化の伝承・活性化	6.9	6.6	7.1	6.9	7.0	6.5	6.7	6.9	7.0

【行政区別】

◎=8点以上

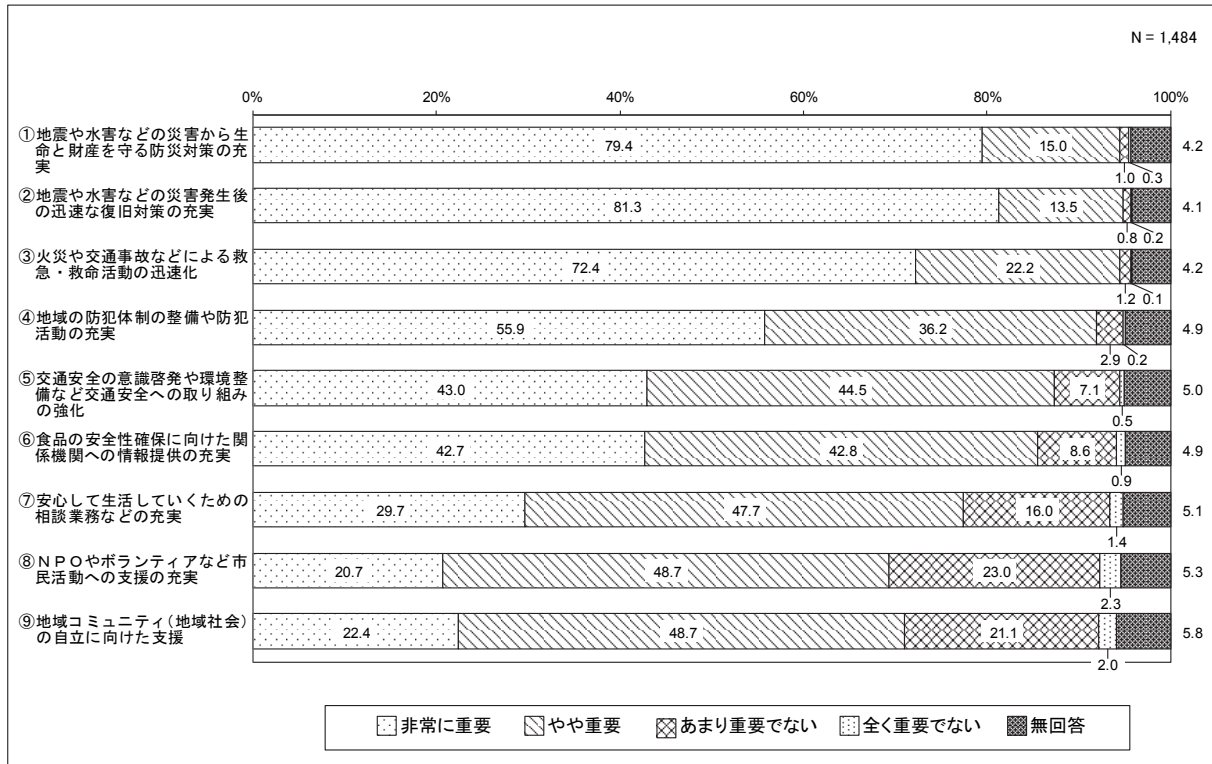
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
① 生きる力を育てる学校教育の推進	◎ 8.3	◎ 8.3	◎ 8.2	◎ 8.2	◎ 8.3	◎ 8.6	◎ 8.3
② 生涯を通じた学習機会の提供	7.5	7.2	6.9	7.3	7.4	7.6	7.1
③ 心豊かな人づくりに向けた家庭教育の推進と地域の教育力の向上	◎ 8.0	7.9	7.7	7.8	7.9	◎ 8.2	7.7
④ 大学など高等教育の充実や高度な研究機関の設置・誘致	6.6	6.7	6.3	6.7	6.6	6.3	6.4
⑤ 外国語教育、外国の文化に関する教育の充実	7.0	6.9	6.6	6.5	6.7	6.4	6.3
⑥ 芸術家やスポーツ選手など世界にはばたく人材の育成	6.4	6.3	6.4	6.4	6.3	6.4	6.1
⑦ 市民が参加できるスポーツ大会や音楽イベントなどの開催	6.5	6.3	5.8	6.3	5.8	6.2	5.7
⑧ 質の高い芸術・文化・スポーツなどに親しむ機会の充実	6.6	6.4	6.5	6.3	6.6	6.5	6.1
⑨ 祭事や伝統行事など地域文化の伝承・活性化	7.2	6.6	6.8	6.7	6.7	6.8	7.1

性別でみると、男女とも8点以上の高い重要度であったのは、「①生きる力を育てる学校教育の推進」となっている。また、いずれの項目の重要度も女性が男性を上回っており、「②生涯を通じた学習機会の提供」、「③心豊かな人づくりに向けた家庭教育の推進と地域の教育力の向上」、「⑤外国語教育、外国の文化に関する教育の充実」、「⑦市民が参加できるスポーツ大会や音楽イベントなどの開催」「⑧質の高い芸術・文化・スポーツなどに親しむ機会の充実」「⑨祭事や伝統行事など地域文化の伝承・活性化」は0.5点以上の差があった。

年代別でみると、いずれの年代でも8点以上の高い重要度であったのは「①生きる力を育てる学校教育の推進」となっている。9項目中7項目で40歳代の数値が最も低くなっている。

行政区別でみると、いずれの区でも高い重要度となったのは「①生きる力を育てる学校教育の推進」となり、次いで「③心豊かな人づくりに向けた家庭教育の推進と地域の教育力の向上」の順となった。

(3) 市民が安全・安心に暮らすための取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の6項目となっている。

②地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実	94.8%
③火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化	94.6%
①地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実	94.4%
④地域の防犯体制の整備や防犯活動の充実	92.1%
⑤交通安全の意識啓発や環境整備など交通安全への取り組みの強化	87.5%
⑥食品の安全性確保に向けた関係機関への情報提供の充実	85.5%

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
① 地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実	◎ 9.4	◎ 9.2	◎ 9.5	◎ 9.5	◎ 9.3	◎ 9.3	◎ 9.4	◎ 9.4	◎ 9.4
② 地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実	◎ 9.4	◎ 9.3	◎ 9.6	◎ 9.5	◎ 9.5	◎ 9.4	◎ 9.5	◎ 9.5	◎ 9.4
③ 火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化	◎ 9.1	◎ 8.8	◎ 9.4	◎ 9.1	◎ 9.1	◎ 8.9	◎ 9.2	◎ 9.1	◎ 9.2
④ 地域の防犯体制の整備や防犯活動の充実	◎ 8.5	◎ 8.2	◎ 8.7	◎ 8.3	◎ 8.8	◎ 8.3	◎ 8.4	◎ 8.4	◎ 8.7
⑤ 交通安全の意識啓発や環境整備など交通安全への取り組みの強化	7.9	7.6	◎ 8.1	7.6	◎ 8.0	7.6	7.8	7.9	◎ 8.1
⑥ 食品の安全性確保に向けた関係機関への情報提供の充実	7.8	7.3	◎ 8.2	7.2	7.7	7.3	7.5	◎ 8.0	◎ 8.3
⑦ 安心して生活していくための相談業務などの充実	7.0	6.5	7.4	6.5	6.9	6.7	6.9	7.0	7.6
⑧ NPOやボランティアなど市民活動への支援の充実	6.4	5.9	6.8	5.9	6.1	5.9	6.5	6.5	6.9
⑨ 地域コミュニティ(地域社会)の自立に向けた支援	6.5	6.2	6.9	5.9	6.2	6.2	6.5	6.7	7.1

【行政区別】

◎=8点以上

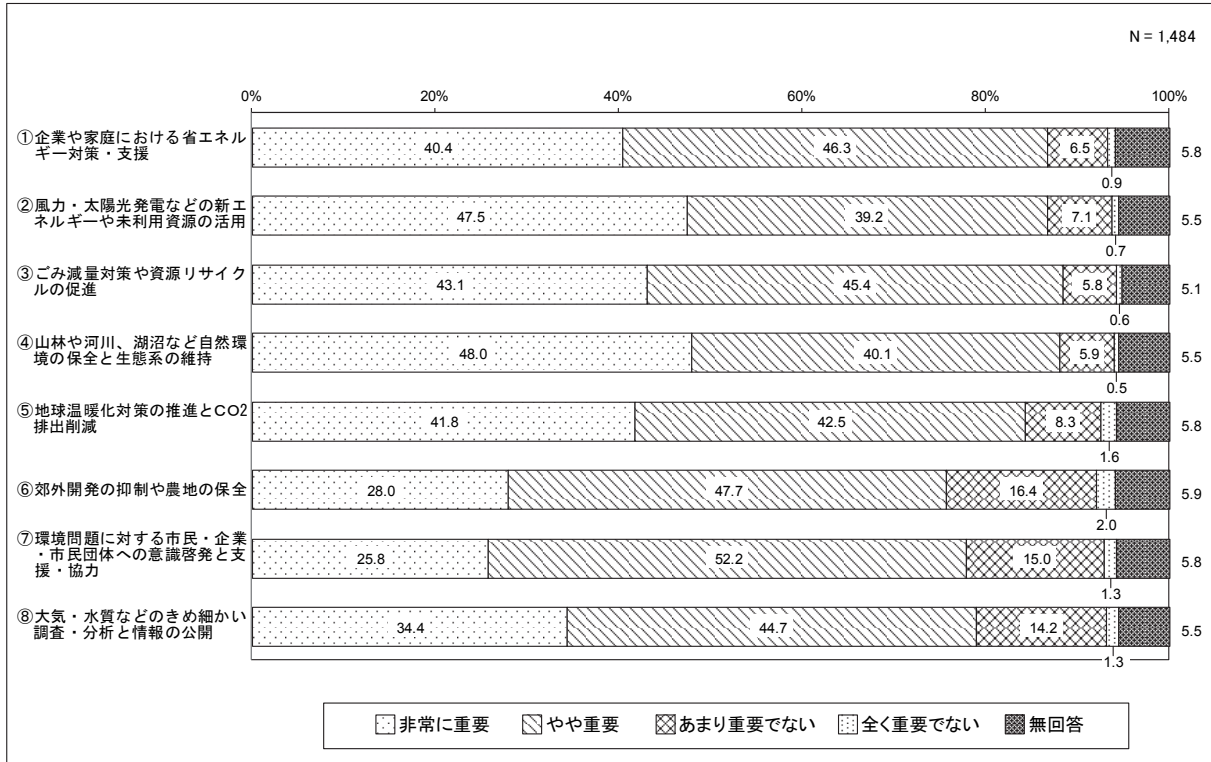
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
① 地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実	◎ 9.3	◎ 9.3	◎ 9.5	◎ 9.4	◎ 9.3	◎ 9.3	◎ 9.5
② 地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実	◎ 9.4	◎ 9.4	◎ 9.4	◎ 9.6	◎ 9.5	◎ 9.3	◎ 9.6
③ 火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化	◎ 9.1	◎ 9.1	◎ 9.1	◎ 8.9	◎ 9.0	◎ 9.2	◎ 9.5
④ 地域の防犯体制の整備や防犯活動の充実	◎ 8.5	◎ 8.5	◎ 8.6	◎ 8.4	◎ 8.3	◎ 8.9	◎ 8.2
⑤ 交通安全の意識啓発や環境整備など交通安全への取り組みの強化	7.8	7.9	7.9	7.9	7.9	◎ 8.2	7.5
⑥ 食品の安全性確保に向けた関係機関への情報提供の充実	7.8	7.6	7.9	7.7	7.7	7.9	7.6
⑦ 安心して生活していくための相談業務などの充実	7.0	7.0	6.7	7.1	7.1	7.2	6.9
⑧ NPOやボランティアなど市民活動への支援の充実	6.4	6.3	5.9	6.5	6.5	6.6	6.5
⑨ 地域コミュニティ(地域社会)の自立に向けた支援	6.5	6.5	6.1	6.5	6.7	6.8	6.7

性別でみると、男女とも9点以上の非常に高い重要度であったのは、「①地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実」、「②地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実」となり、自然災害に関する項目の重要度が高かった。いずれの項目の重要度も女性が男性を上回っており、特に女性の意識の高さがうかがえる。

年代別にみると、いずれの年代でも8点以上の高い重要度であったのは、「①地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実」、「②地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実」、「③火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化」、「④地域の防犯体制の整備や防犯活動の充実」となっている。全体で高い重要度となった項目は年代別の目立った傾向はみられないが、低い重要度となった項目は、年齢が若いほど重要度が低くなる傾向がみられる。

行政区別でみると、いずれの区でも8点以上の高い重要度であったのは、「①地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実」、「②地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実」、「③火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化」、「④地域の防犯体制の整備や防犯活動の充実」となっている。

(4) 環境に対する取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の5項目となっている。

③ ごみ減量対策や資源リサイクルの促進	88.5%
④ 山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持	88.1%
① 企業や家庭における省エネルギー対策・支援	86.7%
② 風力・太陽光発電などの新エネルギーや未利用資源の活用	86.7%
⑤ 地球温暖化対策の推進とCO ₂ 排出削減	84.3%

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
① 企業や家庭における省エネルギー対策・支援	7.8	7.6	7.9	7.6	7.8	7.8	7.8	7.7	7.9
② 風力・太陽光発電などの新エネルギーや未利用資源の活用	◎ 8.0	7.8	◎ 8.2	7.8	◎ 8.1	7.9	◎ 8.3	◎ 8.0	◎ 8.0
③ ごみ減量対策や資源リサイクルの促進	7.9	7.7	◎ 8.1	7.8	7.6	7.6	◎ 8.0	7.9	◎ 8.3
④ 山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持	◎ 8.1	◎ 8.0	◎ 8.2	7.8	◎ 8.0	7.9	◎ 8.2	◎ 8.2	◎ 8.1
⑤ 地球温暖化対策の推進とCO2排出削減	7.7	7.2	◎ 8.2	7.6	7.5	7.5	7.7	7.8	◎ 8.0
⑥ 郊外開発の抑制や農地の保全	6.9	6.6	7.2	6.4	6.9	6.6	7.1	7.0	7.1
⑦ 環境問題に対する市民・企業・市民団体への意識啓発と支援・協力	6.9	6.6	7.2	6.6	6.7	6.5	7.0	7.1	7.2
⑧ 大気・水質などのきめ細かい調査・分析と情報の公開	7.2	7.0	7.5	6.7	7.0	6.9	7.4	7.4	7.6

【行政区別】

◎=8点以上

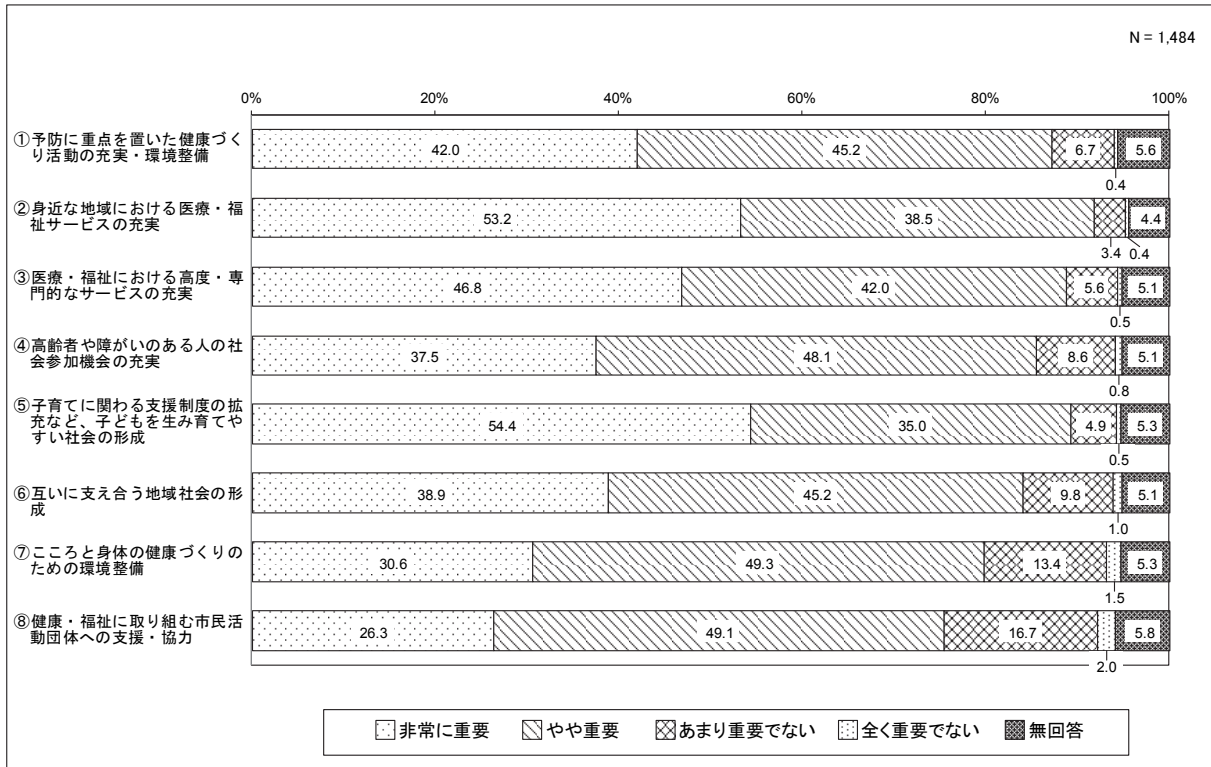
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
① 企業や家庭における省エネルギー対策・支援	7.8	7.8	7.7	7.8	7.9	7.8	7.5
② 風力・太陽光発電などの新エネルギーや未利用資源の活用	7.9	◎ 8.1	◎ 8.1	◎ 8.1	◎ 8.2	◎ 8.0	7.7
③ ごみ減量対策や資源リサイクルの促進	7.9	◎ 8.0	7.9	7.9	◎ 8.0	◎ 8.0	7.7
④ 山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持	◎ 8.1	◎ 8.1	◎ 8.1	7.8	◎ 8.1	◎ 8.2	◎ 8.1
⑤ 地球温暖化対策の推進とCO2排出削減	7.7	7.7	7.7	7.7	7.9	7.8	7.4
⑥ 郊外開発の抑制や農地の保全	7.0	7.1	6.7	6.8	6.8	7.2	6.8
⑦ 環境問題に対する市民・企業・市民団体への意識啓発と支援・協力	7.0	7.0	6.9	6.9	7.0	6.9	6.6
⑧ 大気・水質などのきめ細かい調査・分析と情報の公開	7.3	7.3	7.2	7.3	7.3	7.3	7.0

性別でみると、男女とも8点以上の高い重要度であったのは、「④山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持」の1項目となった。いずれの項目の重要度も女性が男性を上回っており、女性の意識の高さがうかがえる。特に、「⑤地球温暖化対策の推進とCO2排出削減」、「⑥郊外開発の抑制や農地の保全」、「⑦環境問題に対する市民・企業・市民団体への意識啓発と支援・協力」は男女差が大きかった。

年代別にみると、すべての年代で8点以上となった項目はなかった。8項目中5項目で20歳代の数値が最も低く、6項目で70歳以上の数値が最も高くなっている（同点含む）。

行政区別でみると、すべての行政区で8点以上となった項目はなかった。「④山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持」は7区中6区で、「②風力・太陽光発電などの新エネルギーや未利用資源の活用」は7区中5区で8点以上となった。

(5) 健康、福祉に対する取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の6項目となっている。

- ② 身近な地域における医療・福祉サービスの充実 91.7%
- ⑤ 子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを生み育てやすい社会の形成 89.4%
- ③ 医療・福祉における高度・専門的なサービスの充実 88.8%
- ① 予防に重点を置いた健康づくり活動の充実・環境整備 87.2%
- ④ 高齢者や障がいのある人の社会参加機会の充実 85.6%
- ⑥ 互いに支え合う地域社会の形成 84.1%

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎＝8点以上

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
① 予防に重点を置いた健康づくり活動の充実・環境整備	7.9	7.6	◎ 8.1	7.9	◎ 8.0	7.5	7.6	7.7	◎ 8.3
② 身近な地域における医療・福祉サービスの充実	◎ 8.3	◎ 8.0	◎ 8.6	◎ 8.1	◎ 8.3	◎ 8.2	◎ 8.5	◎ 8.2	◎ 8.6
③ 医療・福祉における高度・専門的なサービスの充実	◎ 8.0	7.7	◎ 8.3	7.7	◎ 8.2	7.7	◎ 8.1	7.9	◎ 8.4
④ 高齢者や障がいのある人の社会参加機会の充実	7.6	7.2	7.9	7.7	7.7	7.4	7.6	7.6	7.5
⑤ 子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを生み育てやすい社会の形成	◎ 8.3	◎ 8.2	◎ 8.5	◎ 8.6	◎ 8.8	◎ 8.0	7.9	◎ 8.4	◎ 8.5
⑥ 互いに支え合う地域社会の形成	7.6	7.3	7.8	7.1	7.4	7.1	7.5	7.7	◎ 8.2
⑦ こころと身体の健康づくりのための環境整備	7.1	6.8	7.4	6.8	7.1	6.7	7.0	7.2	7.7
⑧ 健康・福祉に取り組む市民活動団体への支援・協力	6.8	6.4	7.2	6.5	6.7	6.3	6.8	7.0	7.3

【行政区別】

◎＝8点以上

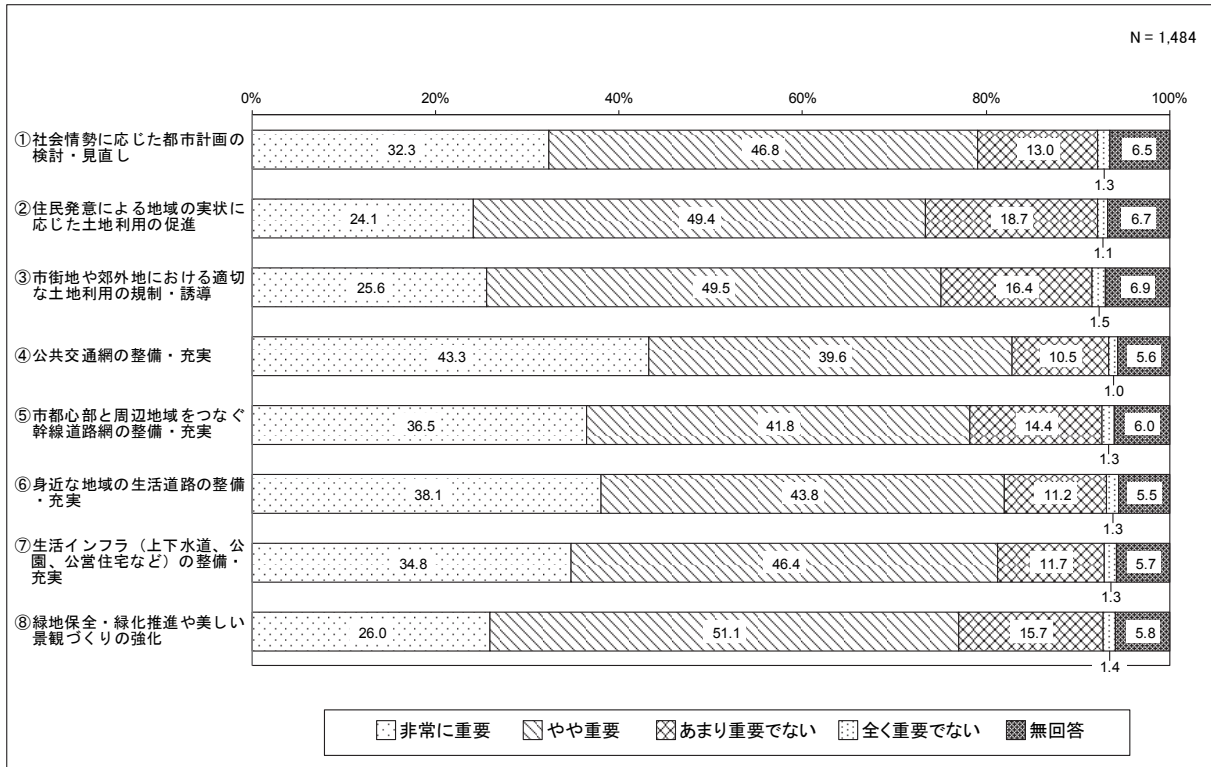
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
① 予防に重点を置いた健康づくり活動の充実・環境整備	◎ 8.0	7.8	7.8	7.8	7.8	7.9	7.8
② 身近な地域における医療・福祉サービスの充実	◎ 8.4	◎ 8.2	◎ 8.4	◎ 8.2	◎ 8.3	◎ 8.4	◎ 8.4
③ 医療・福祉における高度・専門的なサービスの充実	◎ 8.1	◎ 8.0	◎ 8.0	◎ 8.0	◎ 8.0	◎ 8.1	◎ 8.1
④ 高齢者や障がいのある人の社会参加機会の充実	7.8	7.6	7.3	7.5	7.8	7.7	7.3
⑤ 子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを生み育てやすい社会の形成	◎ 8.4	◎ 8.2	◎ 8.4	◎ 8.1	◎ 8.5	◎ 8.4	◎ 8.4
⑥ 互いに支え合う地域社会の形成	7.7	7.8	7.4	7.2	7.7	7.5	7.7
⑦ こころと身体の健康づくりのための環境整備	7.1	7.4	6.9	7.0	7.2	7.2	7.1
⑧ 健康・福祉に取り組む市民活動団体への支援・協力	7.0	6.9	6.5	6.8	6.8	6.9	6.7

性別で見ると、男女とも8点以上の高い重要度であったのは、「②身近な地域における医療・福祉サービスの充実」、「⑤子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを生み育てやすい社会の形成」となっている。いずれの項目の重要度も女性が男性を上回っている。

年代別にみると、いずれの年代でも8点以上の高い重要度であったのは、「②身近な地域における医療・福祉サービスの充実」の1項目となっている。「⑤子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを生み育てやすい社会の形成」は、50歳代以外は8点以上だった。8項目中6項目で70歳以上の数値が最も高くなっている。特に、「⑥互いに支え合う地域社会の形成」、「⑦こころと身体の健康づくりのための環境整備」は他の世代と比較して高かった。

行政区別で見ると、行政区による意識に大きな違いはみられない。いずれの行政区でも8点以上の高い重要度であったのは、「②身近な地域における医療・福祉サービスの充実」、「③医療・福祉における高度・専門的なサービスの充実」、「⑤子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを生み育てやすい社会の形成」となっている。

(6) 都市・生活基盤の整備に対する取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の3項目となっている。

- ④公共交通網の整備・充実 82.9%
- ⑥身近な地域の生活道路の整備・充実 81.9%
- ⑦生活インフラ（上下水道、公園、公営住宅など）の整備・充実 81.2%

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
① 社会情勢に応じた都市計画の検討・見直し	7.2	7.1	7.3	7.1	7.4	7.1	7.2	7.2	7.3
② 住民発意による地域の実状に応じた土地利用の促進	6.7	6.7	6.8	6.3	6.4	6.5	6.8	6.9	7.1
③ 市街地や郊外地における適切な土地利用の規制・誘導	6.8	6.8	6.9	6.6	6.9	6.5	6.9	7.0	7.0
④ 公共交通網の整備・充実	7.7	7.6	7.8	7.7	7.6	7.6	7.8	7.7	7.9
⑤ 市都心部と周辺地域をつなぐ幹線道路網の整備・充実	7.3	7.2	7.4	7.0	7.1	6.9	7.4	7.4	7.7
⑥ 身近な地域の生活道路の整備・充実	7.5	7.3	7.7	7.2	7.3	7.1	7.7	7.6	7.8
⑦ 生活インフラ(上下水道、公園、公営住宅など)の整備・充実	7.3	7.1	7.6	7.1	7.3	7.0	7.4	7.4	7.7
⑧ 緑地保全・緑化推進や美しい景観づくりの強化	6.9	6.7	7.0	6.7	6.6	6.7	6.9	7.0	7.2

【行政区別】

◎=8点以上

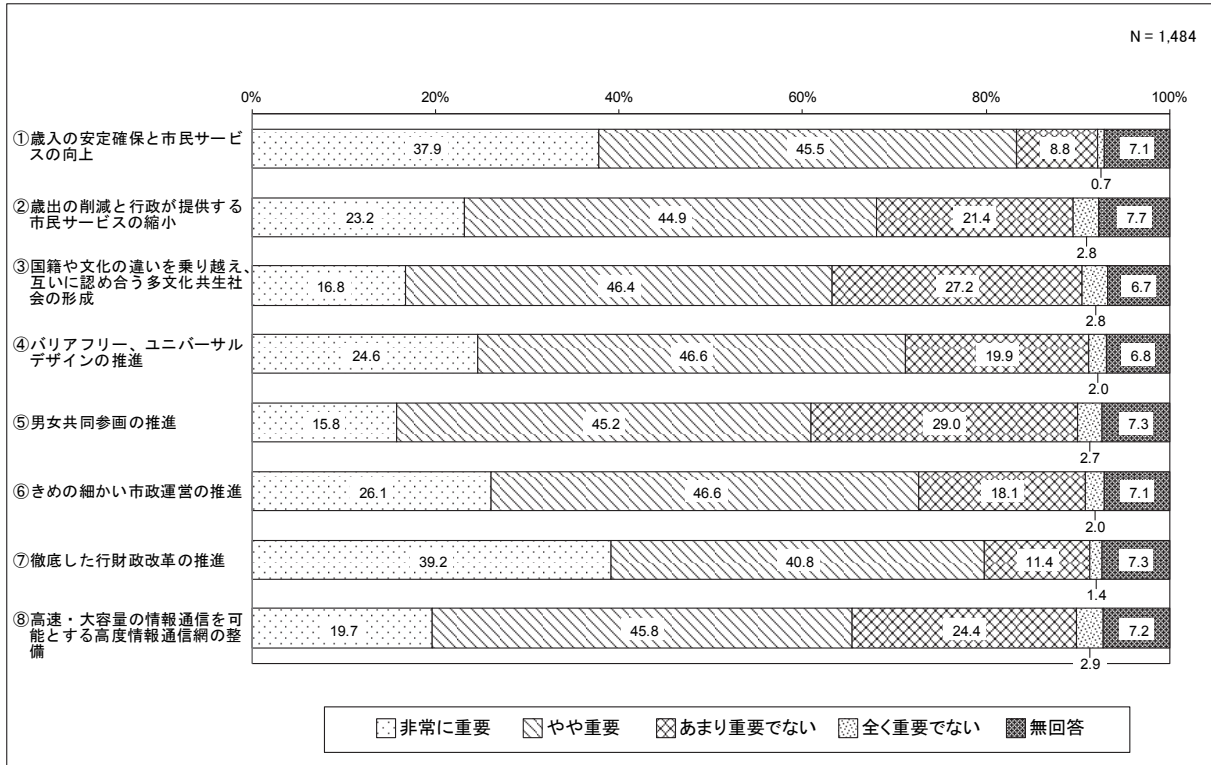
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
① 社会情勢に応じた都市計画の検討・見直し	7.5	7.4	7.1	7.1	7.2	7.1	7.0
② 住民発意による地域の実状に応じた土地利用の促進	6.8	6.6	6.8	6.6	6.9	6.6	6.9
③ 市街地や郊外地における適切な土地利用の規制・誘導	7.0	6.7	7.0	6.6	6.9	6.7	6.8
④ 公共交通網の整備・充実	7.8	7.6	7.5	7.7	7.7	7.7	◎ 8.0
⑤ 市都心部と周辺地域をつなぐ幹線道路網の整備・充実	7.3	7.0	7.2	7.4	7.4	7.1	7.9
⑥ 身近な地域の生活道路の整備・充実	7.3	7.3	7.1	7.4	7.5	7.5	◎ 8.5
⑦ 生活インフラ(上下水道、公園、公営住宅など)の整備・充実	7.5	7.4	7.2	7.4	7.2	7.3	7.4
⑧ 緑地保全・緑化推進や美しい景観づくりの強化	6.9	7.0	6.9	6.9	6.8	7.0	6.7

性別でみると、男女とも8点以上の重要度となった項目はなかった。最も高いのは男女とも「④公共交通網の整備・充実」となっている。

年代別でみても、8点以上の重要度となった項目はなく、いずれの年代とも最も高いのは「④公共交通網の整備・充実」となっている。

行政区別でみると、天竜区は「④公共交通網の整備・充実」、「⑥身近な地域の生活道路の整備・充実」が8点以上となっている。特に「⑥身近な地域の生活道路の整備・充実」は、他の行政区と比較しても相対的に高くなっている。天竜区以外ではいずれも「④公共交通網の整備・充実」が最も高かった。

(7) 都市経営に対する取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の2項目となっている。

- ①歳入の安定確保と市民サービスの向上 83.4%
- ⑦徹底した行財政改革の推進 80.0%

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
① 歳入の安定確保と市民サービスの向上	7.6	7.5	7.7	7.1	7.8	7.3	7.4	7.7	◎ 8.0
② 歳出の削減と行政が提供する市民サービスの縮小	6.5	6.4	6.6	6.2	6.0	6.3	6.7	6.5	7.0
③ 国籍や文化の違いを乗り越え、互いに認め合う多文化共生社会の形成	6.1	5.7	6.3	6.1	5.9	5.8	5.9	6.2	6.4
④ バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	6.6	6.2	7.0	7.1	6.8	6.3	6.7	6.7	6.6
⑤ 男女共同参画の推進	6.0	5.6	6.3	6.1	6.0	5.7	5.8	6.0	6.2
⑥ きめの細かい市政運営の推進	6.8	6.6	6.9	6.1	6.5	6.2	6.8	7.0	7.5
⑦ 徹底した行財政改革の推進	7.5	7.7	7.4	7.1	7.1	7.0	7.4	◎ 8.0	◎ 8.0
⑧ 高速・大容量の情報通信を可能とする高度情報通信網の整備	6.2	6.0	6.5	6.6	6.3	5.5	6.4	6.3	6.5

【行政区別】

◎=8点以上

	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
① 歳入の安定確保と市民サービスの向上	7.7	7.8	7.4	7.6	7.6	7.8	7.5
② 歳出の削減と行政が提供する市民サービスの縮小	6.4	6.6	6.4	6.3	6.8	6.5	6.6
③ 国籍や文化の違いを乗り越え、互いに認め合う多文化共生社会の形成	6.1	6.3	5.8	5.8	6.4	6.0	6.1
④ バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	6.9	6.7	6.5	6.6	6.6	6.8	6.4
⑤ 男女共同参画の推進	6.1	6.0	5.7	6.1	6.1	5.9	5.7
⑥ きめの細かい市政運営の推進	6.7	6.8	6.7	6.7	6.9	6.7	7.1
⑦ 徹底した行財政改革の推進	7.7	7.5	7.4	7.3	7.6	7.4	7.7
⑧ 高速・大容量の情報通信を可能とする高度情報通信網の整備	6.3	6.5	6.1	6.1	6.2	5.9	6.7

性別でみると、男女とも8点以上の重要度となった項目はなく、比較的高いのは「①歳入の安定確保と市民サービスの向上」、「⑦徹底した行財政改革の推進」となっている。「⑦徹底した行財政改革の推進」は男性が女性を上回っているが、他の項目は、女性が男性を上回っている。

年代別でみると、「①歳入の安定確保と市民サービスの向上」は70歳以上で高く、「⑦徹底した行財政改革の推進」は60歳代以上で高くなっている。「④バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進」は20歳代が比較的高い。

行政区別でみると、いずれも8点以上の重要度となった項目はなく、比較的高いのは「①歳入の安定確保と市民サービスの向上」、「⑦徹底した行財政改革の推進」となっている。行政区による大きな違いはみられない。

付録 調査票

— あなたの声を市政に生かす —

平成24年度 市民アンケート調査（第39回）

日ごろ、市政の推進につきましては、深いご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。
浜松市では、市民の皆さまのお考えを伺うことで市政の充実を図り、市民の皆さまの暮らしが豊かになるように努めていきたいと考えています。

つきましては、今後のまちづくりの基礎資料とするため、市民アンケート調査を実施させていただきます。この調査を実施するにあたり、市内在住の満20歳以上の皆さまの中から無作為に3,000人の方々を選ばせていただきました。お忙しいところ誠にお手数ですが、調査の趣旨をご理解いただきご回答くださいますようお願いいたします。

なお、調査結果につきましては、広報はままつや浜松市公式ホームページなどで報告させていただきます予定です。

平成24年6月 浜松市長 鈴木 康 友

<ご回答についてのごお願い>

1. 封書のあて名の人が、ご回答くださいますようお願いいたします。
2. ご回答は、各設問に該当する番号を選択肢の中から選んで、○で囲んでください。
また、「その他」を選んだ方は、その具体的な内容をご記入ください。
3. この調査結果は、上記目的以外に使用することはなく、内容についてご迷惑をお掛けすることはありません。
4. 6月30日（土）までにこの用紙を同封の封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。
5. ご不明な点は、広聴広報課 市民コールセンターグループ☎（053）457-2023へお問い合わせください。

～あなたご存じですか？～

問1 次の項目について、あなたご存じですか。

1～3のうちから1つ選んで○を付けてください。

	名称も内容も 知っている	名称だけは 知っている	知らない
① 浜松市子ども育成条例 ※未来を担う子どもを社会全体で健全に育成し、支えていくための基本理念や、市、保護者、学校等、事業主、子ども育成団体及び市民の役割を明らかにするとともに、市の基本的施策を定めた条例。	1	2	3
② 浜松市次世代育成支援行動計画 ※子どもや子育て家庭を取り巻くさまざまなニーズに対応する施策、事業の目標や、それらの推進体制について定めた計画。	1	2	3
③ いのちをつなぐ手紙 ※自殺対策事業として「いのちをつなぐ手紙」を実施。 ひとりで抱えきれない悩みを手紙に書いて相談したり、悩みを抱えた人の支えとなる言葉を伝えるためのもの。	1	2	3
④ パブリック・コメント制度 ※市が、計画や条例などを策定するときに、案の段階で市民に公表し、その案に対し寄せられた意見と市の考え方を公表するとともに、寄せられた意見を考慮しながら最終案をつくり上げていく一連の手続きのこと。	1	2	3

	すでに 登録している	知っているが 登録していない	知らない
⑤ 防災ホットメール ※平成22年3月1日から、災害発生時の緊急情報、地震情報、気象情報、火災情報などを携帯電話などに電子メールで配信している。	1	2	3

	知っている	知らない
⑥ 浜松市制100周年 ※平成23年7月1日に浜松市制100周年を迎えました。	1	2
⑦ はままつ福市長 “出世大名 家康くん” ※市制100周年マスコットキャラクターとして誕生し、平成24年度から「はままつ福市長」に就任した浜松市のマスコットキャラクター。	1	2

～市民の地震への備えについて～

問2 日ごろ、災害に対する備えの情報（避難方法、備蓄用品の情報など）について、あなたはどこから入手していますか。（あてはまるものすべてに○を付けてください）

- | | | |
|-----------------|---------------|------------|
| 1. テレビ | 2. ラジオ | 3. インターネット |
| 4. 携帯電話、スマートフォン | 5. 新聞 | 6. 本、雑誌 |
| 7. 広報紙 | 8. 市や県のパンフレット | 9. 防災講座 |
| 10. その他（具体的に： | | ） |

問3 地震をはじめとする災害が発生した際、あなたが災害に対する情報を得る手段は何ですか。（あてはまるものすべてに○を付けてください）

- | |
|--------------------------------------|
| 1. テレビ |
| 2. ラジオ |
| 3. インターネット |
| 4. 固定電話 |
| 5. 携帯電話、スマートフォン（防災ホットメールや緊急速報メールを含む） |
| 6. 消防車などの広報車 |
| 7. 同報無線（屋外スピーカーや個別受信機でのサイレン又は音声通報） |
| 8. その他（具体的に： |
| ） |

問4 あなたの家庭では、地震などの災害に備えて、どのような行動をしていますか。（あてはまるものすべてに○を付けてください）

- | |
|--|
| 1. 飲料水や食料の備蓄（※目安：飲料水1人1日1リットル×3日分、食料3日分） |
| 2. トイレ用品の備蓄（簡易トイレや衛生袋などのトイレ用品） |
| 3. 1. 2以外の防災用品の備蓄 |
| 4. 避難所・避難地・津波避難施設などの場所や避難経路の確認 |
| 5. 家族の安否確認方法の話し合い |
| 6. 情報の入手方法の確認 |
| 7. 家の耐震補強 |
| 8. 家具の固定 |
| 9. していない |
| 10. その他（具体的に： |
| ） |

問5 昨年度（平成23年4月～平成24年3月まで）地域で実施された防災訓練に、あなたは参加しましたか。（1つだけ○を付けてください）

- | | |
|---------|------------|
| 1. 参加した | 2. 参加しなかった |
|---------|------------|

問6 問5で「2. 参加しなかった」とお答えの方に伺います。参加しなかった理由は何ですか。（1つだけ○を付けてください）

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 防災訓練をやっていることを知らなかった | 2. 参加の仕方がわからない |
| 3. 訓練が役に立つとは思わない | 4. 忙しい |
| 5. 面倒くさい | |
| 6. その他（具体的に： | ） |

～環境に配慮したライフスタイル～

問7 今日の環境問題の解決のためには、市民一人一人が環境に配慮したライフスタイルへ転換していくことが必要です。そのために、あなたが家庭において必要だと思う取り組みは何ですか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

1. 節電・節水
2. エコカーの購入
3. 省エネ製品への買い替え
4. 太陽光発電・太陽熱利用などの新エネルギー*の導入
5. 家庭での植樹など緑化活動
6. 自然観察会など環境学習活動への参加
7. 里山保全活動など環境保全活動への参加
8. ごみ分別の徹底 (リサイクル)
9. フリーマーケットなどへの参加・利用 (リユース)
10. 買い方の工夫などによるごみの排出抑制 (リデュース)
11. 環境に配慮した商品の購入

※新エネルギーとは、太陽光発電、太陽熱利用、風力発電等のことです。

～新エネルギーの導入について～

問8 市では、平成24年4月に新エネルギー推進事業本部を設置し、新エネルギーに関する新たな取り組みを始めました。新しい電力確保の仕組みとして、あなたは新エネルギーの導入が必要だと思いますか。 (1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|-------|---------|----------|
| 1. 必要 | 2. 必要ない | 3. わからない |
|-------|---------|----------|

問9 あなたのご自宅に、新エネルギーを導入していますか。 (1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1. 導入している | 2. 導入する予定 | 3. 導入していない |
|-----------|-----------|------------|

問10 問9で、「1. 導入している」「2. 導入する予定」とお答えの方に伺います。どのような新エネルギーを導入している、または導入する予定ですか。 (1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|----------|----------|----------------|
| 1. 太陽光発電 | 2. 太陽熱利用 | 3. その他 (具体的に) |
|----------|----------|----------------|

問11 問9で、「3. 導入していない」とお答の方に伺います。導入していない理由は何ですか。 (1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|----------------|-----------------------|------------|
| 1. 費用が高いから | 2. 住宅の構造上、導入する事が困難だから | 3. よくわからない |
| 4. その他 (具体的に) | | |

◆新エネルギーの導入を進めていくことについて、あなたの意見をご自由にお書きください。

～ユニバーサルデザインについて～

問 12 市では、ユニバーサルデザインの考え方を市政に取り入れています。ユニバーサルデザインとは、年齢、性別、能力、国籍などに関係なく、誰もが安全で安心、快適な暮らしができるように「人づくり」や「環境づくり」を行っていかこうとする考え方です。あなたは、ご存じでしたか。
(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 詳しく知っている | 2. 知っている |
| 3. 言葉だけは聞いたことがある | 4. まったく知らない |

～「花と緑のまち・浜松」について～

問 13 市では、市民協働事業として「花と緑のまち・浜松」を進めています。あなたの生活の中で「花と緑のまち・浜松」はどのような役割を果たしてほしいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- | |
|---------------------------|
| 1. 生活の中に花や緑が増える |
| 2. 花や緑により美しいまちづくりが進む |
| 3. 花や緑を通じて子どもたちの教育的効果が高まる |
| 4. 花や緑を目的に浜松地域を訪れる観光客が増える |
| 5. 花や緑の生産・消費が増え地域経済が活性化する |
| 6. その他（具体的に： _____) |

問 14 あなたの身近にある公園や歩道等の公共的施設の「花や緑」の量は、十分だと思いますか。
(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 十分だと思う | 2. まあ十分だと思う |
| 3. やや不足していると思う | 4. 非常に不足していると思う |
| 5. わからない | |

問 15 市で、花や緑を飾るボランティア活動の募集をしたら、あなたは参加する意向がありますか。
(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. すでに参加している | 2. できるだけ参加したい |
| 3. 条件が整えば参加してみたい | 4. 少しは参加してみたい |
| 5. 参加するつもりはない | |
| 6. その他（具体的に： _____) | |

～運動・スポーツについて～

問 16 この1年間で、あなたは運動やスポーツをどの程度行いましたか。
ウォーキングやラジオ体操など、軽度の運動を含みます。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|---------|----------|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1回 | 5. 年に数回 | 6. ほとんど運動しない |

問 17 過去1年間で、あなたは実際に会場に出向いてスポーツ観戦や応援をどの程度しましたか。
プロスポーツだけではなく、部活動の応援なども含みます。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 月に数回 | 3. 月に1回程度 |
| 4. 1年に1回程度 | 5. ほとんど行かない | |

～健康について～

問 18 市では、すべての市民が健康で明るく元気に生活できることを目指し、健康づくりの指針となる「健康はままつ21」を策定しましたが、あなたはご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|-------------|----------------------|---------|
| 1. 内容を知っている | 2. 聞いたことがあるが、内容は知らない | 3. 知らない |
|-------------|----------------------|---------|

問 19 現在、あなたはご自身の健康状態をどのように感じていますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | | |
|----------|--------------|--------------|----------|
| 1. 健康である | 2. まあまあ健康である | 3. あまり健康ではない | 4. 健康でない |
|----------|--------------|--------------|----------|

問 20 日ごろ、あなたは健康づくりのために何か取り組んでいますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 取り組んでいる | 2. 取り組んでいない |
|------------|-------------|

◆健康づくりとして取り組んでいる内容や、気軽に楽しく健康づくりに取り組むために必要なことについて、あなたの意見をご自由にお書きください。

～子育て支援について～

問 21 現在、あなたは「子育て」に対して、どのような関わり方をしていますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 子育て中である | 2. 孫の面倒を見ることがある |
| 3. 甥、姪の面倒を見ることがある | 4. 近所の子どもの面倒を見ることがある |
| 5. 子育てサークルに参加している | 6. 子育てに関するボランティアに参加している |
| 7. その他(具体的に: _____) | |
| 8. 特に関わっていない | |

問 22 市では、「子育て支援ひろば」や「ファミリー・サポート・センター」など子育てに関するさまざまな支援※を行っています。あなたは、このような支援によって、子育てがしやすくなっていると思いますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | | |
|-------|---------|--------------|----------|
| 1. 思う | 2. 思わない | 3. どちらともいえない | 4. 分からない |
|-------|---------|--------------|----------|

※そのほかの子育て支援としては、なかよし館、育児サークル支援、放課後児童会などの事業を行っています。

問 23 問 22 で「1. 思う」とお答えの方に伺います。あなたは、子育ては楽しいことだと感じますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | | |
|--------|---------|--------------|----------|
| 1. 感じる | 2. 感じない | 3. どちらともいえない | 4. 分からない |
|--------|---------|--------------|----------|

～「ひとりひとりにいい声掛けデー」について～

問 24 市では、11月11日を全市統一の「ひとりひとりにいい声掛けデー」として、子ども(青少年)へのあいさつや声掛けを行っています。あなたはご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 知っていて、参加したことがある | 2. 知っているが、参加したことはない |
| 3. 知らない | |

※平成24年度は、11月9日に実施します。

問 25 問 24 で「1. 知っていて、参加したことがある」「2. 知っているが、参加したことはない」とお答えの方に伺います。あなたは、何で知りましたか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- | | | |
|--------------------|---------------------|-----------------|
| 1. 学校から配布されるチラシ | 2. 浜松市ホームページ | 3. 広報はままつ |
| 4. 浜松市役所庁内モニター | 5. ザザビジョン広告 | 6. 区役所などにあるのぼり旗 |
| 7. 公民館などにある啓発ティッシュ | 8. その他(具体的に: _____) | |

問 26 日ごろ、あなたは地域の子ども(青少年)に対して、どの程度あいさつや声掛けを行っていますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 顔見知りの子どもでなくても、自分から行っている |
| 2. 顔見知りの子どもには、自分から行っている |
| 3. 顔見知りの子どもでなくても、あいさつされたら応えている |
| 4. 顔見知りの子どもには、あいさつされたら応えている |
| 5. あいさつや声掛けは行っていない |

～ 市政の満足度評価について ～

問 27 あなたは、浜松市がこれまで進めてきた取り組みについて日ごろどのように感じていますか。
以下の各項目についてその評価を1～5のうちからそれぞれ1つだけ選び○を付けてください。

項 目		評 価				
		満 足	やや 満足	どちらとも いえない	やや 不満	不 満
1	住んでいる地域の住みやすさ	1	2	3	4	5
2	文化にふれ、活動できる環境	1	2	3	4	5
3	音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の取り組み	1	2	3	4	5
4	スポーツに親しみやすい環境	1	2	3	4	5
5	子どもを健やかにはぐくむ地域の環境	1	2	3	4	5
6	子どもの個性をはぐくむきめ細かな学校教育	1	2	3	4	5
7	公民館、図書館などの生涯学習環境	1	2	3	4	5
8	男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会づくり	1	2	3	4	5
9	人権を尊重したまちづくり（人権啓発の取り組み）	1	2	3	4	5
10	魅力ある雇用機会の確保	1	2	3	4	5
11	J R浜松駅周辺の魅力とにぎわい	1	2	3	4	5
12	浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用	1	2	3	4	5
13	外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくり	1	2	3	4	5
14	施設予約や地域情報の提供などインターネットを活用した市民サービス	1	2	3	4	5
15	鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性	1	2	3	4	5
16	身近な生活道路の管理状況や使いやすさ	1	2	3	4	5
17	快適に移動しやすい道路網の整備	1	2	3	4	5
18	休日、夜間などの救急医療体制	1	2	3	4	5
19	身近な地域における適切な医療サービスの提供	1	2	3	4	5
20	予防接種や健康相談など市民の健康づくり	1	2	3	4	5
21	高齢者にとっての暮らしやすさ	1	2	3	4	5
22	障がいのある人にとっての暮らしやすさ	1	2	3	4	5
23	子育てがしやすく楽しい環境	1	2	3	4	5
24	ごみ分別による、ごみ減量および資源化対策	1	2	3	4	5
25	湖沼や河川、海岸、森林などの自然環境に配慮した取り組み	1	2	3	4	5
26	環境教育、環境学習などの取り組み	1	2	3	4	5
27	地球温暖化対策に取り組む体制や情報の充実	1	2	3	4	5
28	太陽光発電など、新エネルギー導入についての取り組み	1	2	3	4	5
29	緑豊かで花があふれる快適で美しいまちづくり	1	2	3	4	5
30	生活しやすい居住空間の整備と宅地や住宅の供給	1	2	3	4	5
31	地震・津波・火災などに対する防災体制の充実	1	2	3	4	5
32	水害や土砂災害の防止に向けた河川・排水路などの整備	1	2	3	4	5
33	ユニバーサルデザインによるまちづくり	1	2	3	4	5
34	浜松の魅力（技術や文化、自然環境など）の国内外への発信	1	2	3	4	5
35	世界の人々との活発な市民交流	1	2	3	4	5
36	市民協働による地域づくり	1	2	3	4	5
37	交差点の改良など交通安全対策	1	2	3	4	5
38	情報公開など行政の透明性の確保	1	2	3	4	5
39	分かりやすくきめ細かな市政情報の提供	1	2	3	4	5
40	市政を総合的に見た満足度	1	2	3	4	5

～ 市政への要望について ～

問 28 あなたは、浜松市が積極的・重点的に取り組んでいくべき具体的な施策として、以下の各項目についてどの程度重要だと思いますか。各項目について重要度を1～4のうちからそれぞれ1つだけ選んで○を付けてください。

浜松市が取り組むべき施策	重 要 度			
	非 常 に 重 要	や や 重 要	あ ま り 重 要 で な い	全 く 重 要 で な い
1. 産業・経済分野に対する取り組み				
① 地場産品など地域特性を活かした農林水産業の振興	1	2	3	4
② 中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実	1	2	3	4
③ 企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出	1	2	3	4
④ 浜松市にふさわしいオフィス機能の集積や商業施設の充実	1	2	3	4
⑤ 国際会議の招致や大規模・集客イベントの開催など都心のにぎわい創出	1	2	3	4
⑥ 新産業の創出や起業しやすい環境の整備	1	2	3	4
⑦ 高齢者や障がいのある人などだれもが働きやすい環境づくり	1	2	3	4
⑧ 特色ある地域資源や地場産業を活かした観光の充実	1	2	3	4
2. 教育、文化、スポーツに対する取り組み				
① 生きる力を育てる学校教育の推進	1	2	3	4
② 生涯を通じた学習機会の提供	1	2	3	4
③ 心豊かな人づくりに向けた家庭教育の推進と地域の教育力の向上	1	2	3	4
④ 大学など高等教育の充実や高度な研究機関の設置・誘致	1	2	3	4
⑤ 外国語教育、外国の文化に関する教育の充実	1	2	3	4
⑥ 芸術家やスポーツ選手など世界にはばたく人材の育成	1	2	3	4
⑦ 市民が参加できるスポーツ大会や音楽イベントなどの開催	1	2	3	4
⑧ 質の高い芸術・文化・スポーツなどに親しむ機会の充実	1	2	3	4
⑨ 祭事や伝統行事など地域文化の伝承・活性化	1	2	3	4

浜松市が取り組むべき施策	重 要 度			
	非 常 に 重 要	や や 重 要	あ ま り 重 要 で な い	全 く 重 要 で な い
3. 市民が安全・安心に暮らすための取り組み				
① 地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実	1	2	3	4
② 地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実	1	2	3	4
③ 火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化	1	2	3	4
④ 地域の防犯体制の整備や防犯活動の充実	1	2	3	4
⑤ 交通安全の意識啓発や環境整備など交通安全への取り組みの強化	1	2	3	4
⑥ 食品の安全性確保に向けた関係機関への情報提供の充実	1	2	3	4
⑦ 安心して生活していくための相談業務などの充実	1	2	3	4
⑧ NPOやボランティアなど市民活動への支援の充実	1	2	3	4
⑨ 地域コミュニティ（地域社会）の自立に向けた支援	1	2	3	4
4. 環境に対する取り組み				
① 企業や家庭における省エネルギー対策・支援	1	2	3	4
② 風力・太陽光発電などの新エネルギーや未利用資源の活用	1	2	3	4
③ ごみ減量対策や資源リサイクルの促進	1	2	3	4
④ 山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持	1	2	3	4
⑤ 地球温暖化対策の推進とCO ₂ 排出削減	1	2	3	4
⑥ 郊外開発の抑制や農地の保全	1	2	3	4
⑦ 環境問題に対する市民・企業・市民団体への意識啓発と支援・協力	1	2	3	4
⑧ 大気・水質などのきめ細かい調査・分析と情報の公開	1	2	3	4

浜松市が取り組むべき施策	重要度			
	非常に重要	やや重要	あまり重要でない	全く重要でない
5. 健康、福祉に対する取り組み				
① 予防に重点を置いた健康づくり活動の充実・環境整備	1	2	3	4
② 身近な地域における医療・福祉サービスの充実	1	2	3	4
③ 医療・福祉における高度・専門的なサービスの充実	1	2	3	4
④ 高齢者や障がいのある人の社会参加機会の充実	1	2	3	4
⑤ 子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを生み育てやすい社会の形成	1	2	3	4
⑥ 互いに支え合う地域社会の形成	1	2	3	4
⑦ こころと身体の健康づくりのための環境整備	1	2	3	4
⑧ 健康・福祉に取り組む市民活動団体への支援・協力	1	2	3	4
6. 都市・生活基盤の整備に対する取り組み				
① 社会情勢に応じた都市計画の検討・見直し	1	2	3	4
② 住民発意による地域の実状に応じた土地利用の促進	1	2	3	4
③ 市街地や郊外地における適切な土地利用の規制・誘導	1	2	3	4
④ 公共交通網の整備・充実	1	2	3	4
⑤ 市都心部と周辺地域をつなぐ幹線道路網の整備・充実	1	2	3	4
⑥ 身近な地域の生活道路の整備・充実	1	2	3	4
⑦ 生活インフラ（上下水道、公園、公営住宅など）の整備・充実	1	2	3	4
⑧ 緑地保全・緑化推進や美しい景観づくりの強化	1	2	3	4
7. 都市経営に対する取り組み				
① 歳入の安定確保と市民サービスの向上	1	2	3	4
② 歳出の削減と行政が提供する市民サービスの縮小	1	2	3	4
③ 国籍や文化の違いを乗り越え、互いに認め合う多文化共生社会の形成	1	2	3	4
④ バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	1	2	3	4
⑤ 男女共同参画の推進	1	2	3	4
⑥ きめの細かい市政運営の推進	1	2	3	4
⑦ 徹底した行財政改革の推進	1	2	3	4
⑧ 高速・大容量の情報通信を可能とする高度情報通信網の整備	1	2	3	4

最後にあなたのことについて記入してください

(項目別に1つだけ○を付けてください)

性別	1. 男	2. 女															
年齢	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳～											
職業	1. 農林水産業（自営・家族従事者） 2. 商工・サービス・自由業（自営・家族従事者） 3. 勤め人						4. 専業主婦（主夫） 5. 学生	6. 無職	7. その他（ ）								
居住年数	あなたは浜松市（合併前の旧市町村当時からも含みます）に住んで何年になりますか																
	1. 3年未満	2. 3年以上5年未満	3. 5年以上10年未満	4. 10年以上20年未満	5. 20年以上												
家族数	あなたを含めて何人で住んでいますか																
	1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人	6. 6人以上											
居住形態	あなたのお住まいは																
	1. 持ち家	2. 借家	3. 賃貸アパート・マンション	4. 公営住宅	5. 社宅・寮	6. その他											
地区	あなたがお住まいの地区は																
	1. 中区	2. 東区	3. 西区（旧浜松市）	4. 西区舞阪町	5. 西区雄踏町	6. 南区	7. 北区（旧浜松市）	8. 北区細江町	9. 北区引佐町	10. 北区三ヶ日町	11. 浜北区	12. 天竜区（旧天竜市）	13. 天竜区春野町	14. 天竜区佐久間町	15. 天竜区水窪町	16. 天竜区龍山町	地区が分からない場合は、町名をご記入ください →（ ）

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、6月30日（土）までにご投函ください。



出世大名
家康くん

平成24年度 市民アンケート調査報告書

平成24年11月発行

浜松市企画調整部広聴広報課

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2

電話 (053) 457-2023 FAX (053) 457-2028

e-mail koho2@city.hamamatsu.shizuoka.jp

URL <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>
